

こどもエコクラブくしろのみなさんへ

師範から一言――

結成 20 周年のこのクラブは、毎年応募作品を拝見して、活動の実力も表現力も並外れた力があることを楽しみにしています。どの記事も本で調べて観察をし、科学的な調査などでも破(は)たんのない実証的な記事になっています。余程、サポーターの支援が的確なのだと思います。また、壁新聞上のエコロジカルあくしょん 2016 を見ると、壁新聞に取り上げた以外のたくさんの学習体験、外来生物の捕獲駆除活動、湿原の自然再生、清掃活動などが細かい文字で書かれています。このような地道で継続的な活動はすばらしいと思います。子どもたちからのアピールでも「先輩たちから引き継がれた活動を行っている」と誇らしく書かれていることに感動しました。

もう一つは、沢山(たくさん)の活動からヘイケボタルとエゾヤマアカガエル(学名ラナ ピリカを覚えましてよ)を取り上げて集中して記事を書かれています。たくさん活動があればつい記事を書く(の)せたくりますが、ここではテーマをしばらく込んで、生活史(せいかつし)などを明らかにすることで読者の理解(りかい)を深めることに成功していると思いました。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

ヘイケボタルの生活史(せいかつし)を面白く判(わか)りやすい図面で説明してくれました。この図はそのまま理科の教科書にだって載(の)せられそうですね。もう一つのエゾヤマアカガエルの一生も生活史の図にすると面白いと思いました。作り方を考えてみて下さい。この壁新聞には、サポーターからも長いメッセージが来ています。「自分の活動を判りやすく伝える」ことを目標に壁新聞を作ったと書いています。分担を決め、文字をそろえたり、カットや図表を工夫したそうで、その努力は実を結んでいます。大切なことの本質(ほんしつ)は、「自分の活動で感動したことを」わかりやすく伝えることだと思います。「感動を伝える」ことはコミュニケーションするということです。毎年、年間の活動を壁新聞にまとめることの大切さだけでなく、知ることのできた感動を知らない人に伝えて感動をともにすること、これが先輩から引き継がれた宝ではないでしょうか。20 年間続けてきたこの伝統をこれからもつないでいただきたいと願っています。

青森県青森市 おおぼし保育園エコフレンド

壁新聞のタイトル: 02-01

おおぼし保育園エコフレンドさんへ

師範から一言――

おおぼし保育園 エコフレンドのみなさん、こんにちは。

ごみひろいは とても たいへんですよね。

わたしが おしごとをしているところには、ビオトープという やせいのいきものが すんでいるばしょがあります。そこにも、たばこや おべんとうのごみ、あきかん など、いろいろなものが すてられてしまいます。

ごみを みつけると、とても かなしいきもちに なりますね。

でも、みなさんのように、ごみひろいを がんばっているすがたをみると、わたしも がんばろうっておもえます。これからも、ごみが ゼロになるように がんばってくださいね。

それから、キャップをあつめているんですね。オセロをつくるのは たのしそうです。わたしも こんどキャップをつかって こうさくを してみようとおもいます！ こうさくだけでなく、ワクチンのためにもあつめていることも すばらしいと おもいます。

これからも だれかのために こうどうできる すばらしいひとに なってくださいね♪



サポーターへのとっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....

かべ新聞の作成お疲れさまでした。みなさんのがんばりが写真などからよく伝わります。

純粋な気持ちでエコや省エネに取り組めており、読んでいてとても心が温まりました！

良い壁新聞ですが、もう少し情報を多く取り入れても良いかもしれません。

例えば、ごみ拾いの結果として、どこの区域をごみ拾ったのか、どんなごみが、どのくらい落ちていたかなどです。たばこやお酒の空き缶などが多ければ、大人向けにみんなで「ポイ捨てをしないでください」とポスターを作ったりしてもさらに発展した活動ができると思います。(おかしのごみやカードゲームのカード等が多かったら、子どもが捨てているかもしれませんね。)もし良かったら取り組んでみてくださいね♪

それでは、次回もみなさんのかべ新聞 楽しみにしています！



青森県八戸市 下長中エコクラブ
壁新聞のタイトル:

下長中エコクラブ③の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言――

記事は小見出しをつけたものが三つ、特に青森県のリサイクルの現状を説明している記事が優れています。また、校内でアンケートを実施して、現在の学年別のリサイクルの理解度、雑紙のリサイクルについての量と割合を調べています。この新聞は3人で担当したようですが、3人で考えた編集後記が記載されています。まだまだ雑紙リサイクル率を上げられるよう呼びかけていきたいという姿勢は素晴らしいことです。先生やおうちの人に手伝ってもらって、もっと先進的なことも考えて下さいね。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

ちょっとわかりにくかったのは、「ユニバース」です。記事を読むと、地元のスーパーマーケットということがわかりました。これを防ぐには、「スーパーマーケット・ユニバースのエコ活動」という小見出しに変えればとっつきり理解ができるのではありませんか？ご検討下さい。でも、身近なスーパーマーケットに着目したというのはとても面白い発想ですね。

小さな表が3つ出てきますが、それぞれには表題がありません。文中に埋め込んであるので、やはり表題があれば理解が早いと思います。一枚目は「リサイクルの理解度」、二つ目は「雑紙のリサイクル」、三つめは「リサイクルした雑紙の量」という表題になると思います。これですっきりしますね。



下長中エコクラブ④の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言――

校内アンケート調査結果をうまく使って青森県のリサイクルの現状を調べています。壁新聞紙上でも意識の低さや実際に雑紙を集めている人が少ないと結論づけています。データの整理についても、アンケート調査のデータから簡単な棒グラフや表でまとめることに成功しています。収集時の注意などは本文に記載しているなど工夫は尽きませんね。最後にごみを減らす3Rとして、家庭でもごみの分別やマイバックの持参、生ごみの徹底した水切りなどを進めながら提言するなど中学二年とは思えないほどの将来への洞察力には優れたものがあります。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

一つ目は壁新聞のタイトル文字が、書かれた記事は堂々としているのに、とても貧弱に見えます。しかも黄色で二行になっています。ここは枠一杯の大きな字で一行で書いてみませんか。二つ目は、壁新聞の名前を大きくすると、小見出しも大きくしないとバランスが悪いですね。これもいくつかデザインしたものを作り、小見出しの枠に入れてみると、一番優れた見出しはどれか、わかると思いますよ。

青森県八戸市 下長中エコクラブ
壁新聞のタイトル:

下長中エコクラブ⑤の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言――

この壁新聞は、中学生4人が作りました。全国ランキングの長い表を見ながら、青森県のリサイクル率の低さと3Rなどの大切さを改めて感じました。なぜ、リサイクルをするのか、そこから考えさせてくれます。理由は①天然資源の枯渇、②地球温暖化の進行、③最終処分場の不足などの問題が発生するからリサイクルが必要だと教えてくれます。

初めに都道府県別の一人当たりのごみ排出量とリサイクル率を調べています。一日当たりのごみ排出量は、1046g、リサイクル率は、15.5%で最下位でした。小学校から始まった中学校での雑紙リサイクルは、将来的にも期待できる活動となっています。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

もともと青森県が県内の小学校に呼びかけている雑紙回収運動を中学校でも行いたいと思い、夏休みや冬休みに雑紙回収量の調査を継続しています。特に雑紙回収が少しずつでも増えるように呼びかけています。

青森県のごみ排出量は全国45位、リサイクル率は全国47位になっています。そこで青森県だけでなく、日本全体や世界でもっとリサイクルをもっとするようにしなくてはならないと目標を立てることになりました。ワースト記録を探すためにすべての数値を壁新聞に掲載していますが、壁新聞に載せるにはワースト5程度でも青森県の割合が判ります。説明は簡単な方が理解しやすいものです。理解しやすい工夫を忘れずにがんばりましょう。

青森県十和田市 緑と太陽の保育園グリーン・キッズ
壁新聞のタイトル: 02-08(園代表)、02-09 (全2枚)幼児

緑と太陽の保育園 グリーン・キッズ1を書いたみなさんへ

師範から一言――

グリーン・キッズの みなさんは、はたけのグリーンかつどうについて すてきな かべしんぶんを つくってくれました。カラフルで えがおがいっぱい、はたけから そだてたやさいを しゅうかくできる とてもたのしいデザインですね。だいこん、ねぎ、とまとを そだてたけれど、あめがつづいて おおきく そだたないものも あったのですね。がんばっても おもいどおりに ならないって たいへんですね。おみせにうっている やさいをつくっている のうかのひとは すごいですね。

みなさんは たくさんの はっけんを しましたね。ふたまたのだいこんをみつけたら、とまとは ちいさくても おいしかったり。ねぎで つなひきをするって、たのしそう！

すてきな かつどうが できましたね！



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....

「ちさんちしょう」っていうコトバがあります。これは、じぶんが すんでいるばしょの ちかくでつくった やさいやおこめなどを たべることです。とってもエコなんですよ。とおくでつくったものは、トラックでたくさんのみちをはして はこばないといけません。ガソリンもたくさん つかいますね。ちかくだと はこぶのがみじかくて ガソリンも すこしですみます。

グリーン・キッズのみなさんが はたけでやさいをそだてて おいしくたべたことは、まさに「たべものの ちさんちしょう」です。とてもステキな かつどうですね！ てんきがわるいと くらうすることも あるけれど、ぜひ これからも がんばってください！

それから、おみせでうっている たべものも、ちかくでつくったものと、とおくでつくったものがあります。ちかくでつくったものを かって たべることも、エコですよ。

☆☆サポーターへのゴシドウ☆☆

・以前にもグリーン・キッズのみなさんの壁新聞を見せていただいたことがありますが、今回もステキな工夫がいっぱいで、見ていて楽しくなりました。子ども達も楽しく作成して、完成したときもとても喜んででしょうね。

・素敵な活動だったので、「地産地消」なんて難しい言葉をコメントしてしまいましたが、自分たちで野菜を作ることにについて、自然や植物や緑について体験する以外にも「エコないいこと」があると知ってほしいと思いました。食の地産地消は輸送エネルギー削減になって温室効果ガス(CO2)も減り、温暖化防止につながる。しかも地場産業活性化にもつながる…なんて難しいことを理解できるのは、もっと年齢が上がってからだと思います。でも、細かいことは分からなくても、これってエコなことだなという風に、ちょっとでも思ってもらえると嬉しいなと思います。

・地産地消だけでなく、旬について知るチャンスでもあると思います。いつ収穫したのか、なども書いてあるといいかもしれませんね。これからもステキな活動をがんばってください！

青森県十和田市 緑と太陽の保育園グリーン・キッズ
壁新聞のタイトル:

緑と太陽の保育園 グリーン・キッズ2を書いたみなさんへ

師範から一言――

グリーン・キッズ ミニは、ちいさいクラスの みなさんの かつどうを かべしんぶんに まとめてくれました。

この かべしんぶんを よくみると、みなさんの てがたが かかれていますね！ グリーンカーテンの みどりのはっぱを てがたスタンプで あらわしてあって ステキです。アサガオのおしばなも はってあり、まるで かべしんぶんも グリーンカーテンみたいですね。たいふうのせいで せいちょうが おそかった ということですが、はながさいて、みができて、いろんな はっけんを しましたね。



サポーターへのとっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....

・こちらステキなデザインの壁新聞ですね。子どもの手形は素晴らしいアイデア！ 無理なく小さな子どもたちが参加できるような工夫は、本当にすごいです。

・いつ種をまいたのか、いつ芽が出てきたのかという日にちが書いてあるのが良いですね。台風にも負けずにおいしいトマトが実ってよかったですね。

・壁新聞にあまり情報を詰め込みすぎないことで、子どもたちにも見やすいものになっていると思います。実ったトマトをみなさんと食べたということですが、甘かったのか、すっぱかったのかなど、子どもたちの感想があったらいいなと思ったのですが、それもあまり書き込みすぎると見づらいものになってしまうので、迷いますね。また次の壁新聞を作られるときに、スペースがあまりそうだったら、ぜひ子どもたちの感想も入れてみてください。

壁新聞のタイトル: 04-01

泉ヶ丘エコクラブのみなさんへ

師範から一言一

泉ヶ丘エコクラブのみなさん、こんにちは。いろいろな種類の活動をしていますね、おどろきました！

グリーンカーテンにえらんだフウセンカズラとアサガオは、成長すると見た目も可愛らしくてキレイなので、より居心地の良いグリーンカーテンになった事でしょう。

分別も細かいルールがしっかり書いてあるので、読んだ人も理解して実践出来そうです。

そして私が特に気に入ったのはエコペーパー！

箱と中身が再利用して作られている所が、エコで面白いアイデアですね。ぜひうちでもまねしてみたいと思います。

みなさんのセンスが光るエコな活動を知れて、とてもためになる壁新聞でした！



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★

私は仙台には何度か旅行に行った経験がありますが、仙台市の分別方法に指定の赤いゴミ袋がある事は初めて知りました。地域によって分別方法は様々ですが、マヨネーズ容器など食品が一度付いたプラスチック類は、私の地域では燃やすごみに出すルールです。

こんな風に、読んだ人が自分の地域の分別を考えるきっかけになる所に、壁新聞として優れた点を感じました。

仙台に行った時の事をもっと思い出してみると、とても緑の量が多かった印象があるので、仙台市の中の自然環境を題材にした活動にチャレンジするのも、壁新聞の見どころがもうひとつ増えて良いかもしれませんね。

多くの種類の活動をする事で、環境に対していろいろな見方や考え方が出来るようになり、ひとつひとつの活動の内容がさらに濃くなります。

ぜひ新しいジャンルの活動にもチャレンジしてみてくださいね！

壁新聞のタイトル: 05-01

マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブのみなさんへ

師範から一言一

東北秋田イオンチアーズクラブのみなさん、こんにちは！みんなが作ってくれた「SoTo で遊ぼう！」壁新聞はとってもすばらしいのでビックリしました。

何がすばらしいかと言うとみんなが活動、体験したことを、たんに“やったよ！”と言う報告ではなくて、そこから感じたこと、発見したこと、なぜだろうと考えたことがしっかりと書いてあるのがとてもすばらしいです。それとみんなが言いたいこと、気がついたことを、たとえばツリークライミング、松枯れ、緑のぼ金、カムフラージュ、馬、水運びのタイトルでまとめて書いてくれたので、読む人にはたいへんわかりやすくなっています。

それとマス目の中にみんなの字で書いてくれて、写真や絵をはったり、絵で書くなどでそのようすが良く分かるようにしてくれたのも、読む人にはとても分かりやすく良かったですよ！

ツリークライミングは高いところに登るのでこわいよね！はじめはビクビク、ガタガタしててっぺんまでは行けなかったかな。でも2回目になるとなれてきてツリークライミングのすばらしさと、そうかいさを感じる事ができたようで良かったね。木の枝にすわったり、ブランコをしたりと楽しかったですね。でも、ひもを結ぶのがむずかしかったようですね。さいきんは、マジックテープでぴたりと固定できるので、ひもを結ぶ経験がなかなかないから、ひもを結ぶのはむずかしいかな？

緑のぼ金は、やっぱりはじめははずかしいかな？でもツリークライミングと同じで2回目はこつが分かって、じょうずにやれたようですね。ぼ金のお金もふえたようですね。大きい声でよびかけて、ぼ金をしてくれた人には大きな声で、そして相手の人の目を見て“ありがとうございます”が言えましたか？



アフリカの人は水を手に入れるのがとても大変で、アフリカではこども達も 500m くらいはなれたわき水や地下水のところまで水くみに行っている話を学校やテレビなどで聞いたでしょう。その話を聞いただけでなく、実際に試してみようということで、バケツやうつわで水運びをしてみたのですね。「実際にやってみる」、これが一番大事なことだと思います。水の重さが分かりましたね、遠くへ運ぶのはつかれるな一など実感しましたね。
ふだんなんとなく使っている水のありがたさが少し分かりましたね。そうすると、水を大事に使おうとなりますね。いっしょうけんめいきれいに作った飲み水を庭にまいたり、植物にやるのもちよっと考えちゃいますね。お風呂の水や雨の水を使うなどでいいじゃないか、とも考えましたか？

乗馬をやりながら馬についてもいろいろと勉強しましたね。目の位置はどこにあるのだろうか？ 足で立つゆびやかかとはどうなっているのかな？ 2 本足と 4 本足のちがいもあらためて考えてみましたね。馬が見えるはんいは約 350 度なんだね。まうしろは見えないのですね。だから馬のまうしろに行くといけられるのだ！ 馬にとっては、後ろに来た生き物はてきかもしれない、おそわれるかもしれないので、けって守るのですね。まうしろが見えたら、たぶん、馬はけらないのでしょうね。こういう観察の仕方、考え方はとっても大事なことです。みんなも馬がけるのは、どうしてだろう？ と考えたでしょう。馬がほか馬や生き物と争う時に、武器として、けるのだと考えるのは一つの回答でしょう。

でももう一歩良く考えて、馬はまうしろが見えないので、けるのだと発見できましたか？

当たり前だと思っていることやそういう習慣かと、流してしまわないで、なぜだろうと考えるくせをつけることはとっても大事ですよ。そういう習慣ができると、みんなはいろいろなことを深く考える人になり、とってもすばらしい人になるのは、まちがいありません。たとえば、雲は白いと言うことは当たり前と思いませんか？ なぜ白いのか？ を考えると雲が黒いのはどういうことか分かると思います。

まとめとして以前とくらべると、こんなことができました、できるようになりましたと書いてくれました。みんなは成長しましたね。すばらしいことです。拍手！ 拍手！ です。

東北秋田イオンチアーズクラブのみんなの活動と壁新聞を見ていると、みんなはすばらしい人、大人になっていくようです。そんな感じがします。最初に書きましたが、みんなは活動や体験から感じたこと、考えたこと、発見したことなどをしっかりつかんでいるようです。

とっておきのゴシンドウ★……★……★……★……★……★

松枯れは、炭焼きをする人からいろいろと教えてもらってとっても勉強になったようですね。松くい虫という虫はいないよ、ということも教えてもらいましたね。マツノマダラカミキリの幼虫について、どこにいるのか？ そうです、外てきから身を守るためにかたくて深いところに住んでいるのだね。生き物と言うのは外てきから身を守るために、いろいろ工夫しているのですね。これから自然観察などで生き物を観察するきかきも多いと思います。どうやって外てきから身を守ってるのかを調べたり、良く観察するのも良いと思います。

実際にさわってみてぶよぶよしていることも分かりましたね。はじめはちょっとゆうきがいるかも知れませんが、実際のものを見たり、さわったりすることは、とっても大事なことです。

白いところは何だろうとぎもんを持つこともとても大事です。タンパク質で栄養なんだね。冬眠の時に必要ということも分かりました。松の葉っぱをはり絵で表現してくれ、枯れたところを黄色い色紙ではりつけてくれました。なかなか良いアイデアですね。カムフラージュも生きものが外てきから身を守る一つのやり方、くふうですね。草むらで草の色、緑色と同じ色になっているとなかなか見つけるのがむずかしいですね。海の中にはリーフフィッシュと言って海そうの茶色に合わせて茶色で葉っぱのような形をした魚が海そうにくっついているようです。陸上の生き物でもまわりの色に合わせて身をかくしている生き物がいっぱいいます。カメレオンは色が変わりますね。私たち人間：人類はできないな一。でも人間は体に色をぬったり、草むらのような服を着て、相手から見えないようにすることもやっているのは知ってますか？ カムフラージュは外てきから身を守るだけでなく、えさを取る時に相手に気付かれない工夫でもあるのですね。みんながひっしになって生き物を探しているようすが良いな一。緑色の紙にいろいろな色の紙を貼りつけてくれたのもすばらしいアイデアです。

今回は、こんなことができたからさらに一歩進んで、こんなことに気付きました。こんなことを考えました。こんなことを発見しましたなども書いてくれるとさらにうれしいです。

これからもこのような活動を続けてくれると大変うれしいです。



ひろおもて

エコクラブ

森の観察

水辺の観察

木ガルの観察

クリーンアップ

05-02

07-01 三井住友銀行賞

目指そう 第3代湖水質 日本

湘南エコクラブ 新聞

水質なぜよ オール実験いかようの

07-01 湘南エコクラブ

日本一水質の良い猪苗代湖を取り戻せるよう、多くの人と一丸となってがんばって下さいね！

しんそう世界だいすきクラブのみなさんへ
師範から一言――

“ぼくたちのまわりには楽しいことがいっぱい！”とステキな題名を新聞につけましたね。堅破山(たつわれさん)や大洗水族館に行った様子や、保和苑(ほわえん)での活動の様子が、生き生きと活動する写真とあわせて紹介してくれました。楽しく活動していることが伝わりました。

エコキャップ活動は自分ことばかりではなく、世界の人々にも目を向けた活動ですね。視野が一段と広がったのではないのでしょうか！

エコクッキングなどのように自然にやさしい活動をするようすも、よく分かりました。エコ活動は、身近な取り組みの積み重ねが必要です。これからも、身の回りの一工夫を積み重ねていって下さい。

みなさんのさまざまな取り組みが、よく伝わる新聞になっていました。これからも、ひとつひとつの活動の意味を考えて、楽しいクラブ活動を続けていってください。



とっておきのゴシンドウ★……★……★……★……★……★……★

とても楽しそうな活動報告でした。そのため、私も堅破山や保和苑に行ってみたくになりました。どこにあるのか知りたくになりました。また、堅破山の報告には、平らなテーブルのような物の上にみんなが座っている写真がありました。この写真は、いったい何なのか？不思議ですね。次回は、解説してほしいと思いました。

エコクッキングでは、おいしそうなメニューがいくつも紹介されました。私も作ってみたいと思うメニューがありました。作り方について、もう少し詳しく解説してくれると、自分でも作れそうです。材料やその量もあわせて、書いてもらえると助かりますね。

新聞を作成するとき、この新聞で1番伝えたいことは何かを考えることが大切です。今回の新聞は盛りだくさんだったので、例えば、エコ活動の報告と訪ねた報告を分けると、よりすっきりした新聞に変身するかもしれませんね。また、いつ、どこで、だれがといった内容が、リード文に書くように工夫するもよいでしょう。次回も、楽しい新聞づくりをして下さい。

逆川こどもエコクラブ①の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言――

千波湖でふえた生きものが、一目で分かる新聞にしあがりました。写真がつけてあったので、名前だけではわからない姿を、すぐ想像できました。千波湖の生きものがふえた原因は、大きくふたつあることもわかりました。南の生きものが北に進出していることと、外国からしんにゅうしてきた生きものに原因するのですね。新聞ではふたつに区切ってあったので、とてもみやすいと思いました。

へってしまった生きものには、ワカサギなどがありますね。これは、外国の魚に食べられてしまったからでしょうか？これらの原因も、これから調べてほしいと思いました。

皆さんの活動の様子も、写真でよく分かりました。地域の生きもののようすを知ること、自然を大切に作る心がどんどん育つと思います。これからも、千波湖を見まもっていきましょう。



とっておきのゴシンドウ★……

簡潔にまとめられ、分かりやすくまとめることができました。千波湖では、グッピーの記録があるのですね。おどろきました。

さて、掲載した種の中で、再確認した方が良いものがありましたのでコメントしておきましょう。オオゴマダラは、日本では南西諸島に分布するチョウです。現在、茨城県では確かな記録がありません。この種と似ているチョウでアカボシゴマダラがいます。最近、茨城県でも急激に分布をひろげている外来種のチョウです。特にこの種の春型は、後翅の赤い紋が消えますので、一見オオゴマダラに似ています。もう少し確認することが必要でしょう。

それから、ウスバキトンボが見られるようになるのは、温暖化等の要因で南方系の種が分布を北上させていることとは異なります。新聞の記し方に注意が必要です。

楽しい活動の様子を文章で入れたり、メンバーの感想を入れたりすると、より親しみのある新聞になると思います。次回の新聞作成の参考にして下さい。次号を待っています。

茨城県水戸市 逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル:千波湖で増えた生き物、減った生き物(合計10枚)

逆川こどもエコクラブ②の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！

栄宏の泉のホタルの再生活動については、新聞やいろいろな報告で見ることができます。その内容を分かりやすく1枚の新聞にまとめたと思います。感心しました。ゴミの搬出作業から、泉が再生される様子は、とても感動的です。皆さんの努力があったからです。多くの人に知ってもらいたい内容です。このような壁新聞で紹介することはとても大切なことです。これからいろいろな方法で広報して欲しいと思いました。今回の活動は、栄宏の泉がよみがえっただけではなく、そこにホタルが再生したことも注目をあびました。その様子を、新聞の切り抜きで紹介するなどの工夫も感じられました。皆さんの活動の様子も、写真でよく分かりました。地域の生きもののようすを知ることで、自然を大切に作る心がどんどん育つと思います。これからも、千波湖を見まもってってください。



とっておきのゴシドウ★

簡潔にまとめられ、分かりやすくまとめることができました。理科の自由研究のまとめ方のように、「目的」や「活動」「まとめ」などの項目があり、見やすくなっています。

次にまとめる際は、新聞の書き方も工夫してほしいと思いました。新聞では、見出しがあって、内容を要約したリード文がありますよね。栄宏の泉のホタルの再生活動を、そのような形式にすることで、またちがった見方ができるようになるかもしれません。そうすると、新聞の切り抜きも参考になりますね。切り抜きには「ホタル再生」などの文字が大きく記されています。新聞で1番言いたいことをタイトルにすることで、読者が読む動機付けになるでしょう。次回まとめるときは、「読者にどう読ませるか」という視点を大切にしてください。次回も楽しみにしています。

茨城県水戸市 逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル:千波湖で増えた生き物、減った生き物(合計10枚)

逆川こどもエコクラブ③の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！

逆川のホタルの再生活動については、いろいろな報告で見えていましたが、「10年物語」として新聞に書いてくれたので、活動の様子がよく分かりました。特に、主な取り組みが、古い順に記してあったので、その歴史を知ることができました。まだ生まれていない頃からの取り組みも紹介してくれたので、調べるのが大変だったのではないのでしょうか？

ホタルの生息場所が整備される様子と、自分の成長する様子が重ねてありました。そして、そこに感想も書かれてあったので、とてもほほえましく記事を読むことができました。ホタルの住めるような環境は、人が住むのにも素晴らしい環境です。これからも、仲間と一緒に活動を続けてほしいと思いました。期待しています。

とっておきのゴシドウ★

「黄門様のホタル…」とあったので、最初はどんな意味かが分かりませんでした。常照寺について調べてみると、徳川光圀公(黄門様)により創建された寺院なので、これで、タイトルの意味に納得しました。常照寺、つまり黄門様に関係するホタルが減ってきたので、これを守る活動のお話だったのですね。おもしろいタイトルで、とても興味がわきました。でも、多くの方は、常照寺と黄門様の関係を知らないと思います。常照寺についての説明書きが、少しで良いので書かれていたら、もっと分かりやすい新聞になったと思います。

写真を多く取り入れて、説明してくれました。特に、逆川へホタルを引っ越しさせた写真は、常照寺と逆川の位置関係が分かりやすく、効果的だったと思います。その他のところも、文字で説明しなくても見て分かるような工夫がたくさんありました。一方、「あぜの盛り土」をしている様子などは、その理由を知りたいような気もしました。写真を効果的に使いながら、説明を少し加えると、より充実した新聞になると思います。次回は、そんな点にも注意しながら、まとめてみてください。



茨城県水戸市 逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル:千波湖で増えた生き物、減った生き物(合計10枚)

逆川こどもエコクラブ④の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言—————

涸沼の様子が目で分かりました。涸沼は平成 27 年にラムサール条約湿地に登録され、それをきっかけに、良さが見直されたと思います。大きな山があるような自然ではありませんが、人と生きものが互いに関わりを持って保全されている自然のすばらしさを感じることができます。新聞でも、魚、鳥、昆虫のなかまについて、それぞれ詳細な生息数などを記しながら、もっとも特徴的内容を記すことができました。例えば、涸沼は汽水湖なので魚が豊富なこと、鳥の渡りの中継地になっていること、アオモントンボがヒヌマイトンボの天敵であることなど、トピックとして扱った内容が、よかったと思います。とてもおもしろい内容でした。

ヒヌマイトンボの発見者の小菅先生との2ショットもいいですね。茨城の生物研究の第一人者から、いろいろなことを吸収してほしいと思いました。これからも、様々な活動に参加してってください。



とっておきのゴシドウ★……★

全体的に良くまとまっていました。新聞に取り上げた5つの内容も、色分けしたり、それぞれ解説が加えられたり、分かりやすい構成でした。

新聞であることを意識して少しアドバイスするならば、涸沼はどこにあるのか、いつラムサール条約湿地に登録されたのかなど、基本的な情報を最初に記すとよいでしょう。はじめて涸沼を知る人にも、もっと分かりやすい新聞に変身すると思います。

また、涸沼がラムサール条約湿地に登録された理由のひとつに、人と生きものが共存している環境であることも含まれます。人が自然と如何にかかわって生活していくか、これからの大きくなる皆さんと一緒に考えなくてはならない大きな課題です。涸沼を調べることによって、地球規模の環境も考えながら、環境保全をすすめてほしいと思いました。より一層の活動を期待します。

茨城県水戸市 逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル:千波湖で増えた生き物、減った生き物(合計10枚)

逆川こどもエコクラブ⑤の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言—————

いい新聞ができあがりました。何とんでも、鳥の写真を自身で撮影されていることに驚きました。たくさんの鳥を、しかもきれいに撮影しているので、素晴らしいと思いました。涸沼の鳥の紹介として、役に立つ資料となるでしょう。

さて、細かく見ていくと、いろいろな点が工夫されていて感心します。観察ポイントごとの違いが一目で分かるように、見られる鳥の台紙の色を変えている点、夏鳥と冬鳥の違いなどいつ見られるかを記号で記している点、体長や餌などをコンパクトにまとめている点など、とても見やすいまとめ方です。涸沼の図を中央に配し、観察ポイントがどこなのかを、感覚的に記すことも工夫のひとつですね。

今回の鳥の調査で、涸沼の豊かな自然を感じ取ることができました。また、絶滅危惧種に指定されている生きものも多いことに気づきました。いろいろ経験したことを基に、さらにいろいろなことを学び、涸沼の保全活動に参加してほしいと思います。がんばれ！



とっておきのゴシドウ★……★

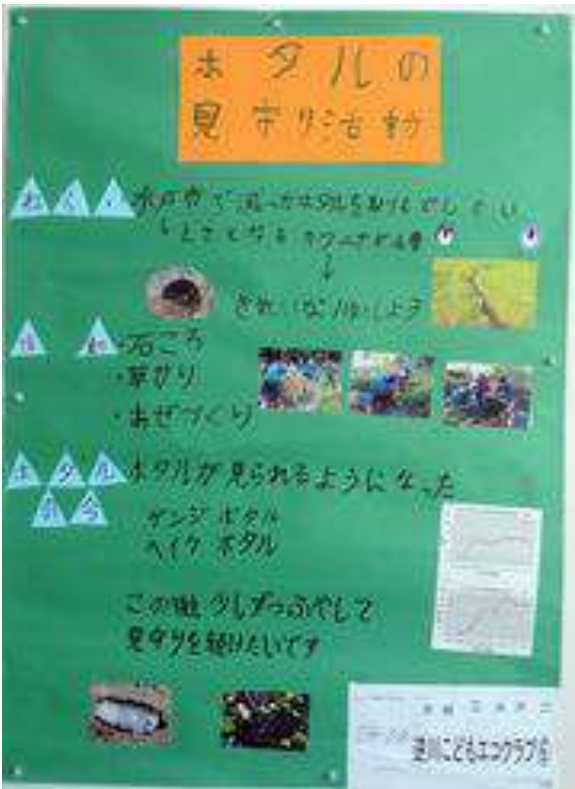
全体的に良くまとまっていました。新聞に取り上げた5つの内容も、色分けしたり、シールで分類したり工夫の跡が見られます。中央に、涸沼の切り絵を配したのもよかったですね。

さて、新聞という観点から、少しだけコメントしておきましょう。今回の新聞では、文章の見出しを“目的”とか“まとめ”という項目にしました。レポートとしてみるとよいのですが、新聞なら“涸沼で 73 種の鳥”とか“豊かな自然を残すために”のような見出しにしてはどうでしょうか？読者も、そのタイトルに導かれるように文章を読んでもくれると思います。次回作成すると個の参考にして下さい。次の新聞がどのように進化するか、楽しみにしています。

茨城県水戸市 逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル:千波湖で増えた生き物、減った生き物(合計10枚)

逆川こどもエコクラブ⑥の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言———
ホタルを見まもる活動によって、ホタルの数がだんだんふえてきてよかったですね。
ホタルの数を増やすには、まず「川をきれいにする必要があります」と考え、川をきれいにするのに「草刈りやあぜづくり」の活動を行い、その経過を「発生個体数のグラフ」にまとめてくれました。活動のようすが、分かりやすくまとめることができました。それから、写真で、あぜづくりなどの活動の様子も分かりました。みんなが協力して、しかも楽しそうに働いていることが伝わってきました。
今後、ホタルの保護活動をどのようにすすめるのか、みんなと考えて活動してってください。

とっておきのゴシンドウ★……★
内容がシンプルで、視覚的にすぐ分かるような掲示物にまとめられています。ホタルの見守り活動について、もっと知りたい人のために、どのような工夫が必要か考えてみましょう。新聞の読者は、ホタルの保全活動が、いつ、どこで、だれが、どのように行われたかについて知りたいと考えられます。活動をはじめたのがいつなのか？水戸市のどこの川のことなのか？作業をしたのはだれなのか？などについて、報告してくれると読み手の興味・関心が高まるでしょう。次ぎに新聞を作るときには、こんなことを考えながら作成してください。それから、見出しの工夫も大切ですよ。
今回の新聞がどのような姿になるか、楽しみにしています。



茨城県水戸市 逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル:千波湖で増えた生き物、減った生き物(合計10枚)

逆川こどもエコクラブ⑦の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言———
ホタルが減っていることから外来種のことに興味を持ち、いろいろ調べてくれました。この調査は千波湖の生きもののことでしょうか？外来種と在来種が分けて示してあり、特に外来種については、詳しくレポートしてくれています。外来種について新聞にまとめることをとおして、外来種問題の根源は人のせいであることに気づくことができました。人の勝手に生きものが持ち込まれてしまい、もともと生息していた生きものにとっては、とても迷惑なことですね。あわせて、連れてこられてしまった生きものも不憫ですね。外来種問題は、生きものの生死についても考えなければならない場面が生じます。いろいろな考えに耳を傾け、よい道を探ればよいなと考えています。これからも、さまざまな活動を続けてってください。

とっておきのゴシンドウ★……★
外来種について調べていった経緯がよくわかり、視覚的にも分かりやすい紙面だとおもいます。ただ、どこで調べた内容だとか、1番知りたい内容がぬけてしまったのが残念です。在来種と外来種を分けて紹介していますが、多くの人はどちらが外来種であるか分からないと思います。細かい点になりますが、そのような点もきちんと記してくれると、外来種の繁殖をとめたいという願いが伝わると思います。
新聞を記すときは、5W1H(When(いつ)、Where(どこで)、Who(だれが)、What(何を)、Why(なぜ)、How(どのように)の頭文字を取ったもの)を念頭に置いてみましょう。次の新聞作成の参考にしてみてください。



茨城県水戸市 逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル:千波湖で増えた生き物、減った生き物(合計10枚)

逆川こどもエコクラブ⑧の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！
茨城県での再生エネルギーの利用状況が、一目で分かるように工夫した新聞となりました。特に、私は地域ごとにどのエネルギーが利用されているかについて、興味をもつことができました。エネルギーマップを見ると、海岸沿いに風力発電が多く、山沿いには小水力発電が見られます。地域の特徴にあった再生エネルギーの活用が行われていることが分かりました。気がつきそうで知らなかった内容でしたので、“目から鱗”の情報となりました。
“さ”“い”“え”“ね”の見出しをつけて、記事をまとめたりのもの、おもしろいと思いました。その他にもさまざまな工夫の跡が垣間見られ、あきないで見ることができる新聞に仕上がりました。



とっておきのゴシドウ★
とてもよくまとまった新聞だと感じました。ただ、「こどもエコクラブ」の壁新聞道場としては、子どもの活動の様子を、新聞から感じ取ることが難しかったのが残念です。子どもたちの発想は、時に大人達を驚かすような視点をもたらししてくれます。稚拙な面もありますが、それもひとつの味です。子どもたちが新聞をつくることで得られる達成感の一部を、紙面から感じられるような工夫をお願いします。
壁新聞としては、読みやすくデータもしっかりしており、分かりやすい紙面に仕上がりました。一方、一般の新聞では、見出しやリード文などを配置しながら紙面を構成しています。それらを意識しながら、壁新聞を構成するのもおもしろいかもしれません。次回の新聞が、どう変身するか楽しみにしています。

茨城県水戸市 逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル:千波湖で増えた生き物、減った生き物(合計10枚)

逆川こどもエコクラブ⑨の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！
栄宏の泉のホタル再生プロジェクトの歴史が、手に取るように分かりました。泉を再生させる活動、ホタルを放流する活動などを、写真をうまく配置しながら説明してくれました。そして、効果的な見出しをつけたので、文字が少なくても内容が分かりました。写真を見ると、多くの方の献身的な働きが写っており、栄宏の泉にかけた思いを、感じることができました。
それから、「この壁新聞は、つくってくれた人の成長の足跡だ」と感じました。これまでの活動を振り返って、壁新聞にまとめてくれました。そして、栄宏中学校を卒業するに当たり、このホタルの活動をどうしたらよいかについて思いをめぐらし、新たな場での活動目標を宣誓してくれました。プロジェクトを長く続けることは、とても難しいことです。地域の人たち、後輩達とどのように連携すればよいか考えていって下さい。



とっておきのゴシドウ★
よくまとまっている新聞だと思います。あとは、個人的な好みのレベルだと思いますが、“新聞”という観点で、コメントしておきます。新聞では、見出しで読者の興味を集め、リード文で全体の内容わかり、本文でさらに詳しい情報を提供しています。そのような段階を重視すると、また、ちがった紙面構成も考えられます。参考にして下さい。
今回の壁新聞は、わかりやすさの点からかなりハイレベルのできになっています。人に物事を伝える方法は、ひとつではなく、いろいろな方法があると思います。パワーポイントをつかったり、動画をつかったり、今ではいろいろなメディアもありますね。いろいろな発表の仕方を勉強し、より効果的な紙面の作り方を勉強して下さい。期待しています。

茨城県水戸市 逆川こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル: 千波湖で増えた生き物、減った生き物(合計10枚)

逆川こどもエコクラブ⑩の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！
水戸黄門をキーワードにして、ホテル、サケ、ドジョウ、ワカサギについて一般的には知られていない内容を、たくさん紹介してくれました。面白い紙面構成だと思いました。水戸光圀が愛した自然の一端を、現在に生きながら感じる事ができたと思います。
栄宏の泉のホテルについては、ほかの報告でも見ることができますね。活動の歴史が要領よくまとめてありました。
サケについてはサケレンジャーの活動がよくわかりました。自分たちで採取した卵を育て放流する活動は、桜川・逆川だけとは知りませんでした。活動を続けてほしいと思いました。
ドジョウの調査では、ホトケドジョウも確認されました。栄宏の泉の自然の豊かさが証明されました。どのような保全活動をすすめるか、考えていってください。
千波湖は、大きな町に隣接した池なので、人の影響を受けやすい場所です。でも、最近の活動で、かつての池の様相が復活してきているようで、うれしいですね。ワカサギもそのひとつでしょう。今後の活動にも期待します。
逆川エコクラブでは、いろいろな取り組みをしていますね。これからの活動も注目しています。また報告してください。



とっておきのゴシンドウ★
よくまとまっている新聞だと思います。見やすさの点から、1点コメントをしておきましょう。今回の壁新聞は、とてもたくさんの内容が盛り込まれていました。そのため、小さな文字で報告され、読むのが大変だった人もいます。皆さんの内容をスリム化すると、内容の点からも読みやすさの点からも、わかりやすい新聞に変身します。ぜひ工夫してください。次の、壁新聞を楽しみにしています。

茨城県水戸市 かみおおのアースレンジャー
壁新聞のタイトル: 08-02

かみおおのアースレンジャーのみなさんへ
師範から一言――
カイコの成長記録を、写真でていねいに記されたので、大きくなる様子が手に取るように分かりました。その記録の積み重ねがあったので、1階と2階の成長のちがいに気がついたのですね。カイコの成長とあわせて、気温を記録しておいたのもよかったと思います。気温を測定していたから、成長の違いを気温と関連づけられたのですね。
カイコを育てるとき、飼育箱に入れるカイコの数を変えて実験したのは、おもしろいと思いました。5匹より1匹のほうが、部屋をのびのび使えるので、体が大きくなったのですが、差はあまりなかったのですね。そういえば、養蚕でカイコを飼育するとき、給桑台に餌の桑と幼虫を、一度にたくさん入れていました。カイコの成長に、密度はあまり影響しないのでしょうか！
新聞では、体長や体重の変化をグラフで表してくれました。これは、とても分かりやすかったです。成長するに従い、体重が急激に増えている様子がよく分かりました。
カイコの成長の様子を熱心に観察したことで、みなさんもカイコと同じように成長していったと思います。生きものを大切にする気持ちを、これからも大切にしていって下さい。



とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★
カイコの成長を温かく見守る様子が感じられました。カイコの育つ条件を部屋にしぼって考えたのも分かりやすくよかったと思います。カイコが大きく育つ部屋を知るためには、飼育箱に入れるカイコの数だけではなく、飼育箱自体の大きさや、素材なども関係するかもしれません。また、飼育箱の気温も大切ですから、もっと気温の差がある場所で飼育するのもおもしろいですね。いろいろな疑問点が見えてきた実験です。次回は、この報告に新たな工夫をしてほしいと思いました。
新聞の体裁としては、結論を分かりやすく書くことが大切ですから、見出しやリード文をとりいれることをすすめます。例えば「温度が高い2階は成長も速い」というような見出しがあれば、とても読みやすい新聞になります。次回、新聞を作成するときには、そんなところにも気をつけて見てください。バージョンアップされた新聞を楽しみに待っています。

龍ヶ崎市環境学習講座のみなさんへ
師範から一言！

エコ・ファーストパークに行った様子と、エコ・チャレンジクッキングを行った様子が、よくわかりました。楽しい活動ができたようですね。エコ・ファーストパークでは、いろいろな家を見ることができました。“風の家”や“明日の家”などの名前を見ただけで、とても面白い施設であることが想像できました。また、ペアガラスやソーラーパネルについても知ることができたようですね。新しい技術で、環境にもやさしい家ができているのですね。ところで、古い家のつくりにも、自然に根差した工夫があったりします。そんなことについても、勉強してってください。エコ・チャレンジクッキングでは、料理をつくる時にもエネルギーが必要であることや、ゴミをいかにへらすかなどを学習することができました。食べる活動もあったので、みんなが楽しそうに取り組んでいることを感じることができました。環境は、身近なことから見直すことが大切です。食べ物から環境を見直すのは、とてもよいきっかけになるでしょう。これからも続けてほしいと思いました。



とっておきのゴシドウ★

毎年、夏休みに行く環境学習講座のようすを、感想を壁新聞しまとめることで報告してくれています。ありがとうございます。さまざま活動が行われますが、活動のまとめをしないで終わりにしてしまうことがあります。まとめをしないと、活動の定着がすすまないと考えられます。今回のように、感想を簡単に記すだけでも、その活動への意識が高まりますから、壁新聞づくりはこれからも続けてください。

壁新聞づくりを行うとき、感想を内容別に分けて、小見出しをつけるなどの工夫があると、より読みやすくなります。そんな点も考えながら、来年の環境学習講座では新たな新聞づくりに取り組んでみてください。がんばってください。

八溝自然たんけんたいのみなさんへ
師範から一言――

八溝自然たんけんたいのみなさん、こんにちは！みなさんが作ってくれた壁新聞を読みました。とってもいいに生き物調べをしていることにまず、ビックリしました。久慈川や支流の川や水田、森の中の調査もやりました。滝のある袋田にも行きました。森と水辺がある里山の生き物も調べました。生き物は水の中の魚や水生昆虫、そして川のまわりにいる鳥や植物、それだけではありません。家や学校、田んぼや草原でトンボもたくさん見つけました。それだけではありません。イノシシ、テン、モグラ、マムシやシマヘビなど動物も見つけました。ビックリ！！

このようないろいろな所の生き物を調べているのは、じつはサシバが元気よく、たくさん飛んでほしい願いからですね。サシバの鳴き声“ピクイー、ピクイー”がたくさん聞こえる、そしてすがたがたくさん見られる大子町にしたいとの願いから生き物調べをやっているのですね。

大子町に限らず日本の各地でサシバが少なくなっています。それは水田で働く人が高齢化などで少なくなり、水田がなくなっていることや里山も手入れをする人が少なくなっていたり、手入れをしない。昔は炭を作るために里山の木をちゃんと手入れしていた。などでカエルや昆虫などや魚、ヘビなどが少なくなってしまったことです。生き物が少なくなれば、みんなも気が付いていますが、サシバのエサが無くなってしまい、南の方からもどってくるサシバがいなくなってしまうのですね。

そんなことから、みんなはどんな生き物がいるか？生き物の数はどのくらいいるか？などを調べているのですね。生き物をもっと増やすためには、生き物が生きている所をもっとふやすことが必要です、きれいにすることが必要です、などに気が付いて、いくつか提案をしてくれました。里山の小さな田んぼをいつまでも耕作できるように、農家に補助制度を作ってください、農家の人たちに自分たちの田んぼやまわりに貴重なサシバがいますので、例えば、農薬はたくさん使わないようにして、カエルや虫、魚などの生き物がたくさん生きられるようにして下さい、日本だけで守るのは限界があるのではないかな？と考えサシバが住む東南アジアの人々とも交流をもって、サシバをだいにしようとする運動を進めたいなど、とっても大事なことを考えてくれましたね。



見つけた生き物の名前がたくさん書いてありました。サポーターの方が教えてくれたのかも知りませんが、みんなは日頃から生き物に関心をもって、観察しているのでしょう。そして名前もたくさんおぼえたのでしょう。すごいなー！そしてみんなが見てこんな形かなーとウスバキトンボ、ヘビ、はな、虫、チョウ、魚、やまうさぎなどの絵を書いてくれました。色をつけてサシバ、カニ、クワガタ、あさがお、カエルなどの生き物を書いたのはサポーターの方かな。この壁新聞は生き物でいっぱいです。八溝自然たんけんたいのみんなは、生き物の名前だけでなく形も知りました。どこに住んでいるのかも知りました。生き物の博士になったのだと思います。都会に住んでいるお友だちからみると、八溝自然たんけんたいのみんなは、とってもうらやましいところに住んでいるなーと思いますよ。

このような自然があふれるところで生き物といっしょに住んでいるみんなは、もう一つ大事なことに気付いています。里山だよりに書いてありました。生き物の命を大事にしよう。サシバのためだけではありません。私たち人間が生きるために、住むためにも自然をだいじにする、生き物の命を大事にすることがとても大切なことですね。そんなことをみんなは自然活動の中から勉強し、気が付いたと思います。すばらしいことですよ。

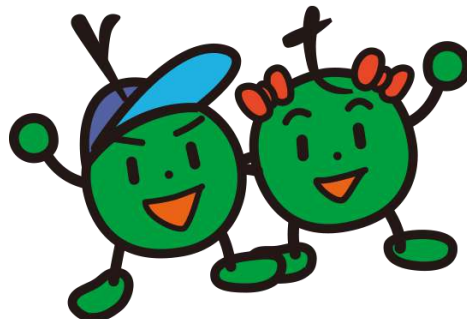
みなさんの活動の中でとっても感心することも発見しました。それはほかの団体と協力して活動していることです。大子くらしの会、かすみがうらんきょうセンター、自然保護協会、おひさま水の会、日本野鳥茨城の会と協力して活動しています。それぞれの団体が得意とする活動があるでしょう。そのようなところと協力することでみんなの活動もはばが広がり、なかみもレベルアップすると思います。

里山だよりをいっぱい発行しているようですね。その時期その時期のとくちょうてきなできごとや発見が書いてあります。秋のトンボ特集では、見つけたいろんなトンボのことが書いてありました。アキアカネ、ミヤマアカネ、ウスバキトンボ、ショウジョウトンボ、ハッチョウトンボなどは、どんな色をしているのかな？どこから来るのかな？大きさは？田んぼの上を飛んでいて下には降りませんというトンボもいるのですね。

とっておきのゴシドウ★……★……★……★……★……★……★

自然観察の大事なことは、5感(目、耳、鼻、口、皮膚)をはたらかせて感じるのだそうです。みんなも生きものさがしで目でいっしょうけんめいさがしました。ピクイー、ピクイーとサシバの鳴き声、コロ、コロ、コロとカジカガエルの鳴き声を聞きました。ウグイスのさえずりを聞きましたね。ヤゴやザリガニを手の上にのせてさわりましたね。においはなかったかな？奥久慈憩いの森で食べるチャンスはあったようですが、ピザだから自然とはちょっとちがうかな？いやいや自然の中で食べたので、とってもおいしかったよ！と言う声が聞こえそうです。

これからもサシバが増えるようにみんなの自然をだいじにする、生き物をだいじにする活動を続けてください。サシバが増えました！という報告を楽しみにして待ってます。



ボーイスカウト宇都宮第 15 団カブ隊①の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言――

ボーイスカウト宇都宮第 15 団カブ隊「じゅたバタ～」を作ったみなさん、こんにちは。
かべ新聞が見やすく、おもしろくなるように、たくさんの工夫をしたんですね。4 コマまんがで
4R を伝えるという方法も、とってもおもしろいと思います！（しかもこの 2 つは自分で考
えてね、と読んでいる人がきょうみをもつような内容なのは、ナイスアイデアだと思いま
した^^）
ちなみに、今回は 4R ですが、もう 1 つ R がふえた 5R があるのも知っていますか？もしよ
かったら、5 つ目もとっても大切な R なので、ぜひしらべてみてくださいね♪
そして、もう 1 つの魚釣りはとっても楽しそうですね！子どものころから、たくさんの自然に
ふれあって遊ぶことは、とても大切だと思います。その楽しかった思い出を大人になっても
忘れずに、自然をまもっていけるような大人になってほしいと思います★
最後に・・・なぜじゅたバタ～なのか気になりました！ぜひまたかべ新聞を書くことがあつた
ら、理由も教えてね。



とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★
かべ新聞の作成お疲れさまでした。

子どもたちが自ら調べ、とても楽しく学習や体験ができたことが想像できました。知っているようで知らない 4R は、大切なこと
ですし、私も実際に普段から心がけています。ボーイスカウト宇都宮第 15 団カブ隊のみなさんも、これからは、エコを心掛け
てほしいと思います。
4R についてよく調べられているので、これからは、自然の中での活動と 4R の関連を見つけてみると面白いかもしれません。
例えば、自然の中で遊ぶ際に、ごみが出ないようにするにはどうしたら良いか、などを意識し、それがかべ新聞にも反映され
ていると、より読み応えのあるものになると思います。自分たちの体験や活動がエコにつながっていることが分かれば、子
どもたちもっと意識して行動ができるようになるかもしれませんね♪

ボーイスカウト宇都宮第 15 団カブ隊②の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言――

ボーイスカウト宇都宮第 15 団カブ隊「宮タイムズ」を作ったみなさん、こんにちは。
いろいろな活動の中で、本当にたくさんのエコの発見をしたそうですね。私も読んでいて勉強に
なることがいくつもありました。
そして、かべ新聞には、写真やイラスト、折り紙など、見る人がたのしめる工夫がたくさん感じ
られました（ただ、えんぴつ書きだと、少し見えにくい文字もあったので、かべ新聞は、ペンで書
くことをおすすめします）。
いろいろな活動を経験した後は、「自分の生活では、どのような場面で活かせるかな？」など、
ふだんの生活に取り入れる工夫を考えてみてはどうでしょうか？私も、環境の話などを聞いた
ときは、必ずこれを考えるようにしています。そうすると、自分の生活ではもっとこうしたらエコ
だな、とか、逆に今まで通りがんばろう、など、いろいろな考えが生まれると思います。
もし、これからの活動で思いついたら、ぜひまた、かべ新聞にまとめてみてね！楽しみにして
います♪



とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★
かべ新聞の作成お疲れさまでした。

私は子どものころにあまり、環境に関するイベントや体験には参加していなかったのですが、宮タイムズのみなさんがとてもうらやまし
いですし、これから将来を担っていくすばらしい子どもたちが育っていることはとても頼もしいです。
このかべ新聞を読んだとき、たくさんのイベントを通して、子どもたちがどのような学びや発見があったのかを知りたいな、と思
いました。大人には想像もつかないような面白い感想や発見がきくとあると思うので、そんなこともかべ新聞に反映されていると、
今よりもさらに良いものが出来上がるのでは、と思います。自分で感じていることと違う感じ方をしている仲間がいることも、きっと
良い刺激になると思います。

壁新聞のタイトル:

師範から一言一

ボーイスカウト宇都宮第15団カブ隊「自然くらし新聞」を作ったみなさん、こんにちは。
みなさんは、キャンプ、ひみつきち、魚つり、じゃがいもほり、などたくさんの体験をしたんですね。
どれもみなさんが、とても楽しんで取り組んだことが読み取れます。新聞も、絵をかいたり、工夫をしながら書いてくれたんですね。

みなさんは、なにか体験をするときに、目標を決めているでしょうか。楽しむことはもちろん大切ですが、なにか目標を1つでも作ると、さらに中身のある体験になります。

例えば、ひみつきちを作るときに、「エコなものだけを使ってひみつきちを作ろう」などです。目標を作ることで、自分たちが何のためにこの活動をしているのか、あらためて考えられます。そうすることで、きっと今よりもっと“かんきょう”や“エコ”について、いしきできるようになると思います。

ぜひ、また違う体験にチャレンジするときは、目標を決めて取り組んでみてくださいね♪



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★

かべ新聞の作成お疲れさまでした。

ボーイスカウト宇都宮第 15 団カブ隊のみなさんは、本当にたくさんの活動に取り組まれていて、とてもうらやましく思います。自然くらし新聞を読んだ時も、こんな活動をしているんだな～と、とても楽しく読ませていただきました。

かべ新聞は、とても良い活動紹介になっていますが、隊員のみなさんがバラバラに書き上げた印象を受けました。それぞれ役割があるのはとても良いことですが、グループで話し合うことで、どんな内容を書くか、どのように表現したら良いかなど、最善のアイデアが出ると思います。また、他人のアイデアを聞くことで、「そういう意見があったんだ」「そんな考え方もあるんだ」と、子どもたち自身の発見や学びにも繋がると思います。

隊員の個性もあるかと思いますが、子どもたちに合った方法でこれからもすてきなかべ新聞を作ってくださいね♪

壁新聞のタイトル:

師範から一言一

ボーイスカウト宇都宮第15団カブ隊「エコリサイクル リユース リデュース新聞」を作ったみなさん、こんにちは。

スーパーのふくろでパラシュート作りをしたり、ロープを使ってブランコ作りをしたり、たこを作ったり、とてもおもしろそうな体験をしましたね！自然のものを使って、電気やガスを使わないエコな体験をしているのが、すばらしいと思いました。

エコに遊んだり工作をする方法をみなさんは学んだと思うので、ぜひ、他のアイデアも考えてみてください。例えば、私もふだん「エコ工作」を考えています。電気やガスを使わないのはもちろん、なるべくごみが出ない工夫、新しいものを使わない3Rの工夫をします。ごみになりがちなものでも、みなさん全員で考えたら、おもしろい工作のアイデアが生まれるかもしれません。ぜひ、新しいアイデアが浮かんだら、かべ新聞にまとめてみてね！



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★

かべ新聞の作成お疲れさまでした。

イラストや色画用紙などを使って、明るいふんいきのつつい読みたくなる かべ新聞でした。また、マジックで文字を書いているのも、とても見やすかったです。

始めは、なぜ「エコサイクル リュース リデュース新聞」なんだろう、と思ったのですが、読んでみると色々な活動場面で3Rを感じることが出来ました。しかし、もしかしたら、かべ新聞を読む人の中には、3Rを知らない人や、なぜこの活動が3Rになるのか分からない人もいるかもしれません。そのような人たちのために、3Rとは何か、それぞれの活動は3RのどのRに入るのかなどが、かべ新聞に書いてあるとより良いと思いました。

高学年の子も多くいるので、自分たちだけでなく、人に伝える、相手に分かりやすくすることを考えられると思います。ぜひ、次回かべ新聞を作る際は、下書きをして、この新聞を他の人が読んだらどう感じるかな、といううちがった視点で考えてみるのも良いかもしれません。

東峰エコキッズ①の新聞を書いたみなさんへ

岡本師範から一言—————

東峰エコキッズのみんなが作ってくれた日本一のサシバの里壁新聞は、ひとことというとなってもすばらしい、力作の壁新聞です。

みんながサシバについてしらべたこと、インタビューで知ったこと、サシバのえさについてじっさいに手にとってしらべたことなどたくさんのことを写真で見せてくれました。サシバのめいけいにひとつひとついいねいにかいてくれました。市貝町のひみつにまとめました。

サシバについての話やしらべたことだけでなく、もっとすばらしいな—と思ったことは、サシバがすんでいるかんきょうとくらべて、どうしてサシバが少なくなったのかをしっかりと見て、考えて自分たちのことばで書いてあることです。自然と関係つけてしっかりと調べ、書いていることがとってもすばらしいです。

この壁新聞を読むだけでサシバのことが全部わかってしまうくらい、いろいろな面から書いてありました。サシバの大きさはもちろん、食べるものはなにか、どのくらい、なんびき食べるか、東南アジアと行き来していること、集合場所はどこか、食物れんさのちょうてんにいることも書いてくれました。サシバがげんきに生きている市貝町の自然についてもくわしく書いてくれました。市貝町の自然が良いからサシバが東南アジアからわたってくる、たくさん住んでいることがよくわかります。

市貝町のひみつも良くしらべて、書いてくれました。このまとめは、さすがに高校生がまとめたのでしょう。サシバが少なくなっている原因を考えました。エサ場の谷津田の大事さ、よごしてはいけない場所です、農薬や化学肥料のことも書いてくれました、台湾へ行って調べたことは大変役に立ったのだと思います。市貝町と台湾の墾丁と言う所が姉妹都市になると良いな—と思いました。

自然が残されているすばらしい市貝町をせんでんしたいと、遠足に行きました。牛も見て牛乳もここからとれるんだよ、バターもつくったのだね。栃木県のいちごはぜんこくによくしれわたっていて有名だね。とちおとめをとって食べたのかな？あまおうかな？市貝町のとおきの出し物は、やっぱりサシバのさっちゃんですね。

この壁新聞は、色もたくさん使っており、写真もある、みんなが書いた絵もある、しらべたこともいいねいを書いてある、とってもすばらしい壁新聞でした。

こんなにすばらしい壁新聞を作ると来年はどんな壁新聞を作ってくれるのか、とってもたのしみです。

とっておきのゴシンドウ★……

市貝町の入野町長さんへのインタビューでも、みんながしっかりとべんきょうしていることがよくわかりました。しつもん8つを紙にかいてくれたので、みんながどんなことにぎもんを持っているのか良く分かったし、しつもんするないように行く前にじゅんぴして行ったのでしょう。その場でかんがえたことでなく、ちゃんとかんがえて行ったのはとてもすばらしいと思います。

川にいるいろいろなきものをしらべ、つかまえたのも楽しそうでいいな—。みんなが“自然のこども”になっているのがとてもいいですね—。みんなはカエルをつかまえることができる、あかはらいもりもつかまえることができる、とかいのこどもたちはカエルをつかまえることができるのだろうか？カワニナ、ヤゴ、ドジョウ、アメリカザリガニ、ヨシノボリ、コオイムシ、マツモムシ、オタマジャクシ、タモロコそしてヘビもいた。きれいな川なのだね。これらはみんなサシバのえさになるのでしょうかね。サシバのえさを調べたのですね。

みんながサシバのことをいっしょうけんめいしらべて、環境をまもることがとってもだいじですよ、と分かりましたね。自分たちでいっしょうけんめい活動するだけでなく、まわりのひとたちにも教えたいと書いてくれました。そうです！たくさんのひとが手を取り合って自然をまもることで、サシバの里“市貝町”がもっと、もっと有名になり、サシバを見たい人もたくさん来るでしょう。



栃木県宇都宮市 東峰エコキッズ
壁新聞のタイトル:

東峰エコキッズ②の新聞を書いたみなさんへ
岡本師範から一言—————

東峰エコキッズ②のみなさん、こんにちは！みなさんが作ってくれた
SOS！野生動物の危機の壁新聞を見て、びっくり！びっくり！何度もびっ
くりしました。新聞のまん中にウンチで作った紙でゾウが作ってありました。
すごい！この新聞を見た人は、なんだこれは！ということで新聞にくぎづけ
になってしまいます。

なんでゾウなんだ。この新聞を読むと二つの大事なことが、みんなのメッセ
ージとして読み取れます。一つは、ゾウが密漁などでどんだんころされてし
まい、数がとっても少なくなっているよ。あと15年で地球上からいなくなっ
てしまう。ゾウは人気者で、だれでも動物園に行くとかならず見て楽しんで
います。でも近い将来、いなくなってしまう。こまったなー！

もう一つは、ゾウのうんちには紙の原料となる“せんい”がいっぱい入っ
ているので、うんちから紙ができます。私たちが使っている紙は、木からパル
プを作って紙にしています。あるいは、みんなも学校や環境フェアなどで牛
乳パックから紙をつくることをやったことがあるでしょう。みんな同じ木のせん
いです。

そこで、みんなはすごいことをやりました。ゾウのうんちにはせんいがいっ
ぱいあるので、紙ができるんだ。本当だろうか？紙を作ってみよう、スター
トしました。やっぱりうんちだからくさいよね。でもみんながんばろう！とい
うことでおもたいうんちを手で持って、なかみをしらべました。葉っぱやくき、
えだなどいろいろとまざっていることが分かりましたね。だから紙が作れる
んだね、とちゃんとわかりました。



栃木県宇都宮市 東峰エコキッズ
壁新聞のタイトル:

うんちを洗って、5～6時間ぐつぐつにます。消毒をして、さいごはミキサーでどろどろにします。どろどろになれば、紙すきですい
て紙ができました。手でたいらにひろげるのが、いがいとむずかしかったようですね。できあがった紙でゾウを作ったのですね。
ゾウのうんちはくさかったけれど、洗って、にて、消毒して紙にしたら、いがいとくさなかったのでびっくりしましたね。

とっておきのゴシンドウ★……

みんながうったえたいことは、ゾウのうんちで紙を作りました、ということでゾウに関心を持ってください。ゾウがぜつめつの危機
にあります。どうしてゾウをたくさんころすのだろうか？実は、ゾウのキバで印かんやアクセサリを作ります。どっしりと重たい
印かんやアクセサリは高級品です。だからみんなが買いたがるのですね。ぜつめつするおそれのある動物は、ゾウだけでは
ありません。サイもぜつめつの危機にあります。オランウータンもぜつめつの危機にあります。どうして数がへっているのか？
みんな人間のせいです。サイの角はクスリになります。オランウータンが住んでいる熱帯林は、ヤシ畑にするために開発されて
います。ヤシからパーム油をとって、サラダ油やいろいろなお菓子に使っているのですね。人間が好き勝手に行動しているか
ら、動物たちがこまっているのです。

みんなの壁新聞は、こんなに大きな問題に私たちがもっと気付いて、人間の欲望だけで、生きものをころしたり、住んでいる所
をこわすのをやめることで動物たちをほろぼさなくできますよ！とうたえているとってもすばらしい新聞です。
動物がいなくなっても、人間がほろびなければ問題がないじゃないですか？という人もいます。でもそんなことはありません。他
の生き物がいなくなれば、最後は人間もほろびるのです。すぐにそうなるわけではありません。時間がかかります。年月がかか
ります。でも、絶対に人間にえいきょうがでます。ほろびた動物をもとにもどすことはできません。
植物をふくめて生き物は、おたがいに食べる食べられるの関係や、いっしょに仲良く住んでいる関係や、おたがいに助け合う関
係などでこの地球上に生きています。どれか一種類でも生き物がいなくなるとこれらの関係が、不安定になり、こわれてしま
います。えいきょうがでるのは、長い年月がひつようです。しかし、かくじつにえいきょうが出ます。えいきょうが出てから、どうし
ょうかと考えてもおそいです。えいきょうが出る前に、私たち人間ができることに手を打たないとだめですね。
この次の壁新聞では、どんなビックリすることを書いてくれるのかな？ゾウのうんちで作った紙を使った何か？を教えてください
かな？生き物をだいじにしようというメッセージとなる別の話かな？楽しみにしています。

うつのみや自然探検隊のみなさんへ

師範から一言――

うつのみや自然探検隊のみなさんは、とても大人数のクラブとのこと。林や水辺などでの自然体験や作業を親子でされています。ザリガニも、とてもたくさん捕まえましたね。バケツにたくさん写真にビックリです。みんな全部で何匹ぐらい捕まえたのかな？カエルやヘビなど、いろいろな生き物とたくさん触れ合えましたね。ヘビが「どく」を持っていないことは、どうやってわかったのかな？なんと、牛を見て触ったとのこと。触ったかんじはどんな風でしたか？近くで見て何か発見はありましたか？ふつうに生活していると、牛の近くに行くことはあまりないと思うので、みなさん良い体験をしましたね。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★

みなさんの体験したことが、かべ新聞を読む人にもっと伝わるような工夫を考えてみました。次にかべ新聞をつくるときの参考にしてみてくださいね。

- ・いつ頃の活動なのかも書いてみよう。できれば、〇月〇日と書いてみよう。生き物には発見しやすい季節があるので、それがわかるともっと楽しくなりますよ。
- ・「きょうな出会いもたくさんあるよ」と書いてくれているところ、もう少し詳しい説明が見たいなと思いました。
- ・生き物がたくさん見つかったときは、どのぐらいたくさんだったのかも書いてみよう。正確にわからないときは、だいたいの数でもいいですね。生き物を探すときに気づいたことや工夫があれば、ぜひ教えてください。

栃木県宇都宮市 清原ねいちゃーきつず

壁新聞のタイトル: 09-08(3位推薦) 幼児

清原ねいちゃーきつずのみなさんへ

師範から一言――

きよはら ねいちゃーきつずの みなさんは、せんせいとこどもたちで きょうりよくをして、すてきな かべしんぶんを つくってくれました。ほいくえんの みんなで、きぬ川の ゴミひろいを がんばってくれています。しゃしんにもある、おおきなゴミには びっくりしました。みなさんが がんばって川をきれいにしてくれているので、川のいきものも たすかっているとおもいます。でも、ひろってもひろっても へらないのは ざんねんですね。クラスでは リサイクルかつどうにも とりくんで くれます。ゴミを ぶんべつするのは むずかしいけれど、おうちのひととも きょうりよくして つづけてほしいとおもいます。それから、なつにストップおんだんかアクションにも ちょうせんして くれます。うれしいな！ こどものみなさんが がんばっていることをしたら、きっと、たくさんのおとなたちも がんばろうって おもってくれるんじゃないかな。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★

きぬ川のゴミを すてるひとが すくなくなると いいですね。かべしんぶんに「ゴミを すてないでください！！」とかいてくれています。みなさんと いっしょに、ゴミをすてないで、と いうてくれる なかまがふえると いいですね。ほかのばいしょでも ゴミのもんだいを つたえることが できることがありそうだったら やっててくださいね。

みなさんの おへやの あかり(LED)は、しょうエネのあかりなんですね。すてきなことだとおもいます。でんきや みずを たいせつにする エコアクションを、これからも みんなでたのしく つづけてくださいね。



イオンとちぎチアーズクラブのみなさんへ
師範から一言――

今年のイオンとちぎチアーズのテーマである「動物」について特集がくまれ、写真がたくさん使われていて、構成もよくとても楽しい新聞になっています。そして、自然の中にいる生き物だけでなく、動物園や動物愛護センターなど、人間によって飼われている動物について考える機会があったこと、これも貴重な体験です。とりわけ、動物愛護センターでの学習は、私たちが簡単な気持ちでペットを飼うとそのペットたちはどうになってしまうのか、生き物の命の重さや大切さを改めて考える良い機会になったことでしょう。

また、壁新聞の下半分の記事から、このクラブが本当にいろいろな体験活動をしてきたことが分かります。これからたくさんの体験を重ねていって下さい。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
壁新聞で一番伝えたいことのテーマを決めて、まとめる方法はとても良いと思います。今回の動物をテーマにした壁新聞、活動内容の一つ一つが写真とコメントでよく分かりました。ただ、残念だったのは、この新聞だと、イオンとちぎチアーズクラブの活動そのものについては知ることができますが、それぞれの活動を通じて、子どもたちが何を感じ、他のエコクラブや地域の人に何を伝えたいかがあまり分からないのです。月に1回の活動だけで、壁新聞を作る時間をとるのも大変だと思います。さらに、外の人にアピールするような情報発信をする時間はあまり取れないかも知れませんが、自分たちが「体験した」で満足せず、ぜひ学んだことをアピールするような機会を作る、もしくは壁新聞で活動を通じて伝えたい想いをぜひ次号の壁新聞では書いてみて下さい。



真岡児童館 やさしクラブのみなさんへ
師範から一言――

東北の地震の被災者に何かできないかと5年前に始めた「児童館ショップ」の取組についてとても詳しく分かりやすく紹介した壁新聞です。まずは震災のことを忘れず、継続してこの活動が続けていることに拍手です。地震や豪雨による自然災害は、起こったあつぐは募金や支援など行動を起こしやすいですが、時間が経つと忘れてしまう人もいます。そんな中、クラブの当り前の活動として、この募金活動が5年続いており定着しているのは、頭がさがります。たぶん、サポーターさんのおかげでもあるんだろうと予測します。

エコ商品もいろいろな種類があるし、毎月11日から1週間を募金の機会にしているというしくみもステキです。そして、なにより、壁新聞のまとめの欄にもあるように、エコ商品を販売することで「作る人も楽しい、買ってくれる人もうれしい、募金を受け取る人もうれしい、ごみがへるのうれしい」の一石四鳥の活動です。さらに、5年間で84万円余りの募金が集まったというのが、これまたすごい。とにかく、すばらしい活動です。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
この募金活動で、宮城県保育園や小学校などに募金が渡されているようですが、この活動を通じて、宮城県のお友だちと手紙を交換したりしていないのかな？ 何か交流が始まったということもないのかな？ そのあたりがもっと知りたくなってきます。
それから、エコ商品を買ってくれている人たちはどんな人たちかな？ 買った商品はちゃんと使ってもらえているのかな？ 今度は、そのあたりのお話もぜひ壁新聞で報告して下さい。いずれにせよ、これからもぜひ続けていって欲しい活動の一つです。京都からも応援しています



森の小人のみなさんへ

師範から一言――

ガールスカウトで活動されている森の小人のみなさんが、今年もすてきな壁新聞で活動を報告してくれました。

毎年されている足尾の山の植樹活動については、どうして植樹が必要なのかについても分かりやすくまとめてくれています。木を植えているときに「わたしの背と同じぐらいに育った木を見つけ、うれしかった」とのこと。これはスゴイ！ 私もうれしくなりました。森の小人のみなさんが 12 年間植樹を続けてきた成果ですね！

また、バイオマスエネルギーについて実際に見学をして報告してくれています。バイオマスは、これからの日本にとって、とても大切なエネルギーなのですが、まだまだ大人でも知らない人が多いので、こうやってわかりやすくまとめているのはうれしいです。

ダイヤモンドランキングのグループワークとは、すごいものに挑戦しましたね！

あちこちの記事にみなさんの感想や一言があり、みなさんがどんなことを感じて活動しているのかが伝わってきて、見ていてとても楽しい壁新聞ですね。とってもすてきです。



とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

環境フォーラムでの発表は、みなさんとってもがんばりましたね！ みなさんのステキな活動をたくさんの人に知ってもらえるのは、私もとても嬉しいです。感想で書いてくれています、「みんなに知ってもらう事は、勇気もあるけど、未来をかえられるパワーになりそう。みんななら、できる！！」私もそう思います。特に、子ども達ががんばって考えて活動していることを知ったら、大人だってがんばろうって思う人は多いですよ。だからぜひ、これからも機会があったら、他の人たちにみなさんの活動を発表したり、感じたことを伝えていってほしいと思います。

きっと、みなさんの活動を知ること、地球を大切に作る仲間が増えていって、未来が良いほうにかわっていくと思います。これからも楽しく活動을続けて、広めていってくださいね！

栃木県大田原市 ガールズ

壁新聞のタイトル:エコ新聞2016 地球を守ろう 未来へつなぐエコ活動

09-12

ガールズのみなさんへ

師範から一言！

「足尾の山に 100 万本の木を植えよう」という合言葉で、足尾銅山の煙害で荒廃した山々に木を植え、この荒廃してしまった源流の森を再生しようとする思いと行動はとても素晴らしいことです！！百年以上もかかって傷めつけられてきた足尾の山に緑を回復するには、同じ思いを持っている人たちと一緒に我慢強く一本一本植樹していくよりほかにありませんね。皆さんのその気持ちが込められている素晴らしい壁新聞です！！森は、二酸化炭素をすって、生き物に必要な酸素をはきだしたり、森の中では、落ち葉が積もりふかふかの土できれいな水をたくわえ、洪水を防いでくれたりするので「緑のダム」といわれており、また木の根がしっかり土をかかえこんでいるため、大雨がふってもくずれにくくなっており土砂くずれも防いでくれます。森は二酸化炭素をすうことによって地球温暖化も防いでくれています。足尾の森は、皆さんの「生活」や「命」を守ってくれますので、足尾の森を一生のお友だちとして大切に育てていって下さい。

とっておきのゴシンドウ★

これからずっと足尾の森を守っていくには、植樹後の森をどのように管理して保全するかもとても大切な活動の一つです。専門の知識を持っている人たちから足尾の森に植えた樹木の保全管理活動について学ぶ、そしてその保全活動を実行することが次のステップになると思います。次の壁新聞をわくわくして楽しみに待っています！！



師範から一言一

エネルギーには、電気エネルギーがあります。熱のエネルギーもあります。動くという動力のエネルギーもあります。光のエネルギーもあります。今回みんなが取り組んだのは電気エネルギーですね。電気はどうやって作ることができるのだろうか？ということで光で電気を作れる、風でも電気が作れる、くだものでも電気がつくれるはずだと調べました。それと少しでも電気を大切に使いましょうということで、節電をする、たとえば、夜ねる時などはテレビはコンセントからぬくようにしましょう、エアコンは夏は温度を低くしすぎないように、冬は温度を高くしすぎないようにして、使う電気の量を少なくしましょう、などがありました。最後にみんなが次へのステップで考えたことがすばらしいです。節電だけでなく、みんなが心配したのは火力発電で使う資源がなくなるよ、ということで石炭で電気を作る、自然エネルギーで電気を作りましょうということで「はじめに」で考えたことや学校で使っている電気の多くの部分は火力発電といって、石炭や石油、ガスなどの資源を自然エネルギーで作ることによって資源がなくなることの心配しなくて良いのですね。



壁新聞のタイトル:

くだものにさしこんだ金属の電極は銅板とあえん板でしたね。電気がつくようにつかったのは、豆電球だったのですか？LEDの電球だったのですか？豆電球ではレモン1ケや2ケではつかないです。銅の電極とあえんの電極とLED電球をつなげるときに、プラスとマイナスをまちがえなかったのですか？電極は紙やすりでこすってきれいにしましたか？などいろいろと注意することがあります。電極は大きい板の方が電球はつきやすいです。大きい電極でくだものの中にさしていると電気がいっぱい流れて、電球がひかります。電球よりもオルゴールをならす方がかんたんです。オルゴールは少ない電気です。



きらりクラブのみなさんへ

師範から一言――

まんなか葉と根を取り上げているものの画面は大きく四つに区分して、①花いっぱい、②虫グループ、③アスレチックグループ、④草花グループの四つに分けられます。それぞれグループが、それぞれどんなことをするのか、どうしてそうするのか、を考えさせているところがよいところみだと思ひます。大人になつてもこのような視点(してん)をわすれなないでほしいと思ひます。

どれも北っ子の森にたりないものをつくりあげようと活動をしてきています。たとえば虫グループでは幼虫(ようちゆう)のすみかを作り、虫が来るように植樹(しょくじゆ)をしたことを受けています。そのまわりにはたくさんの幼虫の写眞がはつてあります。草花グループでは、草花が増えると自然(しぜん)が豊(ゆた)かになると思つたから、草花を増(ふ)やそうと行動をしています。さらには子供たちがもっと明るくなるように、森の中に遊び場を作っています。すべてが成功(せいこう)したかどうかは、まだ評価(ひょうか)は難(むずか)しいですが、その取組の真剣(しんけん)さはすばらしいものがあります。



とつておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

新聞作りにはいくつか基本的(きほんてき)なルールがあります。それをとび出してしまつと読みにくい紙面になつてしまひます。いろいろなところで見かける新聞を手にとつてよく見てほしいと思ひます。新聞の名前、見出し、地の文など大きな文字から小さな文字まで5種類(しゅるい)を超(こ)える文字が使われています。大中小あるのがわかりますか？

壁新聞を見た時に読みにくいと感じるのは小さなえんぴつ文字です。ある程度(ていど)の文字の大きさに読みやすくするには、原稿(げんこう)をパソコンに入力して1行の文字数と行数を変えて印刷(いんさつ)し、その記事がおさまる最適(さいてき)な字組にすることです。この時に極端(きょくたん)に小さな文字にしないことが秘訣(ひけつ)です。手書きの味わい深い文字にするときは、パソコンから出力した文字トレーシングペーパーをあててサインペンでなぞってみると、簡単(かんたん)にきれいな文字になりますよ。

キラキラクラブのみなさんへ

師範から一言！

さつまいもの「うね」作りからしゅうかくまでのながれがとてもよくわかるすてきな壁新聞(かべしんぶん)です。みなさんのかんそうはむらさき色のサツマイモのかたちでかこまれ、はっぱのえがほんものはっぱとまちがえそうなくらいとてもよくかけて、おどろきました！！「うね」作り、マルチシートはり、苗うえ、草むしり、長くのびたつる、さつまいものほりかたなどをまなびながら、100個いじょうのりっぱなさつまいもがとれて、「だいしゅうかく」でしたね！！おめでとう！！はっぱのなわとびでもあそんだのですね。おいしそうなむしパンも作ったのですね。また、「かんしゃわくわくしぜんまつり」はちいきのみなさんといっしょにとつてもたのしめて、「だいせいこう」でしたね。でも、さつまいも作りにかんして、みなさんで力をあわせて、きょうりよくしながら、さつまいもをそだてたいへんさを学んだことが「だいしゅうかく」です！！

ほんとうにおつかれさまでした。さいしょからさいごまでのさつまいも作りにかんして、いろいろなことをおしえていただいた「おやさ先生」たちにもかんしゃしましょう！！



とつておきのゴシドウ★

サツマイモのつるで、ネックレスや、かわいたつるでクリスマスリースが作れますので、じかいはぜひちょうせんしてください！！

にこにこクラブのみなさんへ

師範から一言――

にこにこクラブのみなさん、こんにちは。

まず、このかべ新聞を見たときにとても読みたくなりました。きっと、色をたくさん使ったり、見やすくする工夫をしたからだと思います。そして、内容もさすが6年生！といった内容で、前年度の活動を踏まえて必要な活動を考え、行動しているのはすばらしいと思いました。

私は普段、環境の施設でインタープリターをしています。子どもから大人まで様々な人たちに、環境や自然についてプログラムをしています。そのときに、私も一般の人は意外とエコについて知らないんだな、と思うことがあります。きっと、私たちには当たり前の地球温暖化や、省エネ、などのキーワードも知らない人が多いと思います。そんな人たちに、環境問題を訴えていくための第一歩として、今回の活動は本当にナイスアイデアですね！そして、相手の立場になって考えられた文章だったので、分かりやすく伝えるという目標は、とても達成していると思いますよ♪



とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

かべ新聞の作成お疲れさまでした。

完成度、内容のレベル共にとても高いかべ新聞だと思いました。にこにこクラブのみなさん一人一人がきちんと活動の内容を理解し、目的を持っていることが伺えます。

たくさんの活動のなかで、様々な発見や学びがあり、6年生にもなると、こんなにすばらしいかべ新聞が作れるのかと、とても感心しました。読む人や相手の立場になって考えることもできているので、さらにそれを発展させられると思いました。例えば、にこにこクラブのみなさんのかべ新聞をインターネットで読む人は、直接お話しすることができません。そんな人に向けて、どうすれば良いでしょうか(私だったら、かべ新聞にこんな行動をすると良いですよ、とおすすめを記載するかもしれません)。きっとみなさんなら、どうすれば良いかたくさんアイデアが出ると思いますので、ぜひ話し合ってみてくださいね。

すまいるクラブのみなさんへ

師範から一言！

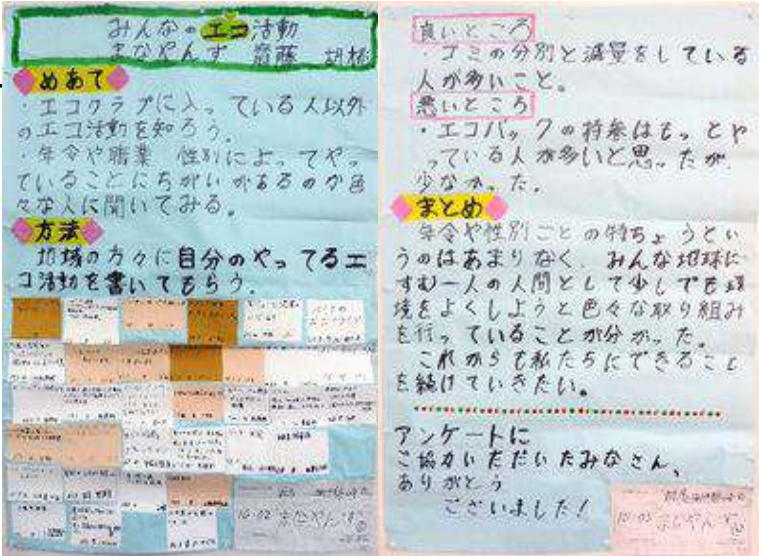
こうえんの森のなかにある木、花、むしなどにかんする「ふゆ」、「はる」、「なつ」そして「あき」のきせつのたくさんのじょうほう、ありがとう！！いちまい、いちまいのかんそうにそれぞれのきせつのようすがうまかくかかっているすてきな壁新聞(かべしんぶん)です！！「ふゆ」の木は、ゆきやきたかぜなどのさむさにまけないようにじっとがまんしながら「とうみん」をして、「はる」がくるのをまっています。「はる」の木は、木のめからあたらしいはっぱがでてきたり、花がさきます。「はる」のはっぱのみどり色は、いろいろなみどり色があり、見るひとたちのこころをたのしませてくれます。「なつ」の木は、みどり色がこくなったはっぱがいっぱいで、そのような木のしたではすずしく、なにかあんしんしてきゅうけいができます。「あき」の木のはっぱのいろは、あか、きいろやちゃいろにこうようして、いろいろな木のけしきをたのしむことができます。それぞれのきせつの木では、いろいろなとりやこんちゅうたちがすみかをつくったり、えさをたべたりして、木、とりやこんちゅうたちがたすけあいながら、なかよくくらしているみじかな「しぜん」をこれからもたのしんでくださいね！！

とっておきのゴシンドウ★

それぞれのきせつの森の「しぜん」のなかでは、いろいろな木、花、とり、むしなどのいろいろなはっけんやふしぎがあります。これらのみじかな「しぜん」のなかまたちのとくちょうやくらしかたをみると、しればしるほどしたしみができて、「しぜん」のなかまたちといっしょにそこできているときっとかんじることができるとおもいます。つぎの壁新聞(かべしんぶん)を楽しみにしていますよ！！



まなやんずのみなさんへ
師範から一言――
エコクラブに入っていない人はどのようなエコ活動をしているかは、ふだんあまり調べていないことも多いかもしれませんが、実はとても大事なことです。
多くの人がエコ活動を行うことで地球の環境もよりよくなるからです。年令や職業、性別によって活動にどのようなちがいがあるか調べたのはとてもおもしろいですね。多くの人がそれぞれエコ活動を行っていることがわかったのはとても心強いですね。特にゴミの分別と減量に対して取り組んでくれていることはとてもいいことだと思います。
これからも地球にすむひとりの人間として、みんなですることをごんばって続けていきましょう！



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
いろいろな人が行っているエコ活動について調べたのは、とてもおもしろいことなので次回も続けて調べて、より多くの人の活動がわかるとさらにおもしろく発展していけそうです。
お医者さんとか看護師さんが多かったようですが、今回は、今回いなかった年令、職業の人に話を聞いてみると、新しい発見があるかもしれません。それと、みなさんもいろいろなエコ活動を行っていることと思います。ですからみなさんの行っている活動についてもぜひ次の新聞で紹介してくださいね。

スター☆クラブのみなさんへ
師範から一言！
どの活動の記事からも、楽しく仲良く活動した様子が伝わります。それぞれの活動記事に、日付、活動内容、感想がしっかり書かれていて、とてもわかりやすいと思いました。
エコクッキングは、とてもおいしそうなメニューですね。それだけでなく、どんなところがエコか書いてあるのもいいと思います。「材料」のところに「牛乳パックまな板」とあります。まな板を汚さず、洗う水も汚さないという点でエコなのかな、と思いますがどうでしょうか？
エコリンピックの「個人リレー」というのは、一人でリレーをするのですか？バトンにラップの芯を使ったりして、面白いですね。「いろいろオセロ」のルールもわかりやすく書いてあるので、読んだ人でもやってみよう、と思える内容だと思います。

とっておきのゴシドウ★
一年間いろいろな活動をしているので、全体のまとめ・感想があるととても良いと思います。一年間を通して感じたこと、気づいたことが書いてあると、みなさんの想いが読む人にもっと良く伝わりますよ。
また、エコクッキングを実際に家でもやったことが書いてありますが、とても大事なことだと思います。そのように、エコクラブの活動から学んだことを、実践できると良いですね。例えば、作ったエコバッグを使って買い物に行ってみるとか、エコバッグを使ってみて、どう思ったか、周りの人の反応なども書けると、活動がさらに広がると思います。



しらさわエコキッズクラブ①の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！
こちらの壁新聞では、一年間の活動全般についてまとめられています。「ポイ捨て禁止看板」の作成は15年目だそうです。他の団体も取り組んでくれるようになったというのはすばらしいと思います。どうやったら、車で通る人の目に入るか、しっかり考えて設置しているのもいいですね。
赤い羽根共同募金では、たくさんの方に募金していただくことができました。みなさんががんばって呼びかけた成果ですね。一人ひとりの力は小さくても、多くの方が協力すれば大きな力になることが実感できたと思います。
とっておきのゴシンドウ★
活動の報告記事を書くときは、日付や活動人数があるといいと思います。新聞記事と同じですが、いつ・どこで・誰が・何をしたか、は基本情報なので書いてあった方が、読む人はみなさんの活動内容や一生懸命取り組んだ様子がイメージしやすくなります。そうすると、読む人に内容がさらに伝わりやすくなったり、共感してもらえたりすると思います。



しらさわエコキッズクラブ②の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！
尾瀬を訪れる時に気を付けたいことや役に立つ情報がていねいにまとめられていますね。季節によっていろいろな植物が見られることもわかります。今年も写真を使わないで壁新聞を書こうと決めたそうですが、植物や動物の絵を細かく描けていると思います。動物の絵は、とてもかわいらしく描けていますね。服装や宿泊のマナーなど、これから尾瀬に行ってみよう、と思った人に、わかりやすく情報が伝えられていると思います。
とっておきのゴシンドウ★
みなさんが実際にに行った日はいつで、どれくらいの気温でしたか？みなさんが実際に肌で感じたことと、尾瀬の気候について書いた内容と、関連させて書けるといいと思います。服装についての説明がありますが、みなさんは実際にどんな服装で行ったのか、絵で表現できると読む人に伝わると思います。
体験から得た言葉には力があり、貴重なものです。すばらしい体験をもっと活かせるように、みなさん自身が気づいたこと、感じたことをぜひたくさん書いてほしいと思います。



竹の子エコクラブのみなさんへ
師範から一言――
竹の子エコクラブのみなさん、こんにちは。
みなさんのクラブは人数がとても多いですね！
これだけ多くの人数が活動に参加すると、大変な事があっても達成出来そうですね！
特に私もビオトープの管理をしていたので、ビオトープを再生する事はとても大変な作業だとよくわかります。
しかし、メンバーのみなさんが力を合わせ、その大変な作業をやり遂げた事が壁新聞にも書いてあるので、とてもうれしい気持ちになりました。これからもたくさんの仲間たちと一緒に、エコクラブの活動をしてくれたら、もっともっとうれしいです！



とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
みなさんが学校ビオトープをよみがえらせるという大変な事を達成したのは、本当に自分の事のようにすごうれしく思います！
それと関係して、ひとつアドバイスを送るとすれば、ビオトープの自然環境を維持する事も同じく大変だという事です。
これは他の活動内容にもつながる事で、柳瀬川も良い環境が維持出来ているからこそ渡り鳥などの生き物もやって来ますし、町の伝統農業文化の落ち葉はきも、伝えてくれる方がいるからこそ受け継がれて続いてきたものです。
全国には昔と比べて環境が悪化している場所もたくさんあります。人手不足で途絶えてしまいそうな伝統文化もたくさんあります。みなさんが活動して成功する事は、地域の環境を良くする事の他にも、多くの人を勇気づけられるのかもしれない。
自信と誇りを持って、活動を続けていって下さいね！

師範から一言一

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
 改めて壁新聞を読んでみると、環境に対してどのように役に立つかなど、目的が
 しっかり考えられた活動が出来ている所は、中高生が関わっているクラブならで
 はですね。読んでいる側もみなさんがやりがいや自信を持って取り組んでいる事
 が想像できます。
 学年が上がってくると、他にもいろいろとやる事が増えてきて、エコクラブの活動
 を含め、ひとつの事に割ける時間が減ってきてしまいますよね。
 特に何年も続けている中心メンバーは自然と年上になってくるので、仕方のない
 事ではありますが、これを課題にしている所も少なくありません。
 みなさんは本当に良い活動が出来ているので、もしかしたらもう理解しているか
 もしませんが、異なる年齢や参加年数のメンバー同士全員で協力する事が出
 来れば、今後も長くレベルの高い活動を続けていけると思います。
 ぜひみなさんの力を合わせて、エコクラブを盛り上げていって下さい！



師範から一言一

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
 ・私がこの新聞で一番ステキだなあと思ったところは、交通の説明の最後に
 書いてあった「ぼくは電車が好きです」というところと、電車の絵のところに
 「地球鉄道」と書いてある部分です。温暖化を防ぐことができる鉄道は、まさ
 しく地球鉄道ですね！ 私も電車がとても好きです！
 ・観察会の記事も、それぞれの生き物の特徴など分かりやすくまとめられて
 います。生き物のすみかがどうなっているのか、観察会では何匹ぐらい見つ
 けられたのかなど、みなさんが発見したことを、またぜひ教えてくださいね。



千葉県佐倉市 さくらほいくえん つきぐみ スマイルクラブ2
壁新聞のタイトル: 12-02 幼児

さくらほいくえん つきぐみ すまいるくらぶ2 のみなさんへ
師範から一言――

さくらほいくえん すまいるくらぶ2の みなさんは、いちねんかんで たくさんの エコロジカルアクションを したことを ほうこく してくれました。チューリップの きゅうこんは たまねぎみたいだったことや、おこめをそだてて、おこめのはなは しろいことを はっけんしたり、さつまいもを 30キロもしゅうかくできたことなど、たのしいことが たくさん ありましたね！きゅうしよくでも えいようのことを おべんきょうして、のこさないように みんなで くふうしたのですね。それから、みんなで えこまるくんを かいてくれて ありがとう。みんなが いろんな エコロジカルアクションを してくれているので えこまるくんも とてもよろこんでいると おもいますよ！

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★
みなさんは おこめや さつまいもや ゴーヤなど、いろいろな たべものも そだてましたね。ほいくえんで つくって ほいくえんで たべるって、とってもエコな ことなんですよ！
とおくで つくった たべものは、トラックなどで はこぶので、ガソリンを たくさん つかいます。でも、ちかくで つくった たべものだったら、はこぶのは すこしだけなので、ガソリンも ちょっとだけしか つかいませぬね。ほいくえんで つくって ほいくえんで たべたら、トラックで はこぶひつようは ないので、トラックもガソリンも いらないので、とってもエコです。
おうちのひとと おかいものに いくときに、ちかくで つくった おやさいが うっていないかを しらべてみて くださいね。それから、おうちでも たべのこしが すくなくなるように おうちのひとと いっしょに がんばってくださいね。



千葉県習志野市 津田沼イオンチアーズクラブ
壁新聞のタイトル: 12-03、12-04 (全2枚)

イオンチアーズクラブ津田沼のみなさんへ
師範から一言――

イラストが多用され、しかも字がとてもきれいなので、ひじょうに見やすい新聞に仕上がっています。そして、みんなが参加して作った壁新聞。これもまたすばらしいことです。
さて、今年のテーマは「干潟」ということで、いろいろ体験を通して勉強した様子が新聞を通して伝わってきます。また種まきから収穫までという農業も体験したようで、活動の活発さもクラブの特長と言えますね。調べてわかったことと思いますが、東京湾では干潟が昔に比べてかなり減ってしまいました。干潟がなくなれば、そこにすむ生き物にも大きな影響が出てしまいます。東京湾にすむトビハゼも干潟が減るとともに、数が減ってしまいました。残された干潟を守っていくためにも、多くの人にこの2枚の新聞を読んでもらいたいものだと思いました。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★
イラストだけでなく内容的にもすばらしい新聞です。工夫する点としては、やはり人々が見るとき、一番先に目につくのが「見出し」なので、タイトルに干潟の重要性を訴える名称、デザインがあるとさらに人々の目を引き付ける新聞に仕上がると思います。内容がいいだけに、多くの人に読んでもらいたいので、目につきやすく、読んでみようかなと思わせる見出しがあるといいと思います。そしてこのような保護活動は長期にわたるものです。ですから継続して取り組んでもらえるといいですね。ぜひ次の新聞も、と期待してしまいます。また、活動内容も非常に重要なものなので、続き物にしてもいいかもしれません。今や東京湾の中で非常に重要な場所となった「三番瀬」がこれからも豊かな生態系を育む場所であり続けてくれるため、今後のクラブの活動に期待しています。

入船小学校5年1組エコクラブのみなさんへ

師範から一言――

入船小には平成27年に一度うかがったこと(ESDの授業のレポート)がありますので、みなさんの新聞を読んでなつかしく思いました。

私も淡水魚関係の仕事(調査、講師等)をしていますので、川にはとても興味があります。意外と身近過ぎて気が付かない自分たちのすぐ近くの川について調べることはとても興味深く、そして重要なことです。川の魅力、問題点も新しい発見があることと思います。川について調べることで川だけでなく地域のことも理解できるようになることでしょう。地域の川について一番詳しいのはふだん川を一番見ている地域の人々です。これからも地域の川である「境川」を見守り続けてください。

今後もこのような活動が継続されることを願いますし、私にできることは協力していけたらと思います。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

9つの新聞それぞれが、同じテーマながらそれぞれ調べるのが異なりとても個性豊かなものとなっています。

①めざせ！境川博士

写真がたくさんあって見やすく仕上がっています。ただ、どのような順番で見ればいいのか、見る人がわかりやすいように、写真に矢印をつける等、ストーリー仕立てにするとさらによくなるかもしれません。

②境川へGO

自分たちが実際に歩いた境川の生き物についてよくまとめられています。これから私達が出来ること、をもう少し目立たせ、読む人に伝わるようにするとさらに良くなると思います。

③だ、だ、大丈夫？ 境川

昔はクジラまで生息していたという境川。今はちょっと汚れてしまったようですね。汚くなってしまった原因、きれいにする方法、私たちができることを中心に書くと読む人の心にひびくと思います。



④みんなの境川ガイド

今は汚れてしまった境川。船の問題など解決すべき問題がありますが、川を愛する人々がいる限りきっと昔のようにきれいにする事ができるでしょう。「ガイド」とあるので、やはり地図はのせてほしいところです。

⑤境川の生き物

汚れてしまったという境川でもまだまだ多くの生き物がすんでいますね。生き物の種類別(ほにゅう類、鳥類、魚類など)に表にまとめて載せてもらって読む人にとって見やすくなると思います。

⑥境川をのぞいてみよう

境川のイベントについて役立つ情報をのせてくれます。ただ、イベントがどのようなことをやって、どのような成果があったかを載せてくれると読む人にもわかりやすいと思います。

⑦大切にしよう境川

昔の境川がきれいだったことがよくわかりますね。また多くの人がきれいにしようとがんばってくれている様子もまとめられています。タイトルが大切にしよう、なので、みんなができることについても書いてほしいところです。

⑧境川新聞

上流から下流までの様子がきちんとまとめられていますね。上流の方が汚れのひどい様子がよくわかります。せっかく川の地図が描かれているので、それに当てはまる形で写真をのせるとさらにわかりやすい新聞になると思います。

⑨境川昔から今

境川の歴史がよくまとめられています。特に昔の境川が泳げたり、洗濯できたり、とてもきれいだったことがわかり、今の様子が残念に思えます。新聞で一番目立つ見出しがやや小さいので、ここを工夫するとさらによくなると思います。

中央エコキッズのみなさんへ
師範から一言！

今回の壁新聞では、防災について考えたのですね。今年の夏も集中豪雨などで洪水が起こった地域もありました。雨の降り方が、以前とはちがうように感じますね。みなさんがこれから気を付けようと思ったことが壁新聞にまとめてありますが、これを読めばどんなことに気を付ければいいのかわかります。テレビやネットの天気予報を観ることも大事ですが、自分で雲の様子を観て考えることも大事ですね。

私が不思議に思ったのは、雨粒がアンパンの形をしている、というコメントです。空から落ちてくる時のことでしょうか？落ちてくるスピードが速くてよくわかりませんが、今度注意して観てみます。

とっておきのゴンドウ★

クラブの人数が113人と、とても人数が多いクラブなのですね。ぜひクラブの自己紹介も書いてほしいと思いました。

また今回の壁新聞のテーマを「防災」にしたきっかけはどんなことでしょうか？防災についてお話を聞いたり、学んだりする機会があったのかな、と思いますが、その説明があると、読む人がもっとわかりやすくなると思います。そして、実際に積乱雲を観察してみて、気づいたことや思ったことはどんなことでしょうか？当日のニュースなどを見て、どれくらい雨が降ったか調べてみるのもいいと思います。



こどもエコ広場新宿のみなさんへ
師範から一言！

一年間の活動が、とてもかわいらしくまとめられていますね。どの月にどんな活動をしたのか、とてもわかりやすく、読みやすかったです。毎月、いろいろな講師の方が来られて、タイプの違う活動をして、みなさんも楽しんで活動できていることが伝わります。

ガチャポンのカプセルでハンコを作るのは、楽しそうだしすぐにできそうですね。他のクラブにも参考になりそうです。エアコンの分解をする機会はなかなかないと思うので、貴重な体験ができましたね。部屋の中の熱を外に出している、というのは私も知りませんでした。エアコンを使う時には、設定温度に気を付けたり、日差しを遮ったりして、上手く使いたいですね。

とっておきのゴンドウ★

私はこの壁新聞の中で、これからどうしたらいいかのアイデアを考えたのが特にすばらしいと思いました。食べ物を買い取って困っている人に配る、小さい鉛筆をのりでくっつけて使う、などみなさんが自分で考えたことをきちんと文章にして、他の人に伝えることはとても大切なことです。そのアイデアをヒントにして、他の人がまた違うアイデアを思いつくかもしれません。そうやって色々なアイデアが出れば、難しいことを解決する可能性が高くなります。ぜひこれからもアイデアを考えて、発信することを続けて下さいね。



港南台自然観察クラブ・クロロのみなさんへ
師範から一言――

毎月第2土曜日の「生きものさがし」の自然観察、とても楽しそうだね。
その楽しさを十分に感じ取れるすばらしい壁新聞です！！
みなさんの団地には、いろいろなちがった特徴を持っている樹木、草花、キノコ、昆虫、野鳥等の自然の仲間たちがたくさんいて、その身近な自然には、きっと多くの発見、不思議、わくわく感そして感動があると思います。自然観カードにその日に会った木、草花、昆虫などのことをしっかりと書き込むことはとても大切なことなので、ぜひとも今後も続けてほしいと思います。
また、季節ごとの巣箱の観察、ホタルを守る紙芝居やセミの羽化の観察もすばらしいと思います。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
みなさんの団地の中の身近な自然の仲間たちの特徴や暮らし方を知り、なおかつ、みなさんの生活、文化、歴史等とこれらの自然の仲間たちとのかかわりあいと一緒に学ぶことによって、身近な自然を知れば知るほど親しみがわき、自然の仲間たちと一緒にそこで生きていることを実感出来るように、引き続きがんばってほしいと思います。



のじま自然観察探見隊のみなさんへ
師範から一言――

「この木 なんの木 気になる木」の壁新聞(かべしんぶん)のタイトルが気に入りますね。
いろいろなかたちのたくさんのリンゴにみなさんのかんそうがかかれていて、いちまい、いちまいのかわいいはっぱとこれらのリンゴがまとまって、「この木 なんの木 気になる木」になっているのでしょうか。ぜんたいてきにリンゴとはっぱがとてもうまくバランスがとれている「気になる木」になっていますね。キャンプなどにさんかしたひとりひとりのみなさんのたのしかったおもいでがリンゴにかかっているすてきな壁新聞(かべしんぶん)ですね！！
「ムササビ観察会」でムササビとモモンガのちがいや、ムササビのみつけかたを学んで、ムササビを見つけたとかいてありましたが、師範はいちどムササビを見たいとずっとおもっており、とてもうらやましく、「気になる木」の中でいちばん気になったかんそうでした。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
「気になる木」にしゃしんやイラストがあれば、みなさんがたのしかったキャンプなどのおもいでについて、壁新聞(かべしんぶん)をよんでいるおともだちにもっとはっきりとつたえることができたかなと気になるころでした。



大鋸児童館こどもエコクラブのみなさんへ
師範から一言――

「藤沢メダカ」、「池と川の水質調査」、「ネイチャービンゴとふくわらいの遊び」、「ろ過装置しようかい」、「パンジーのうえつけ」そして「しおりづくり」のいろいろな楽しい記事がたくさん読めるすばらしい壁新聞です！！この壁新聞を読んでもくれるお友だちはそれぞれの記事にとってもきょうみがわいてくると思います。師範もそれぞれの記事を何回も読んでしまいましたよ！！
「藤沢メダカ」のオスとメスにちがいや、さんらんのじょうきょうがよくわかる絵ですね。メダカは生活排水や農薬の使用などによって環境が悪くなり、住宅けんせつなどにより、流れのゆるやかな小川や田んぼが少なくなり、メダカの生息数が少なくなり、絶滅危惧種（ぜつめつきぐしゅ）に指定されております。おんべ公園の池と近くの川が一日も早くきれいになり、たくさんの「藤沢メダカ」たちがそこに住めるようになることを期待していますよ。また、「ろ過装置しようかい」の記事で、かっせい炭でどろ水がきれいになりましたが、同じように森のふかふかの土にもよごれを取りのぞいて水をきれいにする働きがあります。ミミズ、ダンゴムシ、ヤスデなどの土の中のいるいきものや微生物（びせいぶつ）が土の中をいどうすることで、土にすきまができて、森に降った雨は、この土のすきまをとおっていく時に、ほこりやゴミなどがろ過され、きれいな水になります。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★
「藤沢メダカ」、「池と川の水質調査」そして「ろ過装置しようかい」に関して、次のステップにとっても興味があります。「藤沢メダカ」を増やして、近くの池などに放流（ほうりゅう）したり、おんべ公園の池と近くの川の水をきれいにする計画はあるのかな。次の壁新聞をわくわくして待っていますよ！！



ミツ星エコクラブのみなさんへ
師範から一言！

「ビオトープを考える」というむずかしそうなテーマに対して、※絵本をきっかけに興味をもったことを、観察したり調べてみたりしたというアプローチがとてもいいです。むずかしいことをたくさん教えてもらうより、興味をもったことを自分で調べる方が多くの発見がありますし、楽しくできることが何よりいいことだと思います。ステキな絵本に出会えてよかったですね。※「あまがえるりょうこしゃ」松岡たつひで作・絵
トンボをよく観察して、トンボのイラストが描かれています。観察するときは形だけでなく、「どのような所にいるか」もみてみましょう。そして「なぜ、そこにいるのかな？」と考えてみると、ビオトープを考えることにつながっていきます。
画用紙を使って、好きなモノ特集の本を作るのはおもしろいですね。好きなモノばかりみればモチベーションがあがりそうです。また、好きな水辺の絵や写真をはって、その上に好きな生き物をはり、みんなで見せ合うとどんなイメージのビオトープにしたいのかお互いに分かるという使い方もあるかもしれません。
「木の実とエコキャップ」は身近なものを使って気軽にできそうなところがいいですね。小さなエコキャップの上に工夫するところがおもしろく、写真を見て作ってみました。

とっておきのゴシンドウ★
理科センターでみたオニヤンマのヤゴは見たことがありましたか？トンボの種類によってヤゴの顔はちがいますが、住んでいる場所もちがいます。流れが止まっている水にいるもの、川のように流れている水にいるものに分かります。ビオトープの水辺をどのようにするかによって、そこに住むトンボの種類が決まるので、興味をもったトンボを調べてみてください。



上田エコクラブのみなさんへ
師範から一言！

1年間にとてもたくさんの活動をしていて、新聞のフレーズにある「楽しいよ 上田の自然」の内容が伝わってきました。ボランティア、5年生、3年生、そして新聞を作った4年生がコメントをかくことは、クラブの活動や新聞の内容がどうだったかを振り返ることができるので、よい仕組みだと思います。
「親子クリーン作戦」の写真をみて、町中ではなく自然の中にもかかわらず、ごみ拾いをしないといけないほどゴミが多いのにおどろきました。すてると人の意識(いしき)を変えるための取り組みもへいこうして必要だと感じます。
「ツバメけんきゅう」で本に書いてない発見ができたことは、じっくり観察したからだだと思います。ツバメは子育てを身近でみることができる鳥なので、毎年見守ってあげてください。わが家にもツバメが巣をつくるがありますが、親ツバメがれんぞくした大きな鳴き声でさわいでいるので家の外に出てみるとヘビやネコ、カラスがきていたことがあり、天敵がきた時に親ツバメがとる行動を知ることができました。
「上田の宝さがし遠足」ではたくさんの宝を見つけましたね！宝を探しながら、みんなで歩くと10キロもあつという間かもしれません。どこにどんな生き物(植物もふくめて)がいるか知ることができるので、貴重(きちょう)な自然体験の1つです。登川の生き物調べでは、ヘビトンボやカワゲラ他いろいろな生き物がみつかったと思います。川をのぞきこんでいるだけではどこにどんな生き物がいるか分かりませんが、石をひっくり返したり、岸辺の草の根元をアミでガサガサしたりして、どこに生き物がいるかだんだん分かったことでしょう。



とっておきのゴシドウ★

学習発表会のように、まわりの人に「伝える」という活動はとても大切です。この新聞も、同じような活動をしている全国の仲間に活動内容や、自分たちの住んでいる地域のことを伝えることができます。
自然の中での多くの体験で多くの発見や気づきがあったと思いますので、次は自分ができることをぜひ行動にうつしてみてください。

エコじょうず！かクラブのサポーターのみなさんへ
師範から一言！

保育園として、平成24年度から続けて活動しているのですね。毎年グリーンカーテンを作るうちに、コツもつかめてきたのではないのでしょうか。そして、活動を続けていけるのは、サポーターの先生方、市の担当の方の協力があるこそだと思います。毎年行うことで、子どもたちや保護者のみなさんにも活動が浸透してきているのは、すばらしいですね。
ゴーヤが大きくなっていく様子や、花が咲いたことなど、毎日観察できて色々な発見があったと思います。涼しかった、という声もありますね。家でもグリーンカーテン作りに挑戦してみるきっかけになるといいなと思います。

とっておきのゴシドウ★

子どもたちががんばって書いたコメントが貼ってあるのもとても良いですね。字を書くのは大変だと思いますが、やはり生の声は読んでいて楽しいし、共感できるものがあります。子どもたちも、壁新聞づくりに参加した達成感があると思います。ぜひ続けてほしいと思います。



中央なかよしグリーンクラブのみなさんへ

中央保育園のみなさん、みどりいっぱいのゴーヤカーテンが育つ様子をまとめてくれてありがとう！

5月にゴーヤの苗をもらってから、つるが長くなり、黄色の花がさき、ゴーヤの実がなるまで、みんなで一生懸命に世話をしているようすが、よくわかりました。それから、ゴーヤのカーテンの裏は暗いけど涼しくなっていることに気づきました。とても良い経験ができたと思います。

それから、みんなの感想を、ひとりひとり書くことができました。まだ、習っていないひらがなを、ひとつひとつ書くようすを思い浮かべていました。みんなの努力の跡を感じることができました。

小さいうちから、環境に興味を持つよう、身近な体験を積み重ねることは大切だと思います。これからも、この活動を続けてほしいと思いました。

サポーターへのおきゴシドウ★

毎年、ゴーヤが育つ様子を壁新聞にして報告してくれています。ありがとうございます。前の報告と比べるとタイトルの書き方が変わったり、難しいグラフではなく子供たちの活動が前面に記されるようになったり、毎年工夫の跡が見られます。これから、さらに工夫をすることは難しいと思いますが、子供たちの様子を前面に打ち出して、楽しい壁新聞に仕上げることを期待します。

子供たちの笑顔や、ほほえましいスケッチを見ることはとても癒されます。来年は、どのような壁新聞になるか楽しみにしています。



国吉光徳エコレンジャーのみなさんへ

くによしこうとくエコレンジャーのみなさん こんにちは。

みなさんは、まいにちゴーヤに水をあげて、たいせつにそだてていたのですね。

ゴーヤはみんなでたいせつにそだてたので、どんどん大きくなりました。みんなでたくさんとることができてよかったですね。100こもゴーヤがとれたとはすごいです！！びっくりしました。

ゴーヤが大きくなるようすを見たり、どうぶつとせいくらべをしたり、花のかずをかぞえたり、さわったり、においをかいだり、いつもゴーヤのようすをよく見て、かんじることができたのはすばらしいです。

ゴーヤがあったおかげで、おへやがすずしくなったのもよかったです。おへやのおんどをはかってしらべたのもすばらしいです。

みんなでたいせつにそだてたゴーヤは、にがいけど、とってもおいしかったのでしょうね。うれしかったことなどを、がんばってかいてくれたので、みんなのおもいが、とってもよくわかりました。

これからも、たくさんのかずをしらべ、たくさんのはっけんをつづけてください。

サポーターへのおきゴシドウ★

ゴーヤの生長を、動物の写真とくらべるなど、子どもたちが理解しやすいようにいろいろと工夫されていてすばらしいことです。

「みずやりしてあげるとどんどんおおきくなってうれしかった」と子どもの感想にあるよう、植物を育て、毎日観察しながら世話していくことはとても大切で、貴重な体験ができたことと思います。また、雄花、雌花、受粉など、子どもたちにとっては難しいことも、図鑑なども使い、周囲の方々からの情報を加えながら、子どもたちが現物を見て理解できたことは、とても良い経験になったことと思います。

身近なエコについて関心を高めるような活動を今後も続けていってください。



すずしくな〜れ!!
～思いやりで育つゴーヤちゃん～

グリーンカーテンのひろく 正徳保育園と高岡市

5月 6月 7月 8月

さあ、ゴーヤちゃんを育てよう!!

高岡市 正徳保育園

といでエコレンジャーのみなさんへ

師範から一言――

写真やコメントでみどりのカーテンのかつどうを伝えるたのしい新聞です。葉っぱのかたちのもとに参加した子どもたちの感想が書いてあり、園児のみんながみどりのカーテンを作ったのを感じたかよく分かります。保育園のお友達 14 人でゴーヤを苗から育てて、夏にりっぱなみどりのカーテンに育てることができましたね。ゴーヤもたくさん取れたみたいで、みんなで料理して食べられてよかったです。

みどりのカーテンの取組をしているグループを私はこれまでたくさん知っているけど、「ゴーヤを食べておいしかった」って書いている小さなお友だちがたくさんいるのにちょっとびっくり。大人でも「ゴーヤは苦いからきらいだ！」という人がたくさんいるので、みんなすごいなあと思います。

また、オレンジ色になってはじけたゴーヤのたねを味見できてよかったね。とても甘くておいしかったです。苦いゴーヤがオレンジ色になり、種も甘くなるのはなぜかな？ そのわけを先生から教えてもらったかな？ 自分たちが育てた植物をいっしょうけんめい育てて、できた実を食べることは、これからのみんなにとってもとても大切な体験になったでしょう。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

ゴーヤのカーテンが完成した夏、ゴーヤのカーテンでできた陰に入っただけでどう感じたかな？ 少しは涼しかったかな？ ゴーヤのカーテンをまど付近で2階に届くほど高く作ると、どんないいことがあるのか、ぜひ考えてみよう。そして、新聞にぜひ書いて欲しいなあと思います。そうすると、読んでいる人が、ゴーヤのカーテンを作るのがなぜ「エコ」なのかかわかると思います。それから、みどりのカーテンにはゴーヤだけでなく、いろいろな植物でつくることができます。最近では、ミニメロンやエアポテトなど、同じように実のなる別の植物でカーテンをつくることもあります。来年の夏は、ちがう植物でちょうせんしてみるのはおもしろいかも。

そして、サポーターの先生にちょっとお願い。園児だけでの声では、全体の活動が分からない部分もあります。サポーターからのメッセージを壁新聞の片隅に書いてくださると、全体の活動についてさらに詳しく知ることができるでしょう。

富山県高岡市 戸出西部保育園 エコクラブ

壁新聞のタイトル: 16-07 幼児

グリーンエコキッズ by 戸出西部のみなさんへ

師範から一言――

グリーンエコキッズの みなさんは、ゴーヤでグリーンカーテンをつかったときの いろんなかつどうをかべしんぶんにくれました。

たくさんの しゃしんがあつて、わかりやすいですね。ゴーヤが どんなふうに せいちょうして いったのかや、グリーンカーテンのなかには すずしいこと、ながさや おもさを はかったり、りょうりをして あじわったり、たくさんのかつどうを しましたね。どれも、とてもたのしそう！

かべしんぶんには、みなさんが はっけんしたことや かんそう、ゴーヤのえが かいてあつて、それもとてもすてきです！



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

・みどりのゴーヤは にがいですが、ゴーヤのみは きいろくなり、そのあとオレンジいろに なります。オレンジいろのゴーヤを あじみ したことは ありますか？ もしまだなら、ぜひいちど あじみしてみてください。

・ひなたは あついですが、グリーンカーテンのひかげは すずしいですね。グリーンカーテンがつかれないような ばしょでも、むかしからある「すだれ」などで ひかげを つくれば すずしくすごせますね。

・かべしんぶんの ゴーヤのはっぱにかいてある みなさんののはっけんが、とてもおもしろかったです。「ゴーヤのはっぱで にんぽうかくれみのの じゅつができた」「ゴーヤのはっぱが ぼうしにへんしん。あたまがすっぽりかくれた」というのも、びっくりしました。また はっけんしたことや、こんなことができるよ、ということをおしえてくださいね！

☆☆サポーターへのゴシドウ☆☆

・写真と感想から、子どもたちがゴーヤのグリーンカーテンを楽しんでいる様子が伝わってきます。ゴーヤカップに変身とか、最高ですね！ 葉っぱをつかった遊びもたくさん発見して楽しみながらたくさんゴーヤに親しまれたところがステキです。観察力もすごいですね。

・他に、日なたの土と日陰の土を触って温度の違いを体験することもされたとのこと。これも面白い！ スペースがあれば、これも壁新聞に載せてほしかったな、なんて欲張りなことを考えてしまいました。

・グリーンカーテン以外にもエコを考える工夫をされているとのこと。これからも楽しく活動してください！



万葉なかよしグリーンキッズのみなさんへ
師範から一言――

万葉なかよしグリーンキッズのみなさん、こんにちは。
ゴーヤは、きいろのはなが さくんだね。それから、おなかのなかにある たねをみたり、なんにちかすると みどりのゴーヤがオレンジいろになったり、おおきくなるときに つるが ぐるぐるまきついたり、はっぱが てのかたち にていたり…。ほんとうに いろいろなことを はっけんしたんだね！
これは、じっさいに じぶんたちで そだててみないと わからないことだし、みんなが よーくかんさつをしたから みつけることのできた すばらしい はっけんだとおもいます。
きょねんは だいせいこうした ゴーヤのグリーンカーテン。ことしのなつは、どんなグリーンカーテンができるかな？
ぜひ、また かんそうを きかせてね！ たのしみにしています♪



サポーターへのおきゴシドウ★……★……★……★……★
かべ新聞の作成お疲れさまでした。

「ぐんぐん伸びて大きくな～れ！ 私たちのごーやちゃん いっぱい育ててね！！」をスローガンとして活動に取り組んだのですね。目標を決めて活動に取り組むことは、自分たちの活動内容を再認識したり、やる気を引き出せるので、とても良いことだと思います。また、ごーやちゃんという可愛い愛称も良いですね！
ゴーヤはグリーンカーテンの王道ですが、上手く受粉せずに実ができなかったり、葉が枯れてしまったりすることがあるそうですが、とても立派に育っていて、そこから園児の皆さんと先生方で愛情を込めて育てたことが伝わってきます。
毎日温度を測り、記録することで、エコ活動を知る第一歩にもなっていて素晴らしいですね。どんな結果だったのかがとても気になるので、かべ新聞に記録の結果を載せても良いかもしれません。
今回はゴーヤについて観察をしましたが、次はゴーヤに集まる生きものを観察してみると、受粉の手助けをしてくれる生きものが分かって面白いかもしれません♪ぜひ試してみてください！

第二エコキッズのみなさんへ
師範から一言――

ようちえんの 31 名からゴーヤをそだてるきろくがとどきました。1 年間(かん)のかんさつですが、みんなのおどろきときょうみが葉(は)っぱの形(かたち)をしたメッセージにかかれていて、不思議(ふしぎ)なりズムのようでした。写真(しゃしん)にはげんきなこどもたちのかおがいいきいとらえられていました。
また、壁新聞(かべしんぶん)のしたには、ゴーヤくんとゴーヤちゃんの人形(にんぎょう)がのっています。これはみんなで考(かんが)えたのでしょうか、とてもおもしろいとおもいました。来年(らいねん)もグリーンカーテンに挑戦(ちようせん)して下さい。さわったり、においをたしかめたり、かんたんな観察(かんさつ)でもいろいろな発見(はっけん)があります。発見(はっけん)があるとにおいなどをおぼえるきっかけになります。これが自然体験(しぜんたいけん)です。こんどはこの発見(はっけん)をことばにして、誰(だれ)かに伝(つた)えてみましょう。まずは、おうちの人にこの感動(かんどう)を伝(つた)えてみてください。さあ、うまくつたわるかな？

とっておきのゴシドウ★……★……★……★……★
このほかに不要(ふよう)ハガキをあつめる活動(かつどう)もしているそうですね。地球(ちきゅう)を守(まも)るという大きな視点(してん)で活動(かつどう)をしているようですから、清掃(せいそう)活動(かつどう)やゴミ分別(ぶんべつ)、節電(せつでん)など身近(みぢか)ですぐにでもできる活動(かつどう)にも取り組む(とりくむ)ことを期待(きたい)します。園内(えんない)や校庭(こうてい)は安全(あんぜん)な活動(かつどう)ができると思いますので、検討(けんとう)してみてください。ゴーヤとともに地球(ちきゅう)を守(まも)るぞ！！



エコレンジャー西部っ子のみなさんへ

師範から一言！

グリーンカーテンを育てた様子をくわしく記録していますね。せっかく大事に育てたのですから、きちんと記録をとっておくのはとてもよいことです。自分で育てて、最後は食べるまで行うという活動をするのはとてもおもしろいものです。

これを読んでくれた全国のお友達もためしてくれることも期待しています。全国にグリーンカーテンが広がっていくといいですね。

とっておきのゴシドウ★

いい活動なので、今後も続けて、来年はどうなったかも記録して行って、次の新聞で教えてくれるとうれしいです。

続けて観察していくと、きっと今年とはちがった発見があるはずです。それを知ることはとても大切なことです。新聞にも「来年はおとうさんやおかあさんもいっしょに」と書いてありますね。みんなできたらもっとよい活動になると思いますよ。



ふたつかグリーンキッズのみなさんへ

師範から一言！

ふたつかグリーンキッズのみなさん こんにちは。

みんなでそだてたゴーヤが、てんじょうよりたくまでとどいてすごかったですね。

ゴーヤを土にうえ、水をあげて、みなでのおせわをしたので、どんどのびておおきくなったのですね。

お花をみつけたり、においをかいだり、まいにちゴーヤを見て、いろいろなことをかんじたことはすばらしいです。

ゴーヤのしたはずしくったのかな？ゴーヤのおかげですずしくなったのがわかってよかったですね。ゴーヤはにがくなかったですか？

じぶんたちでそだてたゴーヤをゴーヤチップスにしてもらってみんなで食べるとおいしかったのでしょうね。

ほかに、ぎゅうにうパックやこうこくのかみをつかうことなど、エコかつどうをしているのは、とってもよいことです。ものをたいせつにつかってごみをへらすのは、とってもいいことです。こんどは、ほかのエコかつどうについてもおしえてください。

そして、このエコかつどうをみなでずっとつづけてください。

サポーターへのとっておきのゴシドウ★

ゴーヤの生長を、みんなで楽しんでいるようすが、写真や感想などからも良くわかりました。子どもたちが五感を使って、いろいろな発見ができるようにされたのはすばらしいです。

グリーンカーテンに隠れて子どもたちが涼しさを実感できるようにされたことばかりでなく、電気を使わず夏を涼しくすごす方法を学ぶ環境教室を開催されたことはとてもすばらしいことです。

幼児では、まだ難しいかもしれませんが、気温をはかって、数値で涼しさを実感することもできるかもしれません。

日ごろの遊びの中から、自然とエコを感じ、考えるような活動を今後もたくさん続けていってください。



かわらエコキッズのみなさんへ

師範から一言――

のあちゃん、れいなちゃん、ななちゃん、たいがちゃん、なおちゃん、こんにちは! なかよし5にんでゴーヤのグリーンカーテンをはじめてそだてたのですね。とつてもたのしそくにグリーンカーテンをそだてているのが、よくわかります。

5がつにゴーヤのなえをうえました。プランターのつちにまるくあなをつくり、なえをいれて、つちをかぶせました。つちいじりはたのしいでしょう。つちはつめたかったかな?

なえはなんほん、うえたのですか? 5にんのチームで10ほんくらい、うえたのかな?

みずやりとうばんをきめて、じょうろでみずをやりました。たくさんのみずをなえにかけましたか? みずやりとうばんをみんなできめたんだってね。えらいな。

6がつになるともう、ゴーヤはおおきくのびて、みんなのあたまのたかさよりおおきくなったようですね。ゴーヤはみずだけでおおきくそだつのですね。みなさん5にんぐみは、みずだけではおおきくならないよね。ごはんをたべて、おさなかやおにくをたべて、やさいをたべて、みかんやりんごをたべておおきくなるのだね。みずだけでおおきくなるなんて、ゴーヤはえらいねー。じつは、みんながだいすきなやさいもみずだけでおおきくなるのだよ。いぬやねこやらいおんなどのどうぶつは、みずだけではおおきくなりません。わたしたちとおなじようにごはんやおにくややさいをたべないとおおきくなりません。みんなはすききらいしないでやさいやおさかなやおにくをたべているかな?

7がつになるともうゴーヤのみがなりましたね。ゴーヤのみは、すぐみつけることができたかな? ゴーヤのみもさいしょはちいさいけれど、10にちから20にちくらいでおおきくなったかな? さわるとどんなかんじでしたか? ぶつぶつがあるので、ざらざらしていたかな。

8がつはゴーヤのみをとって、たべるまえにえをかきました。じょうずにかけましたか?

いろはみどりいろだけかな? ぶつぶつをかいてできあがりですね。ゴーヤのみだけでなくはっぱもかきましたか?

そのあと、りょうりをしたのですね。ほうちょうでふたつにきって、たねをとりだしたのですね。ほうちょうをじょうずにつかえましたか? とつたたねは、らいねん、つかうのかな?

富山県高岡市 かわらエコレンジャー

壁新聞のタイトル:

とつておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

5にんのゴーヤぼうやのきりえはおもしろいですね。おこったかお、わらったかお、しんけんかお、だれがだれだかわかりませんが、みんなはこれ、わたしです、これ、ぼくです、とわかるのですね。

ゴーヤつくりのかんそうもかいてくれました。グリーンカーテンはずしかったです。ゴーヤはきれいでした。おせわするのがたのしかったです。おいしかったです。もらえてうれしかったです。よかったねー。みんながちゃんとおせわしたので、りっぱなゴーヤができました。りっぱなゴーヤができたのは、みんながいっしょうけんめいおせわしたからですよ。

ゴーヤがすくすくとおおきくなったとおなじように、みんなもすくすくとせいちょうしたようですね。まいあさみずやりをちゃんとやりました。ゴーヤのたかさもじぶんとくらべたのでしょう。ゴーヤのカーテンですずしくなることもわかりました。おんどにもきょうみがもてました。みんながせいちょうしたしるしです。“やればできる”のですね。みんながこのけいけんをしたことは、とってもよいことだとおもいます。



能町グリーンゴーヤーズのみなさんへ
師範から一言――
能町グリーンゴーヤーズのみなさん、こんにちは。
みなさんは、ゴーヤの グリーンカーテンに ちょうせんしたんですね。ゴーヤは おおきくなるのが はやくて あっというまに みんなの しんちょうを おいぬいて、びっくりしたのでは ないでしょうか？
じぶんで そだててみると、いろんな はっけんが ありますね。わたしは、ゴーヤは あんなに ごつごつしているのに、おはなは きいろくて ちいさく、とてもかわいい ことにびっくりしたよ！みんなは どんな はっけんが あったかな？
それから、まいにちの みずやり がんばりましたね！まいにち がんばって みずやりをしたから、こんなに おおきな グリーンカーテンが できたんだね。すごいね！
これから、なつは グリーンカーテンで すずしくエコに すごしてみてくださいね^^

サポーターへのとっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★
かべ新聞の作成お疲れさまでした。
園児のみなさんが、とても楽しそうにグリーンカーテンを育てている様子が分かりました。とても大きく育っているし、ゴーヤも実っているので、愛情をこめて上手に育てた頑張りも感じられます。
そして、活動の中でたくさんの発見があったと思います。より多くのことに気がつけるように、毎日の成長記録としてゴーヤの身長測定をしてみるのはいかがでしょう。晴れていた次の日と雨の次の日を比べてみると、成長に違いがあるかもしれないですね。また、日向、日陰、グリーンカーテン越しの日陰、の気温の違いを測ってみるのも面白いかもしれません。
ぜひ、園児のみなさんと、いろいろな活動をしてみてくださいね♪



エコ戦隊すみれんじゃーのみなさんへ
師範から一言――
エコせんたい すみれんじゃーのみなさんは、ゴーヤのグリーンカーテンをつくって たくさんのはっけんを ほうこくしてくれました。
さいしょに「なんでグリーンカーテンをするの？」ということを みんなで おはなししたのは すてきですね。はっぱで かげができて すずしくなるから、ほいくえんのなかの あつくて まぶしい ばしよを さがしたのですね。2かいのテラスが あつくて まぶしかったということは、テラスのところにグリーンカーテンを つくったのかな？たくさんの しゃしんが あって、ゴーヤがどんどん そだっていき、みなさんが はっけんしたり みをたべたりしたことが よくわかりますね。
おんなのこの おはなを みつけたり、とうばんのひとが おんどをはかったり、がんばりましたね！



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★
かべしんぶんの ゴーヤのはっぱに みなさんがかいてくれた はっけんが、とってもおもしろいです。「ゴーヤにがいの、はじめてしった」「オレンジになったら ばくはつして びっくりした」「ゴーヤの あかいたねは スイカのあじ」など、いっぱいおもしろい はっけんが ありましたね。
さいしょにはなしあったみたい、はっけんしたことも みんなで はなしあったり したのかな？
ぜひこれからも エコかつどうを つづけて、はっけんしたことや、おもしろかったことがあったら おしえてくださいね。

☆☆サポーターへのゴシドウ☆☆
・どうしてグリーンカーテンをするのかというお話を子どもたちとしっかりされていて、さらに保育園の中の暑くて眩しい場所と一緒に探したところが素晴らしいですね！ 日陰を作るという工夫で涼しくなること、そしてグリーンカーテンを育てることそのものを楽しむということの両方をされていてステキだと思います。
・子どもたちがゴーヤの生長をしっかりと観察して、体験して、いろいろなことを感じて成長されている様子が伝わってきました。これからもぜひ楽しくエコ活動を続けてくださいね！

豊小学校 子どもエコクラブのみなさんへ
師範から一言――

まちをきれいにするために、ごみ拾いをみんなでしたのですね。まちがきれいになったら住みやすいみんなも喜ぶから大事なことです。ごみはたくさんありましたか？ どんなごみがありましたか？
おじさんも川や海のごみを毎月ひろっていますが、ひろったあとにわかるのも大変です。おじさんのまちの川や海では、一か月したらまたごみがたくさんあります。
みんなのまちではどうでしたか？
こんどは、できたらどんなものがあつたかを写真でとって、少し壁新聞でしようかいしたら、豊地区がよりきれいになるかもしれません。みんながどんなものが多いか良くわかって、ごみを捨てる人がへるかもしれません。
ごみを捨てないようにすることや、ごみをふだんから減らすようにくらすことが一番たいせつだからみんなもそうしてください。
壁新聞やポスターをかいいたりしてまちのみんなに呼びかけることもだいじですよ。



とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
クリーン作戦は継続することも大切ですし、捨てる人、放置する人が減らないとまちの中や川や海のごみはなくなりません。みんなに注意してもらうためにも、どんなごみが多いかを知ることとはとても大事なことです。ごみ拾いを継続して種類や量を調べることは本当にご苦労が多いと思います。
こどもエコクラブの子ども達と一緒にがんばってください。
原因を考えながらポスターをかいいたり作文にして発表したりしてみんなに呼びかけることが大事だと思います。プラスチックのごみはいつまでも腐らないのでごみのままです。私たちもそう考えて継続しています。
みんなでがんばりましょう。
少しでもたくさんの人に興味を持ってもらうため、ごみと生きものをテーマにして活動している団体が多いですが、これからもぜひ、こどもエコクラブの活動でもがんばってください。

和泉エコクラブのみなさんへ
師範から一言――

水のことを勉強したのですね。山梨県は水が豊富で有名ですね。
おじさんも、小さな川の水の力で発電する様子を山梨県に見に行ったことがあります。水がどこから来てどこへ行くのかは大切なことですから、これからも勉強してください。きれいな川で泳いだり生きものを探したりもしたんですね。天然水の工場見学も楽しかったでしょう。早瀬浄水場もみんな住んでいるまちの水道水を作っているのですから、天然水の工場と同じですね。
どんなことに気をつけたらいいか、また教えてほしいです。小学校にも日本中のみんなに壁新聞でまた紹介してください。



とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
クイズは作るのがむずかしかったでしょう。
問題も難しいですね。みんな答え合わせをしましたか？
壁新聞やポスターを書いて、学校やまちのみんなに質問したり、大事にしたいことを呼びかけることも大事です。これからはチャレンジしてください。
水の循環は重要なことです。
終わりがなく昔から循環してきてこれからも循環していきます。
日本は水が豊かな国だと考えている人が多いですが水の循環は変わりつつあります。
水のことを学んでみんなで守っていくこと、大切にしていくこと、ぜひ、山梨県のエコクラブが大切なテーマにして壁新聞で発信し続けてほしいと思います。

いきものみつけファーム in 松本のみなさんへ
師範から一言――

1年間の活動をそれぞれの項目について分かりやすくまとめてくれました。私たちの食卓に欠かせないお米ですが、食生活が西洋化したことなどによって、私たち日本人は毎日の食べるお米の量がだんだん減っています。都会ではだんだん田んぼの数も減ってきています。なので、自分の住む地域で、自分たちで育てたお米を炊いて食べる経験は本当に貴重です。そして、田んぼは私たちの食べ物を恵んでいる場所であると同時に、生き物の命を守っている場所であることが、お米作りを通じて体感でき、新聞でも田んぼで見つけた生き物の絵が紹介されています。私たちの食や生き物を守る田んぼですから、これからも、作業も観察も両方がんばって下さい。また、お餅つきの活動報告については、たくさんの量のお餅をつくことができました。長野県では「くるみだれ」というたれがあるのですね。どのように作るのかな？ どんな味なのかな？ 食べたことがないので気になります。今回初めて、活動の記録を新聞にまとめたと聞いていますが、ぜひ毎年活動の記録として壁新聞を作って残していきましょう。



とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

感想にもあるように、時間をかけて作った壁新聞、だけど字が細くてうすくてちょっと読みづらいのがとってももったいない。次はぜひ、もう少し使う文房具も考えて作ってみよう。タイトルで使っているラッショペンやマーカーをもっと上手に活用しましょう。太さを変えるなどしてメリハリを付けて書くと、もっと読みやすい新聞になったことでしょう。この新聞では、簡単にしか紹介されていないのだけれど、私が一番「何これ？」と思って読んだ記事は「コブハウス」のこと。コブハウスについて、もっと知りたかったなあ。写真に写っている壁はどんな風につくるのかなあ？ どのくらいの時間をかけて作ったのかなあ？ 屋根はどんなふうになったのかなあ？ いろいろと、とっても気になります。活動全部について書くのもいいけれど、たとえばコブハウスを特集記事にして、作り方などもっとくわしく書いてくれると、新聞としてはもっとおもしろくなること間違いなし。今度挑戦してみてね。

高島小学校 6 年 1 部のみなさんへ
師範から一言――

新聞一面に書かれた「森林すごろく」。読み応えがあります。森林再生プロジェクトという学校のコアのプロジェクトを進めるために、地域の専門家にいろいろ教えてもらいながら、そして教えてもらったことを実践している様子がよく分かります。そして、みなさんの凄いのは、このプロジェクトを通じて知ったことを、いろいろなところで発表し、PTAや市役所など大人の人に知ってもらおう活動をたくさん取り入れているところです。また、企業にも手伝ってもらって最新のツールで活動を紹介しているのはすごいです。これからも、この調子で森林活動をますます定着させていって下さい。



とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

すごろく風にまとめているのは工夫があって、楽しい見せ方です。しかし、結局すごろくとして遊べなかったところがちょっと残念。最後のコマまで読むのはちょっとしんどかったです。せっかくすごろくとしたのだから、すごろくの要素をいれて(たとえば「一回休み」とか「3つ先に進む」みたいな)、ゲームとしても遊べて、ゲームをしながら活動が分かるようにまとめると、読む人は、もっとおもしろく読み進めることができたかもしれません。それから、「スマートグラス」という言葉が出てきますが、何のことでしょうか？ 実は私は3月の全国フェスティバルで、スマートグラスを実際見せてもらって説明をしてもらったので、どんな機械か知っていますが、壁新聞を読んだだけでは、何のことかよく分かりません。読み手の気持ちになって「あれ、ここ分かりにくいなあ」とか、「ここはうまくまとめられたなあ」と内容を確認する時間があればもっと良い新聞になるでしょう。それにしても、学校の授業のなかで、本当にたくさんの活動、勉強ができていて、本当にすばらしいと思います。

一般社団法人飛騨シュール(神小クラブ)のみなさんへ

師範から一言!

ステキな部屋ができましたね。みなさんの工夫がいっぱい感じられます。身近にあるものをごみにしないで、工夫をして活かしていくのは eco な活動ですね。失敗した紙も無駄にならないようにすることもステキ! ほかにもあさひなどの自然なものを使うことなど、一つひとつ eco なことを考えながら行動できるのは、ととてもすばらしいことです。

そして、かざりつけなど工夫をこらしたことなど、なかよく楽しく活動を行っていることがわかります。壁新聞にかかれたかわいい絵からも伝わってきましたよ。

これからもこの部屋で楽しい活動を続けてください。

とっておきのゴシドウ★

壁新聞は、いろいろな色を使ったり、写真や絵をいっぱい使って工夫されているのがよくわかります。

そして「ecoでおし入れを部屋にしよう!」と大きなタイトルがついていてひと目で内容がわかるのが良かったです。そこで、たとえば「ダンボールを活用」、「かざりつけに工夫」など、小さなタイトルがつくと、見る人にさらに伝えたいことがわかりやすくなるでしょう。

ほかにも、牛乳パックを使うなど、いらなくなったものからどんな eco ができるかなど、いろいろと考えてみると楽しいでしょうね。みのまわりのもので次々と eco を見つけ活動が広がっていきましょう。



岐阜県飛騨市

壁新聞のタイトル:

一般社団法人飛騨シュール(古西クラブ)のみなさんへ

師範から一言!

生活の中の自然なものは何だろう? って、みんなで調べて新聞にまとめてくれたものを見て私も考えさせられました。

今着ている洋服には化学せいのものがいっぱいです。身のまわりには自然でない化学せいひんがいっぱいですが、もっともっと自然のものを使った生活をしたいですね。いいところを気づかせてくれました。

ちょっとむずかしい内容のものでも、絵がたくさんで、親しみやすい新聞になりました。アロエちゃん、アサのすけ、わたくん、ベニちゃん。キャラクターの名前もついていてとってもかわいいです。へえ、紅花には血行をよくして体温をあたためる効果があることなんだ! ってベニちゃんが紅花のすごさを教えてくれました。4コマまんがまでできてすごいです! 工夫して、植物を説明してくれた「植物せつめい新聞」になりましたね。



とっておきのゴシドウ★

自然の植物が役立つことをいろいろと調べてくれていますね。

じゃあ、具体的にどんなことで役立っているのかな? なんて自然のものがよいのかな?

例えば、木綿でつくったシャツと、化学せいでつくったシャツと比べてみると、どんなところで自然のせいでつくったものがよいのかが、もっともとはっきりとわかってくると思います。つくるとき、使っているとき、そしてごみになったときのことまでを考えるとそのちがいははっきりします。次はそこまで調べてみるとさらにももしろいかもしれませんね。

師範は、日本の杉の木で作ったお弁当箱を使っています。そのお弁当箱でお弁当を食べるたびに自然のものの良さを感じています。みなさんも身のまわりで使われている自然のものをほかにもたくさん調べてみるといいかもしれませんね。おじいちゃんやおばあちゃんにきいてみるとすてきなことを教えてもらえるかもしれません。

また、草木染にちようせんしてみると自然の植物ともっと仲よくなることもできるでしょう。ほかにもいろいろな方法で、さらに自然の植物がもつ力を知り、楽しんでいきましょう。

清水イオンチアーズクラブAの新聞を書いたみなさんへ
 師範から一言!

お米と落花生の種まきから収穫体験、さらに市民の森づくり体験までのいろいろなきょうな自然体験活動の記事を楽しめるすばらしい壁新聞です!!!
 この壁新聞を読み終わった後に、この1年間に会った植物の「命の大切さ」を学ぶことによって、クラブのお友だちと一緒にどれだけすてきな1年間をすごすことができたかと想像すると、とてもさわやかな気分になりました。次の壁新聞でどのような記事を発表してくれるのか、わくわくしてまちどおしくなりました!!!
 お米と落花生のちがいを詳しく書いてくれてありがとう。このちがいを知らないお友だちがとてよこんでいると思うよ。「植物は種から実になりそして種になるじゅんかん」で子孫を残しています。」という植物のとても重要な生命活動をとてまうままとめてくれましたね。また、現在、日本のいたるところで問題になっている「放置竹林」のぼっさい体験をしたことは、このすばらしい自然を守るためにとてもりっぱな活動を経験したことにつながりますね。さらに、森づくり活動を通して、森の三つのとても大切な働きである「光合成(こうごうせい)」、「緑のダム・地下水」そして「食物連鎖(しょくもつれんさ)」のことを学ぶことによって、人間を含む地球上のたくさんの生き物の「命のつながり」を実感できたことが、この一年間の『大収穫』だったと思います!!!



とておきのゴシドウ★

このようなすばらしい自然体験活動を指導していただいたサポーターのみなさんに心から感謝しましょう。みなさんにとって、きつとこの自然体験はとてきょうな財産になったと思いますので、他のお友だちや年下のお友だちにも同じ自然体験ができるように引きついで欲しいと思います。

静岡県静岡市

壁新聞のタイトル:

清水イオンチアーズクラブBの新聞を書いたみなさんへ
 師範から一言!

春、夏、秋、冬の四季を通して、それぞれの季節の話題をうまう表現したとても素晴らしい「植物の一年」の壁新聞です!!! それぞれの季節を短くとてよくまとめられたと思います。
 「春のまとめ」によると、新芽や花ができる季節ですね。新芽から出てくる葉っぱもいろいろな緑の色があり、そして花のいろいろなにおいも楽しむことができ、春はとてもうききしますね。
 「夏のまとめ」によると、葉っぱでエネルギーを作る季節ですね。たくさんの水や栄養を根からすいあげて、同時に空気中の二酸化炭素を吸って、酸素を作るとて大切な働きをしていますね。
 「秋のまとめ」によると、葉っぱはこうやって、木に栄養をためておく季節ですね。ミズ、ワラジムシ、ダニ、トビムなどの土の中で生きている生きものなどが落ち葉を食べてこなごなにして、栄養のあるふかふかの土にして、その土が木の栄養になります。
 「冬のまとめ」によると、植物が子孫を残すためにがんばっている季節ですね。子孫を残すため、種や実が冬のきびしい寒さからいろいろなくふうをして自分を守り、春を待ちわびています。春になると葉っぱや花になる冬芽(ふゆめ)の観察では、動物の顔のようなかわいい冬芽がたくさんあり、冬にはそれらを探してみませんか。



とておきのゴシドウ★

植物のとてきょうばかりでなく、その植物に関する文化、生活、歴史や自分とのかかわりあいなどを調べると、いろいろな発見、不思議、感動などを体験できますよ。次の壁新聞を楽しみに待っています!!!

三島本町イオンチアーズクラブ①の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！

「三島をお花でいっぱいしよう！」活動、すばらしいとくみですね。花づくりは土づくりからということで、基本的用土として、赤玉土、鹿沼土、腐葉土、堆肥とくん炭をきめられた割合で土づくりしたこと大変おどろきました。このような土づくりがrippana花を咲かすのですね。天地返し土とペットボトルスコップは、資源(しげん)の再利用(さいりょう)で、環境にとってもやさしい活動ですね。さらにペットボトルスコップの作り方の絵が書いてあるので、壁新聞を読んでもくれたお友だちにもわかりやすく、作りやすく、また花だんのお世話も一つ一つとてもいいに書かれていますね。人参ジュースの作り方はむずかしかったのかな。あじはどうだったのかな。気になりました。

とっておきのゴシドウ★

「三島をお花でいっぱいしよう！」という活動なので、どのような花がどのように咲いていたかの花の写真があれば、壁新聞を読んでもくれたお友だちに花の状況(じょうきょう)がよくわかると思います。rippana土づくりと花だんのお世話できれいな花がたくさん咲いていたことでしょう。つぎの壁新聞を期待しています！！



三島本町イオンチアーズクラブ②の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！

「三島の魅力発見」というテーマで、三島の魅力といえば、まずは富士山かと思いましたが、富士山でなく、ひじょうに魅力的な三島コロッケ、三島大社、源兵衛川の三島梅花藻のことをとてうまく表現(ひょうげん)した壁新聞です！！壁新聞を読んだお友だちに三島コロッケをメイクインで作る理由がよくわかりかできる記事(きじ)の内容(ないよう)になっていますね。歴史のある三島大社の樹齢1200年の金木犀と総ケヤキ造りの御殿をぜひ一度見てみたいくなりますね。また富士山の地下水が流れ、カワセミも住んでいるきれいな源兵衛川に咲いている三島梅花藻も見たいくなりますね。これだけの三島の魅力が壁新聞にじゅうぶんに宣伝(せんでん)されているので、たくさんのお友だちが三島のことをもっと知りたくなり、行きたくなること、まちがいなし！！これから引き続きがんばってね！！

とっておきのゴシドウ★

三島コロッケ、三島大社と三島梅花藻の花の写真がもっと大きければ、三島がもっと魅力的な町に見えると思います。三島コロッケについて、お友だちといっしょにメイクインの苗を最初から植えて、しゅうかくして、そして三島コロッケを作ると、もっともっと三島コロッケがみじかになり、したしみが出てくると思います。三島梅花が咲いている源兵衛川のきれいな水のこともさらに知りたくなりました！！次の壁新聞を楽しみにしていますよ！！



三島市環境探偵団①の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！

三島市環境探偵団①のみなさん、こんにちは！「富士山」と「エネルギー」というテーマの組み合わせが面白いですね！エコカーは環境の知識以外に、テクノロジーの分野も関係しているので大人でも難しいですが、客観的な事実が上手くまとめられていると思います。実際に見て来たみなさんはさすがですね！写真も多く、それぞれにどういう様子か一言付け加え、一目でわかるような工夫もすばらしいです！



とっておきのゴシドウ★

富士山探検の当日が雨だったのは残念でしたね。私も雨男なので、その気持ちはとても良くわかります！^^
富士山は日本一高い山で、溶岩でごつごつとしている地形なので、足元が悪い中での活動は大変だったと思います。全体の感想が全てを物語っていますね。
自然相手なので天候は仕方ありませんが、きっと普段の富士山の魅力もあるのではないのでしょうか？
雨の日の大変な感想の他にも、静岡県のみなさんだからこそ知っている富士山の魅力を伝えられたら、もっと良い壁新聞になると思います。今後は静岡県民として、富士山の良さを広めていって下さいね！

静岡県三島市
壁新聞のタイトル:

三島市環境探偵団②の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！
三島市環境探偵団②のみなさん、こんにちは！
写真が多くて文字もカラフルで、とても華やかですね。そしてクイズがいくつかあるのも特徴的です。読んでいる人にも楽しめた仕掛けですが、きつと作っていたみなさんも楽しかったんじゃないでしょうか。
華やかな事や楽しい事など、ポジティブな気持ちは記憶にも残るので、高い完成度の壁新聞だと思います！



とっておきのゴシドウ★
今の完成度を、さらに高めるためにワンポイントだけアドバイス。それは、活動した中で関心を持った事柄をひとつ掘り下げる事です。体験してわかった事実や感想をありのまま伝えるだけでなく、自分たちなりに調べる事で新たな疑問が出てきて、それが発見につながります。
調べた分だけ説得力が増し、内容も深いものになる。これは何事にも通じるので、エコ活動に限らず、今後の深みのある活動を期待しています！

静岡県三島市
壁新聞のタイトル:

三島市環境探偵団③の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！
三島市環境探偵団③のみなさん、こんにちは！
身近な自然とエコカーが二大テーマで、興味をひかれますね。電気自動車は加速がスムーズというのが特徴のひとつですよね。ガソリンで走る車で急加速をすると排気ガスが増えてしまいますが、電気自動車では電力消費はどうなんでしょう？エコカーがこれからもっと普及した時のために、エコカーのエコドライブを勉強しておこうと思いました。
私も電気自動車が欲しいと思った事がありますが、貯金というものはなかなか増えないもので、今後も買えるかわかりません。^^実際のエコカーに触れた経験は、きっと大人になって車を選ぶ時の良い判断材料になりますね！
とっておきのゴシドウ★
身近な川の生きものを捕まえたのも、とても良い経験ですね。川に入ってホトケドジョウやアブラハヤを捕まえるのは、大人になっても楽しいですよ。
サワガニも20年以上前に近所で捕まえた事も思い出します。そこでは赤とオレンジ色のサワガニと、青と白の色のサワガニの2種類がいて、とても驚きました。その近所のサワガニスポットは20年以上経った今、残念ながら住宅地の開発のために無くなってしまいました。自然が失われるのはとても簡単ですが、自然環境を作る事は多くの手間も時間もかかります。そういった意味でも、みなさんの活動を続けていく事が身近な自然を守る事になるので、これからも愛着を忘れずに持っていてほしいと思います！



三島市環境探偵団④の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！
三島市環境探偵団④のみなさん、こんにちは！みなさんの壁新聞は、マンガやクイズなど読みたくなる仕掛けが多くて楽しかったです。内容を見ても、活動した事や基本的なエコの取り組みなどがまとめられていますね。感想の「LEDは省エネ」「リサイクルのためにゴミを分別する」という素直な気持ちはすばらしい！
このように日常生活で実践出来るエコを広める事は大きなエコにつながるので、とても意味がある良い着眼点です！！
とっておきのゴシドウ★
私も富士山には過去に何度か行った事があります。今では世界遺産にもなっていて、日本が世界に誇れる山ですね！その富士山には、なぜ植物を落とすマットが置いてあるのか、なぜ富士山に種をまいてはいけないのかは聞きましたか？自然を守る方法とその理由を広められれば、他の地域の環境を守る事にもつながります。
他の人が真似できるように詳しい取り組みを積極的に発信して行って、さらに影響力のある壁新聞を目指して下さい！



愛鷹アースレンジャーのみなさんへ
師範から一言！

今年も川の源流まで行ったのですね。写真からも、水の冷たさ、水のきれいさが伝わってくるようです。ハコネサンショウウオだけでなく、カワゲラやカエルも捕まえたようですね。実際にさわってみて、「やわらかかった」「冷たかった」「小さかった」「かわいかった」というように、たくさんの感想、感情がわいてきたと思います。毎年同じ活動が続けていても、必ず新しい発見があると思います。次回もきたいして待っています。

とっておきのゴシドウ★

みなさんが新聞に書いているように、ハコネサンショウウオは水温の低い澄んだ川にしか生息することが出来ません。ハコネサンショウウオをこれからも守っていくためには、どうしたらよいのでしょうか？ 長く続けているうちにそのヒントというか答えが見つかるかもしれません。皆さんが思ったこと、考えたこと、大切だと思うこと、など、活動の意味がさらに読んだ人に伝わるすばらしい新聞になると思います。



原田湧水クラブのみなさんへ
師範から一言――

ちりめんじゃこで、海の生きものをさがしたのですね。いろんな生きものがいておどろいたでしょう。おじさんもちりめんじゃこをさがして、カニのあかちゃんやタツノオトシゴを見つけておどろきました。いろんな生きものがたくさんいることがわかって、ずかんをみるのがますますたのしくなるでしょう。みんなは、川の調査や滝川の調査もしてるのですね。すごいと思います。すばらしいしぜんがある静岡や湧水を守る活動やしぜんのことをしらべる活動をこれからも続けてください。壁新聞やポスターをかいいたりしてまちや全国のみんなに調べたことやわかったことを知らせることもだいじですよ。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★

おじさんは明石(あかし)というところの海のそばに住んでいます。いかなごという小さなさかなをたいてくぎ煮(に)というつくだ煮(に)を毎年つくりますが小さなさかなの中にたくさんアナゴのあかちゃんやカニのあかちゃんもいます。いろんな生きものがたくさん海にはくらしているのですね。でも、海の生きものがつながっているってみつけるのはむずかしいでしょう。どうしてしらべたらいいかな？ またかんがえてみてね。

☆☆サポーターへのゴシドウ☆☆

山、川から海まで活動対象にしてすばらしいと思います。生きものの繋がりがりや人間の暮らしとのつながりを子ども達と一緒に調べたり考えながら、環境問題の大切さや課題と一緒に取り組んでいくのが大切だと思います。本当にご苦労が多いと思います。こどもエコクラブの子ども達と一緒にがんばってください。少しでもたくさんの人に興味を持ってもらうため、ごみと生きものをテーマにして活動している団体が多いですが、これからも是非、こどもエコクラブの活動でも頑張ってください。



青葉台児童クラブのみなさんへ

師範から一言一

3Rについて学んで、体験して、気が付があったことが新聞から伝わってきました。3Rは書いてくれたように、リデュース、リユース、リサイクルのことですが、聞いたことがある言葉はありましたか？

「エコキャップ運動」は学校やスーパーで集めているところがありますが、個人でもできるリサイクルですね。そして、モノをつくる会社では、リサイクルできるような工夫をしていることが東芝キャリアの見学で分かったと思います。

東芝キャリアの見学ではビオトープで自然観察をして、バッタやトンボをたくさん見つけたそうですね。バッタやトンボがそこで見ることがするのはどうしてかな？とを考えてみてください。水辺がなかったらバッタとトンボは両方いるでしょうか？昆虫を観察するときは、「何を食べるのかな？」「どこに卵を産むのかな？」等と考えてみると、なぜそこに昆虫がくらしているのか気付くと思います。

まとめに「できることからやるのが大切」と気付いてくれたことがすばらしいと思います。リデュース、リユースはそれぞれ身近な活動としてはどんなことがあるか考えてみてください。それぞれの活動に対して、できることからぜひ始めてみましょう。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★

買い物に行くときにマイバッグをもっていくことがありますか？これはどんないいことがあるでしょうか？ECO 活動にはいろいろな考えがあってもいいので考えてみましょう。スーパーのビニール袋を家ですててしまったら、ビニール袋をもらわなければリデュースになりそうです。またビニール袋をつくるためのエネルギーの節約にもつながるかもしれません。

割りばしについてはどうでしょう。割りばしは使ってすてしてしまうのでゴミがふえてしまいますが、日本の森林の木が利用できれば良いこともありそうです。



丘ガキ大将クラブのみなさんへ

師範から一言！

実際にクワガタを育てることですべてのことがわかったと思います。「こうしたほうがいい」「こうじゃだめだ」など、生きものを飼うということはわからないことの連続だったのではないのでしょうか。わからないことがわかるようになる、これが勉強ですね。みなさんはとてもいい勉強をしたと思います。これからいろいろな生きものを大切に飼ってみてくださいね。

とっておきのゴシドウ★

みなさんはニジイロクワガタについてたくさん勉強したので、もう何を聞いてもすぐに答えられるほどの知識があるのではないですか？ 読んでいる人の中にはニジイロクワガタのことをあまりよく知らない人もいるかもしれません。なので、新聞の目立つところにニジイロクワガタという生きものの紹介を書いてみましょう。何を食べているのか、生きていくのに何が必要か、だからこういうところにすんでいる、というような情報があると、読む人にニジイロクワガタのことがしっかりと伝わると思います。



裾野チアーズクラブ①の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言――

備長炭電池作りとはおもしろい体験をしましたね。電池のつくり方をイラストで描いてくれたのでとても分かりやすいです。「手でぎゅっとにぎる」というコツもやってみようと思う人の参考になります。

備長炭が電池になるしくみは、むずかしかったかもしれませんが、タイトルにある“植物の力”を感じたことでしょう。備長炭はウバメガシという木から作られますが、ウバメガシは見たことがありますか？生垣として使われることも多く、神奈川県や都内では街路樹(がいろじゅ)や公園内でもよくみかけるので、みなさんの近くにもあると思います。成長がおそいので木はとても固く、白炭にすると電気をよく通してくれます。

水こうさいばいで作ったやさいを食べた感想をきょうみぶかく読みました。みずみずしいイメージですね。水こうさいばいの場合は、やさいの根はいつも水を吸い上げることができますが、土の場合は根が土のつぶの間にある水を吸い上げています。

植物は太陽の光や水をつかってぐんぐんと成長するので、それだけでも植物のパワーを感じます。生活には多くの植物がかかわっているのです、これからも身近な植物にきょうみを持っていろいろな発見をしてください。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

野菜につくアブラムシ対策としてテントウムシをハウスにいらしているのですね。農業では昆虫が多くかつやくしています。今回のような害虫退治の他に、ミツバチなどによる花の受粉です。一方でセイヨウオオマルハナバチのように、人間が受粉のために外国からつれてきたのに今では逃げ出して野外でふえてしまい、悪モノになっているかわいそうな昆虫もいます。外国からではなくてもその地域にもともといない生き物も同じような可能性があります。地域の自然にあった昆虫がかつやくしてくれるといいですね。

裾野チアーズクラブ②の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言――

写真やイラストを使って楽しく分かりやすい新聞になっています。

野菜の皮もすてないで食べると栄養もとれて、ゴミもでないのでもいいことがたくさんありますね。スイカのあさづけは食べたことはありません。写真をみると食べたくなってきました。大根のつけ物などは皮ごとカットしてあるものがあるので、昔は皮をむかないで食べていた野菜も多かったのではないかと思います。なぜ、皮をむくようになったのでしょうか？調べてみて、分かったら教えてください。

牛ふん堆肥を作っているところを見学できたのは、とてもいい体験だと思います。搬入して間もない牛ふんと、堆肥となった牛ふんをりょうほう見ることができましたか？機会があれば、においをかいだり、さわったりしてどのような匂いがあるか調べてみましょう。五感を使った経験をたくさんしてください。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

牛ふんには消化されていない植物もはいっていますが、牛ふんを堆肥にしてくれるのは、「びせいぶつ」の力です。びせいぶつが牛ふんを発酵(はっこう)させて堆肥にしてくれますが、びせいぶつが呼吸をするための空気をかくはんしておくっています。

生ゴミからもびせいぶつの力を使って、堆肥がつかれますので、どのように作るのか？牛ふん堆肥とは何がちがうのか？など調べてみるとおもしろいですよ。野菜が元気に成長するにはどんな土や栄養がいいのでしょうか。

今川こども自然クラブのみなさんへ

師範から一言！

全体を見たとき、まず目についたのが色づかいの鮮やかさ。里山を舞台にさまざまな活動をされたようですね。人々の生活とともにあった里山、そこでの活動を行うことによって、里山の大切さに皆さんも気づいたことかと思います。皆さんの新聞では活動ごとにわかりやすい見出しがついているので、とても読みやすい新聞になっています。こうしてみると里山の活動はたくさんあるのだな、あらためて思ったものでした。

とっておきのゴシドウ★

みなさんの身近にある「里山」とはどのようなものでしょうか？ 川もありますね。田んぼも、森もありますね。皆さんの里山は「どのような歴史」があって、現在は「どうなっているのか」、そして「それはどうしてか」といった説明が書かれていると、よりいっそう子の里山について読む人が興味を持ってくれると思います。



愛知県半田市 半田こどもエコクラブ

壁新聞のタイトル: 23-01

半田こどもエコクラブのみなさんへ

師範から一言一

みんなはいろんなことにチャレンジしてますね。

カヌーやデイキャンプ、化石をさがしたり、トビハゼをつかまえてほうりゅうしたり、木を切ったり、イベントに参加したりと楽しかったでしょうね。

川や森にもよく行きますが、魚や貝や水草を見つけたり鳥のなき声を聞いたり、おちばや木の実をさがしたり、虫や生きものを探したりと楽しいことがいっぱいです。

みなも見つけたものを写真にとったり、絵をかいたり、名前をしらべたりといろんなことを
してみてください。

続けて調べているとふえている生き物やへっている生き物のことがわかるかもしれません。
もっともっと楽しい自然の探検ができると思います。

また、わかったことや見つけたこと、むずかしかったことを壁新聞で教えてください。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

壁新聞は全国のこどもエコクラブのみんなやサポーターさんが見るので、全国の人がみて、いつごろに知多のどんなところに行ったのか、わかるように壁新聞をつくったらもっと良いと思います。

むずかしかったことはなかったですか？カヌーはこわくなかったですか？おじさんもカヌーやボートにのりますが、最初はとてもこわかったです。



☆☆サポーターへのゴシドゥ☆☆

キャンプや野外活動は、「来たときよりも美しく」「安全に自然に優しく」など大原則があります。小さな時からしっかり注意して、自然の中で遊ぶルールをしっかり教えてあげてほしいと思います。

自然体験学習や自然観察会も楽しく安全にが一番大事だと思いますが、子どもたちが調べたり記録することを体験で来たらますます素晴らしい活動になると思います。サポーターの皆さんも準備や運営、普段のお世話にご苦労されていることでしょう。これからも、子ども達とエコ活動、こどもエコクラブを楽しんでください。

ゴーウィングスのみなさんへ
師範から一言――

みんなはいろんなことをしらべましたね。むずかしいこともがんばってしらべたんですね。
よく見ると、壁新聞が「すごろく」になっているのですね。よく思いつきましたね。
そのすごろくが循環していて終わりが無いのも良く考えましたね。
「水新聞」は大事なことがわかります。水が旅をしながら何回も何回も回り続けていることが
学べて良いと思います。よごと結局、じぶんにもどってくるのです。
また、わかったことや見つけたことを「水新聞」で教えてください。
全国のこどもエコクラブのみんなが見て勉強してくれるからまたがんばってかいてください。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
壁新聞は全国のこどもエコクラブのみんなやサポーターさんが見るので、みんなが作ってく
れたように全国の人がみてあそびたくなる壁新聞ができればいいですね。
むずかしかったことはなかったですか？
「奈佐の浜」でゴミ拾いをしてみたいですが、木祖村にはなかったですか？
ペットボトル以外はどんなゴミが多くて、どこから流れて来ているかすこしでもわかったら、水が汚れることをふせぐことができる
かもしれません。みんなも見つけたものを写真にとったり、絵をかいいたり、名前をしらべたりといろんなことをしてみてください。

☆☆サポーターへのゴシドウ☆☆
面白い壁新聞だと思います。
どんなゴミ拾いをしたら是非ともペットボトルのほかにどんなゴミが多かったとか、対策に参考になることも是非チャレンジして
頂けたら、全国のこどもエコクラブのみんなに参考になると思います。
サポーターの皆さんも準備や運営、普段のお世話にご苦労されていることでしょう。
これからも、子ども達とエコ活動、こどもエコクラブを楽しんでください。

豊明エコキッズのみなさんへ
師範から一言！

豊明エコキッズのみなさん、こんにちは。
一年間でとてもたくさんの活動をしたのですね。かべ新聞から、みなさんがとても楽しんで
取り組んでいることが分かりました。
今回のかべ新聞は「エコかるた風」に作ったのですね。見る人に楽しく、分かりやすく書か
れているので、ナイスアイデアだと思いました♪また、感想の中から、活動を通して多くの
発見があったことが分かります。きっと自然や生きもの、環境問題について興味を持つき
かけになったことと思います。
私はいま、東京の施設で環境問題について子ども相手にミニプログラムを実施したり、展
示を作ったりしています。それを通して思うのは、“一般の方には、まだまだ環境問題が浸
透していない”ということです。ニュースなどで時々地球温暖化などについて取り上げられ
ることはありますが、省エネに取り組んでいる人は残念ながら少ないのが現状です。
なので、豊明エコキッズのみなさんには、たくさんの活動を通して学んだことをどんどん周りの人に広めていってほしいな、と思います。
まずは家族や友達に自然はこんなに素晴らしいんだよ、楽しいんだよ、ということを教えてあげてください^^
これからもぜひ、いろいろな活動に取り組んでくださいね。



とっておきのゴシドウ★
かべ新聞の作成お疲れさまでした。いろいろなかべ新聞の形がありますが、エコかるた風はとても良いアイデアだと思いました。省
エネはやらなくてはならない取り組みですが、「面倒くさいな」「大変そうだな」と思うってしまう部分もあります。そのネガティブなイメージ
を無くすためにも、かべ新聞を読む人のことが考えられていて、すばらしいと思います。
さらに、今のかべ新聞に加えて、読んだ人がすぐ行動に移せる内容が書いてあるとより良くなると思いました。
例えば、「廃油石鹸はこんなメリットがある。〇〇で買うことが出来るので使ってみてね。」や「廃油石鹸の作り方を書いてみる」など
です。せつかく、かべ新聞を作るなら、より多くの人を実行に移せるものだと良いな、と思ったので、ぜひ次回作るときはそんなことも考
えながらまとめてみてください♪むずかしいときは、親に伝える時にはどうしたらいいか、友達に伝える時にはどうしたらいいか、など
をグループで話し合ってみると良いかもしれません。

なひがんばる隊のみなさんへ

師範から一言！

『森づくり』という壁新聞のタイトルがとてもすてきです！！「苗木の植え方」、「森林のイベントから学んだこと」、「これからどうすればよいか」、「たくさん木を使うには」、「クイズ」、「まとめ」、「スタッフから説明」「最優秀賞と入選の写真作品」のそれぞれの記事(きじ)をとてもこまかくていねいに小学校2年生のたった二人で作ったということが信じられないくらいすばらしい壁新聞です！！

二人で三重県大台町の植樹(しょくじゅ)にさんかして、このようにくわしくえやしゃしんでせつめいしてくれたので、この壁新聞を読んだおともだちにもとてもよくわかると思います。木がちきゅうおんだん化にわるい二酸化炭素をすってくれる、山をきちんとそだてなかったために、大雨で山がくずれてその下にあった家や人がなくなったというとてもたいせつな「木や森のはたらき」について学んだことはだいしゅうかくだったと思います。

平成29年7月26日と27日に「学校の森・子どもサミット夏大会が三重県大台町であったようですね。「森の健康診断(けんこうしんだん)体験活動(たいけんかつどう)、大杉谷自然学校での夕食づくり、木のはがき作り、グループでじしょうかいをしたあとハイタッチをするという「あいさつタッチのたび」などでたくさんのこどもたちがなかよくなり、たのしい二日をすごしたようですね。



とっておきのゴシドウ★

木はちきゅうおんだん化にわるい二酸化炭素をすってくれるだけでなく、すべての生き物にとってとてもたいせつなさんそ(くうき)も作ってくれます。

森づくり活動で、森の三つのとてもたいせつなはたらきである「二酸化炭素をすってさんそをつくる」、「緑のダムとして地下水をため、やまくずれをふせぐ」そして「森の中の生き物は食べるものと食べられるもののつながりからできているという食物連鎖(しょくもつれんさ)」のことを学ぶと、しぜんや森のことにもっときょうみがわいてくると思うよ。次回の壁新聞を楽しみにまっているよ！！

四日市尾平イオンチアーズクラブのみなさんへ

師範から一言！

四日市尾平イオンチアーズクラブのみなさん、こんにちは！北海道の香りがプンプンといっぱい匂ってくる新聞でした。北海道と言えば、やっぱりアイヌ、エゾシカ、牛、とうきび、アイスクリーム、大雪です。そして大きな自然ですね。そんなことを経験してビックリし、感動したことを書いてくれました。

四日市尾平イオンチアーズクラブのみんなは、全国大会に参加する時に3つの目標をはっきりと持って参加しました。活動に参加して楽しむのは、もちろん、それ以外に一つで良いから、活動に参加して何か、「これを見つけない」「あのことを考えてみたい」「これはどうしてだろうという発見をしたい」などなど目標を持って参加することが、3つの目標を見ると、みんなにはすでに身についているような気がしました。

北海道には、カブト虫は本来いない、ビックリですね。でもどうしていないのだろうか？何か気がつきましたか？アイヌは動物を神様と思っていた。どうしてか？分かりましたね。エゾシカがふえすぎたことも、なぜか分かりましたね。北海道の動物の名前には、エゾがつくものが多い、なぜか分かりましたね。とびらが2階にあるのは、どうしてだろうか？家の横にある白い箱みたいなものは何だろう？北海道ならではのことだと分かりましたね。みんなは、新しく見つけたものでびっくりする、そうか！だけでなく、なぜそうになっているのか？を考える習慣ができているようで、すばらしいです。

酪農体験で乳しぼりの体験をしたが、意外とむずかしかったようで、ミルクが出なかったのですね。牛小屋はくさかった、角は手入れが大切だ、などなどいろいろと貴重な体験をしました。毎日、みんなも牛乳を飲んでいだろうけれど、今回の体験から牛乳を飲むときに牛を飼育している人の大変さを思い出して、牛乳を残さず飲むようになるでしょう。

みんなの壁新聞発表に対して、いろいろな質問、疑問、コメントが出ていますね。逆にみんなは他のクラブの壁新聞の発表を聞いたのでしょうか。今回の全国大会参加の目標の一つであった、「それいただき！」は何かありましたか？

写真を見るとみんな楽しんでいるようすがはっきりと分かります。北海道まで行った良さがあふれています。よかったですね！！

三重県四日市市 四日市尾平イオンチアーズクラブ 壁新聞のタイトル:イオンチアーズクラブ全国大会 in 北海道

とっておきのゴシドウ★

エゾシカの角でストラップを作ったのですね。北海道記念のいいお土産になりましたね。エゾシカの角は毎年生え変わるのですから、山の中にでも落ちているのですかね？感想としてとっても大事なことに気付きましたね。動物をたいせつにする、大事にするということは、何なのだろうか？動物をころすのはかわいそうだと言う人もたくさんいます。そうだろうか？この答えは、実はみんなが激論をかわした最後のまとめに書いてありますね。あとでもう一度、考えてみましょう。

人と動物は別々に暮らした方がいいのか？賛成派と反対派の激論があったようです。とってもすばらしい意見が出たようです。もっともっといろいろな意見が出たのだと思いますが、書ききれないのでいくつかにしぼって、大事なことをだけ書いたのですね。

結論は、人といっしょに暮らした方がいい動物と別々に暮らした方がいい動物がいることが分かったのです。とても良い結論だと思います。結論以上にすばらしいことは、こういうことについてちゃんと考えてみようということで、意見交換をしたことがすばらしいと思います。

日本人はどうも〇×に決めてしまわないとすっきりしないと、いやがる傾向があるみたいです。世の中のことは〇×だけでは決められないことも多いです。ですから話し合い、意見交換して、誰かが〇×を決めるのではなくて、最後は自分はどうするかを判断することだと思います。判断する時に重要なことは何だろうか？決める、判断する考えの基準がひとつですね。次回までに基準を考えることの重要性を考えてみましょう。



三重県四日市市 海蔵しぜんクラブ

壁新聞のタイトル:①少年自然の家 新聞②海蔵川の生きもの調査 新聞

24-03 24-04(全2枚)

海蔵しぜんクラブ①の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！

「少年自然の家新聞」を作ってくれてありがとう！！それぞれの写真にみなさんの活動のかんそうが書かれているので、とてもわかりやすいすばらしい壁新聞です！！

少年自然の家までの上りと下りと歩いて、とちゅうのけしきはどうかだったかな、生き物の発見などがあったかな。バードコールはどんな音がしたかな。木の種類によって音がちがってくるよね。

カヤックをこぐ時に前にすすんだり、後ろにすすんだり、スピードが出たり出なかったりで、難しかったと思います。里山を守る活動でたくさんの枝を切ったね。これらの枝は飯ごう炊飯につかったのかな。ノコギリの使い方はむずかしかったかな。でも里山せいびで木を切ったことで林の中が明るくなって虫や植物たち気持ちよくらせるようになって、さらに里山の木がのびのび大きく成長するので、みなさんのがんばりで里山がとてもけんこうになったと思います。おつれさまでした！！

とっておきのゴシドウ★

次回の壁新聞では少年自然の家の里山はどのようなところで、どのように里山せいびをしたか、またこの里山にどのような植物や虫がいたかななどの記事(きじ)にしたら、さらにみりよくてきなようにと思います。楽しみにまっているよ！！



海蔵しぜんクラブ②の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！

海蔵川で観察された生き物を調査日ごとに写真や絵で魚、エビ・カニ・貝、そして昆虫に分けて「海蔵川生き物調査新聞」をとてもくわしくていねいに作ってくれてありがとう！

「調査のようす」や「みんなの感想」「カダヤシとメダカの違い」もひじょうにうまくわかりやすく書かれていて、とてもすばらしい壁新聞です！！何か水生生物図鑑を見ているような気分になり、ぜひ一度これだけいろいろな多くの種類の水生生物がいる海蔵川に行きたくなりました。

この壁新聞を読んだお友だちもきくと勉強になったと思います。このような自然ゆたかなそしてきれいな海蔵川にすてられたゴミをひろうこともとてもりっぱな環境エコ活動なので、これからも続けてほしいな。

メダカとカダヤシのその他の違いは、メダカが卵をうみますが、カダヤシは体内で卵をふ化させるため、子どもをうみます。みんなの感想によれば、海蔵川でのいろいろな発見があり、一人一人がとても楽しくきょうな体験ができてよかったね。

とっておきのゴシドウ★

いろいろなことを教えていただいた先生やサポーターのみなさんへのかんしゃの気持ちを忘れないようにしてくださいね。

このようなりっぱな生き物調査は定期的につづけることが大切なので、この調査のけっかをきちんと記録としてのこして、つぎのお友だちにひきついでほしいと思います。



梅村学園 三重中学校・三重高等学校 科学技術部のみなさんへ
師範から一言！

干潟の調査を 2011 年から継続しているとのこと。調査を続けていると、いろいろなことがあったでしょうが、それもいい経験だと思います。私の住む東京には「東京湾」がありますが埋め立て等により干潟は激減し、干潟をぴょんぴょん跳ねている「トビハゼ」の姿もなかなか見られなくなったと言われています。

トビハゼも干潟があれば普通に見られる魚です。普通の生き物が、普通に暮らしていける、そんな当たり前の自然環境が大切ですね。
このような調査の結果は図にすればとても簡単ですが、データを集めるにはたいへんな努力と苦労があったことと思います。今後も継続して調査を続けていかれることを期待しています。

とっておきのゴシドウ★

調査の結果、松名瀬干潟に生息する生物の増減がわかったことと思います。このような地道な調査は後々貴重なデータになりますので記録をとっておくことはとても重要に感じます。ただ、読む人のことを考えると、この生物がいるのはなぜ？ この生物が増えたのは環境がよくなった？ それとも悪化した？ 等わかりにくい面もありますので、それぞれの生物についての簡単な説明があるとさらに内容の濃い新聞になると考えます。
また水辺の活動はとても楽しいものですが、一方で危険が伴います。たとえば水深の浅い場所でも「ライフジャケット」の使用など安全面には十分な注意を払い、今後もこのような意義のある調査を続けていってもらえたらと思っています。



三重県明和町 明和イオンチアーズクラブ
壁新聞のタイトル:①生き物♡ありがとう②ザ♡松阪牛

24-06 24-07(全2枚)

明和イオンチアーズクラブ①の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！

まず全体を観た時に「どんなことが書いてあるのかな？読んでみたいな」と思わせる壁新聞だと思いました。本当の新聞のように、見出しがあって、それもはっきり書いてあるので、そうゆう気分になるのだと思います。また、全体のバランスがとても良いと感じました。写真がたくさん、ということでもなく、写真・絵・文字(記事)のそれぞれの良さを活かす使い方だと感じました。みんなでじっくり相談して壁新聞を作ることができたのだと思います。

田植えと稲刈りをして、田んぼにはたくさんの生き物がいることがわかったことがよく伝わります。また、台風で稲が倒れないように応援したり、カエルのたまごを心配したりして、みなさんが生き物は大切な仲間であると感じたこともよくわかります。明和町のカラスはごみをあらさなくても、田んぼでエサが見つかる、というのはすばらしい発見だと思いました。普段の活動で「気づく」力が磨かれていると思います。

とっておきのゴシドウ★

一言の方で、壁新聞のバランスが良いと書きましたが、活動全体もバランスがとてもいいと思います。体験だけでなく、パワーポイントでの学習もあり、体験と知識のバランスがあって、効果的だと思います。また、地域の方に支えられて活動していることを子どもたちもよく理解して、感謝していることもわかります。これからもぜひ続けて下さい。



明和イオンチアーズクラブ②の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！

こちらも読むのにわくわくするような壁新聞ですね。みなさんの地元の誇りともいえる松阪牛について、学んだことがたくさん書いてあって、とても勉強になりました。実際に牛舎を観たり、役場の方にお話を聞いたり、みなさんにしか書けない記事がいっぱいですね。大袈裟に言うところ「世界で一枚だけの壁新聞」くらいの魅力があると感じました。

牛の写真をみると、かわいいと感じますが、食べると考えると複雑な気持ちもしますね。食べ物をいただく時は、いつも感謝していますが、壁新聞を読んで改めてそれが大事だと思いました。

蚊取り器についての実験は面白いですね。これは、どんな仕組みで蚊が集まるのでしょうか？うまいかなかった理由も考えて、次に活かそうとしているのもいいですね。来年の壁新聞や活動レポートでの報告を期待しています。

とっておきのゴシドウ★

一つひとつの記事がとてもいいに書かれていると思います。普段から活動後にしっかりふりかえりをして、きちんと記録を書いているのではないかと思います。ぜひこれからも続けて下さい。明和イオンチアーズクラブならではのすばらしい壁新聞、今後も期待しています。



TANAKAMI こども環境クラブのみなさんへ
師範から一言――

これはすごい！こんなに生き物がたくさんの壁新聞は、初めて見ました。写真やイラストがたくさんで、圧巻です。田上山や天神川には、とてもたくさんの植物・昆虫・動物がいることが良くわかります。一年間で、何回ぐらい調査をしたのかな？ きっと何回もしたのでしょね。また、メダカ池やエメラルド池ではプランクトン調べの結果もまとめてくれてます。イラストがとても良いですね！ 目には見えない小さな生き物たち、どうやって調べたのかな？ いろんな道具を使ったのでしょね。天神川の植生図も、まとめるのに大変だったでしょう。みなさんの調査力が良くわかるステキな新聞です。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★
シカとイノシシのところに書いてある「足あと」、きっと何かの発見があったのだと思うのですが、説明が書いてあるといいなあと思いました。ぜひ知りたいです。
他に、もし次に壁新聞を作る時に、スペースがあったら、調査をしたときに苦労したことや、嬉しかったこと、こんな発見をしたなど、感想も含めて書いてあってもステキですね。どんな道具を使って、どんなことに気を付けて観察すると上手にできるのか、みなさんの調査力についても知りたいです。
これからも調査を続けてほしいなあと思います。そして、「まえの調査から変わってきたみたい」という変化があれば、ぜひ教えてくださいね！



瀬田北中学校科学部のみなさんへ
師範から一言！

壁新聞というよりレポートを4枚張り合わせたような配置になりましたね。残念なところは壁新聞のタイトルが応募用紙にはあるのに、肝心(かんじん)の壁新聞には書かれていないことです。忘れたのでしょうか？
また、壁新聞の文字が全部ワープロ文字ですね。写真の説明もまとめて書くのではなく、写真にもっと近い場所に簡潔に書いてはいかがでしょうか？二つの残念を先に指摘(してき)しましたが、それ以外は大見出し、小見出しなどの配置・色彩(しきさい)や文面など、とても洗練されて完成しています。これは申し分ないと思います。他には花壇(かだん)のコンクールなど他にはない企画でうれしく思いました。

とっておきのゴシンドウ★
長沢川の水質調査を春と秋に実施(じっし)しているとのことで、CODとPO4は目安の範囲内(はんいない)だったが、NH4とNO3は目安の範囲外(はんいがい)になったとコメントしています。これらの成分は、人間の活動や人間以外の環境に生きている生物などの影響(えいきょう)を受けて季節だけでなく、時間帯でも大きく変動しやすい項目ですので、さかのぼって最大値や最小値がどのくらいの幅(はば)に入るのか、通常の濃度(のうど)のゆらぎがどのくらいか、その評価には注意が必要です。「キラッとキレイ大作戦」が今後も活発になることを願っています。



しが kids エコクラブのみなさんへ
師範から一言！

しが kids エコクラブのみんな、こんにちは！みんなのかべしんぶんは、かつどうしたことや気づいたこと、かんがえたことが、とってもわかりやすかったよ、すばらしいです。
このかべしんぶんで見つかった、すごいなとおもったことがありました。
それは、ごみひろいきょうそうが、一番たのしいかつどうだということです。ごみひろいは、まちがきれいになり、きもちがよいものですね。でもおとながすてたばこのごみが多いですね。ごみひろいをやっているみんなは、これからはじぶんはすてないよ！とけっしんしますが、たばこはどうしようもないですね。でも、サポーターの人がくふうをしたのしいごみひろいにしました。たとえば、ごみのしゅるいでんすうをつけて、とくてんの高いチームがゆうしょうなんて、楽しいゲームですね。
ごみひろいをしているときに見つけたことも書くようにしたのも、とってもすばらしくうふうになっています。きのこやへびのぬけがら、ちょうちょ、とんぼのかおにっているはなもみつけました。ごみだけでなく、いきものもみつけるようにしたのは、うまいふうだと思いました。みんながしぜんかんさつでいつもやっていることですね。たばこはみぞにたくさんおちていました。小さい川やいけのはしっこにもよくおちていたのですね。たばこをすてる人は、火をけそうとするきもちがあるので、水のあるところにおとすのでしょうね。こんなことにも気づきましたね。おもちゃやびいだま、おかしのふくろは、こどもたちがすてたのでしょう。しが kids エコクラブのみんなは、すてないよね。ほかの人にもおしえてあげたいですね。
かだんの手入れもやったのですね。えらいなー！チューリップのきゅうこんもうえたのですね。なにいろのはながさくのかな？たのしみですね。花のプレートもつくって、はなのしょうかいもしているので、かだんにきた人たちによるこぼれるでしょう。
たんぼぼかんさつもすごいなー！花びらのうらがわをよくみて、にほんたんぼぼとせいようたんぼぼのちがいをしらべたのですね。さいきんは、せいようたんぼぼがいっぱいになってきました。みんながすんでいるわに川のどては、にほんたんぼぼがたくさんはえているようですね。せいようたんぼぼにまけないようにがんばってくれるといいですねー。



とっておきのゴシドウ★

いつもミーティングをしている池がきたないので、どんな池がいいか、絵にかいてくれました。さかながいっぱいの池がいい！ホテルがいて、みずくさがきれいいにはえてる池がいい！水があおあおとしている池がいい！池のまわりにも木があったほうがいいなー！みんなの気もちがよくわかりました。このかべしんぶんは、みんなの字で書いてくれました。うれしいです。そしてやしんもいっぱいいてくれたので、かつどうがよくわかりましたが、川からごみをとっているやしんは、ちょっとこわいなーとかんじました。おちないようにしてね。あぶない！あぶない！このつぎのかべしんぶんは、どんなかつどうのようすや、けっかを書いてくれるのか？たのしみにしています。

ぼてじゃこワンパク塾のみなさんへ
師範から一言――

新聞のあちらこちらに泳ぐ魚たちのイラスト、それぞれの魚の特徴を捉えており、どれも時間をかけて書いてくれたものだとよく分かります。また、写真や説明から、ぼてじゃこわんぱく塾の活動が1年間を通じて行われていること、子ども達がいろいろな活動を体験していることも分かる新聞です。メンバーのみんなはさぞ琵琶湖や地域に住む魚たちに詳しくなったことでしょう。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
みんなの活動場所には、いろいろな生き物が一緒に住んでいることは、新聞から分かります。しかし、滋賀県のお隣の京都に住んでいる私でも、残念ながら滋賀県にそこまで詳しくないので、永源寺や宮ヶ浜が滋賀県のどこにあるのか分かりませんし、魚や淡水の生態系にそれほど詳しくないので、イラストの魚が、どの場所に住んでいるのかも分かりません。全国のお友だちに読んでもらうための新聞なので、地図などもう少し詳しい説明があると助かるなあ、と感じました。
また、それぞれの活動について、みんながどんなことを感じたか「生の声」を聞いてみたいなあ。これらの活動を通じて、発見したこと、気づいたことなど、次回新聞をつくるときは、ぜひ記事として書いてください。



滋賀短Kidsのみなさんへ
師範から一言――

食べ物がいっぱい、こんなに美味しそうな壁新聞は初めてです！
みなさんは、たくさんの料理に挑戦したのですね。料理だけでなく、畑で野菜を作ったり、漁師さんにびわ湖の魚をもらったり、三ツ葉やよもぎを探したり、たけのこを掘ったりと、食材そのものについてもいろんなことを知りましたね。
見て、においをかいで、触って、味わってと、料理を通じて感覚をいっぱい使ったステキな活動ですね。

とっておきのゴンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
伝統食作りを通じて地域の文化を知ったり、地域の食材を通じて地域の自然を知ったりと、広がりを感じるステキな活動です。ぜひ続けて広めていってほしいと思います。
お家でもお料理に挑戦してみてくださいね！
せっかくなので、「地産旬食」は温暖化防止にもつながっていることを知ってもらえたらなあと思います。
「地産地消」＝地元で採れた食べ物を地元で食べることは、遠くから食べ物を運んでくることに比べて輸送エネルギーが少なく済むので、ガソリンから出る二酸化炭素も少なく済み、温暖化防止につながります。フードマイレージという言葉がありますので、一度調べてみてください。また、旬の食材を使うことも温暖化防止に関係があります。旬でないときにお店で売っているお野菜は、ビニールハウスで作られていることもあり、お野菜を育てるためにエネルギーを使っています。
すでに地産旬食をばっちり実践されている活動ですので、実は温暖化防止の活動にもなっているんです！ぜひ、周りの人にもこのことを教えてあげてくださいね。



湯田小学校 6年生のみなさんへ
師範から一言！

昔の地域の様子を調べるために、いろいろな取り組みを行いましたね。地域を歩いて発見したことや、年配の方からお話を聞いて、初めて知ることもあったのではないのでしょうか。庭に植えられた木が、防風林の役割をしていたり、川底が見えないくらい魚がいたり、自然の中で人も暮らしていたことがよくわかります。
絵地図はとてもくわしく描かれていますね。自分が今、住んでいる場所や学校がある場所もどこかわかると、違いがわかって面白いですね。この地図はどのようにして描いていったのでしょうか？地域の方に昔の様子を聞きながら、みなさんで分担して描いていったのでしょうか？作り方の説明があると、他のクラブにも参考になって良いと思いました。

とっておきのゴンドウ★
心に残るにおいや風景は何か、の質問はそこから発展させることができる、とてもいい質問だと思いました。みなさんの「心に残るにおいや風景」は何ですか？昔の子どもたちの答えと、自分たちの答えを比べてみましょう。同じものがあれば、それは昔からずっと地域で大切にされてきたものなのだと思います。昔の子どもたちの想いと、今の子どもたちであるみなさんの想いを合わせて、これからも大切にしていってほしいと思います。



NPO 法人子どもネットワークセンター天気村 こんぺいとうクラブのみなさんへ
師範から一言！

沖島宝探しの旅の壁新聞、とても楽しく読ませていただきました。なぜなら、私も沖島に行ったことがあるからです！みなさんは6回も訪問しているんですね。島のみなさんとも仲良くなれて、良かったですね。学校に通っている子が15人、というのは意外でした。私が訪ねた頃は、もっと少ないと思ったので…。淡水湖の島に人が住んでいるのは、世界的にも珍しいと聞いたことがあります。そもそも琵琶湖に島があることを知らない人も多いので、この壁新聞を読んで知ってもらえるといいですね。漁業を行うのに、準備がかかせないというのは、何事にも通じることで、とても大事なことに気づいたと思います。



とっておきのゴシドウ★

島というのは、持続可能な暮らしを考えるヒントがたくさんある、と私も思います。沖島の人を使う水や電気はどこから来るのでしょうか？また、沖島の人が出すごみは、どこに持っていくのでしょうか？沖島の人の暮らしと、みなさんの住む草津市での暮らしは、違うように見えるかもしれません。でも日本も島国ですし、地球そのものが宇宙に浮かぶ島のようなものと言えます。そういった視点で、沖島の暮らしを調べてみたり、草津市の暮らしと比べてみたりするといいと思います。

滋賀県草津市 滋賀の郷土料理学習実行委員会
壁新聞のタイトル: 滋賀の郷土料理博物館

25-08、25-13(遅れて届くので番号とびます！)

滋賀の郷土料理学習実行委員会①の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言――

滋賀県の郷土料理を中心に活動していることがよく分かる新聞です。黒板に書かれたような新聞の作り方は、読む人の注目を集めるのに大変効果的です。そして、それぞれの見出しが工夫されていて、どんな内容なのかな、と読む人の興味を引き出しています。たとえば、ふなずしアイスのコラム。これなんか、ふなずしとアイスのあまりにも違う組み合わせに、どんな味だったのか気になります。みなさんの活動のいいところは、いろいろな専門家や地元の人たちと協力して滋賀県の郷土食について学んだだけでなく、料理教室を開いたり博物館を開いたりすることで、学んだことを他の人たちに伝えているところです。写真にあるように、こんなにたくさんの郷土料理があるんですね。今度滋賀県に行ったときに、ぜひ郷土料理を食べてみたいなあと思います。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★

今回の壁新聞は、いろいろな活動を簡単に紹介していますが、クラブとしての一押し郷土料理を選び、その郷土料理の作り方を詳しく教えてくれる、という新聞も良いのでは、と思います。また、いろいろな郷土料理を食べているので、その感想もぜひ聞きたいです。郷土料理、それぞれおいしいと思いますが、小学生の年齢では、ふなずしなどは意見が分かれる気がします。それから、みんなが実際に体験したり、食べたりしているので、みんながどう感じたか感想が書いてあるのもとても良かったのにな、と感じました。新聞の作り方については、なにも言うことがありません。これからも、「これおもしろそうな新聞だな」と目を引く新聞を作り続けて下さい。



滋賀の郷土料理学習実行委員会②の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言――

滋賀県の郷土料理として「ふなずし」はとても有名ですが、実際に食べたり作ったりした人はそんなに多くないでしょう。私もふなずしは知っていますが、臭いがすごいと聞いたことがあり、まだ食べたことのない料理のひとつです。そのふなずしについてみなさんが詳しく調べたり、作ったりした活動について報告されているので、興味深く読ませてもらいました。とりわけ、ふなずしの効用について知ると、体によいふなずしを一度食べてみなくっちゃ、という気持ちにさせられます。今度滋賀県に行った時は、ふなずし、挑戦してみます。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

「ふなずし」にテーマを絞って作られた壁新聞。とてもよくできていると思います。6コママンガについては、とてもいいアイデアだけど、何を伝えたかったのか、ちょっと分かりにくかったかな。それから、活動を通じて、みなさんが、「ふなずし」についてどんな感想を持ったか、作ってみてどう感じたか、などのみんなの声も新聞に書いてくれるとうれしいです。昔からある郷土食をみんながどんな風にこれから受け入れていくのか、そのあたりも気になります。



なかす野洲たんけん隊のみなさんへ

師範から一言！

4つの食べ物と4つの紙芝居(かいしばい)がこの壁新聞のポイントです。

特に食べ物を地域の自然に求めたところが面白いと感じました。中央の円形の写真に子供たちとスタッフの笑顔が見えますね。このような笑顔がみんなをまた笑顔にしてくれます。

応募(おうぼ)用紙にある活動の進め方を読むと、1年間は地域の大人からの聞き取り調査を丹念(たんねん)に実施(じっし)しているところがすばらしいと思いました。調べて考えてその結果を食べ物というまとまったテーマで展開するという手法は、12人の6年生が考えたとなると、すばらしいことですね。サポーターのコメントにあるように、ふるさとの川で遊び、学び、育つ環境づくりが行政にも市民にも共通の願いになっているからだと思いました。今後とも休まずに子供たちに伝統的な活動になるよう続けることを願っています。

とっておきのゴシンドウ★

黒バックの欠点は、写真の横や下にキャプション(写真を説明する文章)を入れると、小さな白文字を書くことになり、読めなくなってしまうことがあります。そうならないためにはキャプションは白地に黒文字にするのがいいでしょう。こうすれば小ぶりの文字でも読めると思います。でも壁新聞の縁(ふち)に小さな絵を描(か)いているのを見ると子供たちがどれほど紙芝居を理解して話に因(よ)んだ絵を描(か)いてくれました。何とも楽しそうな様子がわかりますね。



下之郷遺跡キッズクラブ Go Kids のみなさんへ

師範から一言！

子供たちの活動が地域にある下之郷遺跡を中心にしながら、壁新聞の中にとってもうまく組み立てられています。

弥生(やよい)時代の人々の暮らしや、「稲作」、「土器」、「機織り」など、それぞれのテーマを「つながり」で説明していこうとする強い意識を感じました。全部の記事が黒地に白文字で作られています。少し大きな字で書いてあるため、苦労なく読むことができました。デザインでは完成度が高いと思います。これに新聞発行の日付に記載(きさい)があれば満点です。復元環濠(ふくわんわう)の底から見つかった食べ物と思われる骨や米作りの稲もみから当時の人々のくらしを想像して説明する力をすっかり身につけていることにおどろきました。ここで活動している子供たちによる子供ガイドを始めたいかがですか？きっとそのぐらいの経験と実力を持っていると思いますよ。

とっておきのゴシンドウ★

「体験水田」では、市民対象に米作りが行われていますが、これが熱帯ジャポニカを使っていると説明しています。学説では縄文(じょうもん)から弥生(やよい)時代にかけては焼き畑などの粗放(そほう)なイネ栽培(さいばい)は熱帯ジャポニカで、後に水田で栽培されたのが温帯ジャポニカと言われています。くっきりと時代と品種が区分できるとは言えませんが、このような背景も説明しておくとう理解が深まりますよ。また、「弥生の小径」では、そこに植えてあった木はなんの役にたったのか？これもよく考えてみて下さい。現代人よりも樹木との関係はとても深かったことに気がつくと思いますよ。



油日小学校エコ委員会のみなさんへ
師範から一言!

テーマは「秋の自然と遊ぼう会」で4つの活動報告が載(の)っています。具体的にはガガブタを育てるために、根を荒(あ)らすアメリカザリガニを捕(つか)まえて別の池に放流することで一つのつながりが説明できると思います。「どんぐり広場」と「葉っぱマンをさがせ」については、自然環境教育として低学年が6年生からアメリカザリガニの扱(あつか)い方を教えてもらう、「はじめてのざりがにつり」という位置づけかと思いました。とすると、低学年の観察の言葉や感動がもう少し伝わってきてもいいですね。はじめて昆虫(こんちゅう)を捕まえるときなどはドキドキするものですが、6年生とはいえ経験者がいると上手くできるものです。がんばってくださいね。

とっておきのゴシドウ★

壁新聞を横断するように書かれた「ガガブタを大切にしよう」の啓発劇(けいはつげき)のシナリオが目を引き、特に応募用紙に書いてあるガガブタが白い花をつけることやトンボが卵を産む場所になっていることを知らなければ、このシナリオがとても唐突(とうとつ)に感じられます。そこでガガブタの生態をもう少しいねいに説明して、4つの活動が自然の中で深いつながりをもっていることを理解させ、いつの間にかビオトープを中心にした自然保護活動を理解できる工夫が必要だと思います。難しいと思いますががんばってください。



多賀町アストロクラブのみなさんへ
師範から一言!

新聞名、ヘッドライン、欄外(らんがい)の新聞名、発行日をきちんと壁新聞に書いているのは珍(めづ)らしいものです。他の壁新聞にも是非(ぜひ)、まねをしていただきたいと思いました。当たり前のことをきちんとやることはとても大切なことなのです。

さて、宇宙から地球環境を考えてみようという視点は面白いと思いました。「(人類は)他の星には住めません。だから地球を大切に、環境をよくしましょう」というメッセージに僕は特別な説得力を感じました。これもすばらしい活動です。

とっておきのゴシドウ★

ここで取り上げたのは、二つの活動、つまり星空観察とごみ回収です。大きな活動テーマとはいえ、2つに絞(しぼ)っているのは成功していますね。小見出しの文字のバランス、青文字で記事を書いていねいに書いている努力に敬意を表します。また、環境美化活動では子供たちの元気に活動する姿が写真でもレポートされていて、好ましく思いました。特に町長もごみ回収パレードに参加したりで、100人近い住民が集まってみんながこの活動を支えていることがよくわかりました。これはとてもすばらしいことだと思います。



西京極児童館自然探検隊2004のみなさんへ
師範から一言――

この壁新聞では、いろいろな活動の中から4つの活動について文字を大きく書いたり、写真やクイズをつけたり工夫することで見やすくまとめることができました。また、活動で発見したことなど、周りの人に伝える活動も大事です。西京極児童館のみなさんは「こどもの水辺交流会」に参加して、活動発表をして周りの人に伝えることもできており、すばらしいです。

新聞から見ると、主に水辺の活動が多いのかな。とりわけ、みじかな川の水質調査は毎年しているのかな。いくつもの川の調査を生き物やパックテストで比べているところがとてもいいですね。もし毎年同じところで調査をしているのであれば、次の新聞では、それぞれの川の何年か分のデータを報告してみるのもおもしろいかも知れません。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
いくつもの川を調べているけど、京都に住んでいないお友だちは、それぞれの川が京都市内のどこを流れているのか分からないので、それぞれの川の位置や周りがどんなところ(街中なのか、山の中なのかなど)かも報告してくれるとよりいいかなと思います。私は京都府の南部に住んでいますが、西芳寺川など知らない川もありました。場所が分かれば、実際に見に行きたいと思います。

エコキャンプの記事では、空き缶でご飯を炊くのに興味を持ちました。空き缶1個につきお茶碗何杯くらいのご飯が炊けるのか、どんな風に炊いたのか、など具体的な方法を教えてもらいたいな。そうすれば、自分でも試してみよう、というお友だちが出てくることでしょう。



和東中学校エコクラブのみなさんへ
師範から一言――

アサギマダラという蝶をテーマに、生態調査やアサギマダラの食草であるフジバカマの栽培など興味深い取組みをうまくまとめた新聞です。さすが中学生です。飛来数や飛来してきた蝶の雄雌調査など、地道な調査に取り組んでいるのも頭が下がります。2016年の10月は、ほぼ毎日調査していて250匹近い蝶が確認できたのはすごいです。

また、マーキングにより、アサギマダラがどのくらい移動するのか調べられるのもおもしろいですね。福島でマーキングされた蝶が見つかった時のみなさんの驚きは目に浮かぶようです。そして、マーキングしている全国のみんなと情報交換をしているところも、この活動が全国で繋がっている証しです。和東でマーキングされた蝶が日本のどこで見つかるのか、見つかったのか、続報を期待します。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
アサギマダラを増やそうと、その食草のフジバカマを和東町で増やしている活動もおもしろいです。フジバカマは万葉集にも詠まれた秋の七草の一つで、京都ではだんだん数を減らしている植物です。

京都の地元テレビ局が、このフジバカマを守る運動を以前展開していました。和東でフジバカマを増やす運動は、蝶を呼ぶだけでなく、京都の植物を守り文化を伝える役割があることなど、ぜひ次号の新聞では調べて取り上げて下さい。いずれにせよ、この活動が継続的に続くことを願います。



せいわエコクラブのみなさんへ
師範から一言！

壁新聞のタイトルに「たのしもうエコ活動」とありますが、そのタイトル通り、一年間楽しく活動できた様子が伝わります。一つひとつの活動の記事が、とてもしっかり書けているので、読み応えがありました。活動したこと、感じたことがていねいに書かれていますね。いつも活動した後に、しっかりふりかえりをしているのではないかなと思います。ぜひこれからも続けて下さいね。記事の紙に色紙の台紙をつけているのも、見やすくなるよい工夫だと思います。

ゴミ分別の活動の記事で、ラムネのボトルの分別がやりにくかったとあります。私も、プラスチックと紙とくっついているもののよう、捨て方がよくわからないごみで困ったことがあります。みなさんの呼びかけで、お祭りに来た方たちにも分別の大切さが伝わったと思いますよ。

とっておきのゴシドウ★

今の壁新聞でも十分わかりやすく書かれています、クラブの自己紹介や全体のまとめがあると、読む人がもっとみなさんの活動をイメージしやすくなると思います。これからもみなさんと楽しく活動を続けていってくれることを期待しています。



大阪府大阪市 なにわこどもエコクラブ

壁新聞のタイトル: ①エコクラブ活動の様子②なにわこどもエコクラブ楽しいよ! ③なにわこどもエコクラブ新聞④こども新聞

27-02 27-03 27-04 27-05 (全4枚)

なにわこどもエコクラブ 1 班 A のみなさんへ

師範から一言！

なにわこどもエコクラブの1班Aのみなさんが、かべしんぶんを送ってくれました。天王寺動物園やじょう水じょうへ行ったこと、にこにこ農園での野菜づくりの活動を報告してくれています。なかなか時間のない中で、みんなで協力しながらかべしんぶんを作ってくれました。写真と文字と絵で、カラフルに仕上げてくれていて、楽しさが伝わってきます。一年間で色々な活動をされましたね。

じょう水じょうでは、みんなしんけんにお話を聞いたとのこと。はじめて知ったこともいろいろあったのではないのでしょうか。

とっておきのゴシドウ★

みなさんは新しくできた班とのこと。今回は、あまり時間がない中でも、みんなで工夫して、がんばってすてきなかべしんぶん仕上げてくれました。次にかべしんぶんを作る時も、もしかしたら時間がしっかりとれないかもしれないけど、メンバーのみなさんも一つ年上になるので、ぜひ、さらにパワーアップしたかべしんぶんを目指してください。

・活動のかんそうを書いてみよう！ びっくりしたこと、面白かったことは何かな？

・何月の活動かを書こう！ どんな季節の活動かがわかると、読む人が分かりやすくなるよ。

その他、にこにこ農園に種うえをした後、どうなったのかとかも知りたいなと思いました。楽しく活動をして、また壁新聞づくりに挑戦してくださいね！



なにわこどもエコクラブ 1 班 B のみなさんへ

師範から一言！

こちらは、なにわこどもエコクラブ1班Bのみなさんが作ってくれました。天王寺動物園での観察のようすをくわしく書いてくれています。「カ」がよってこない「すぐきついにのいの葉」は、なんともいえない「くさい」においだったとのこと。くさい、という書き方から、くさいぐあいが伝わってくるかんじがしました！ 動物園の方に、北極熊が地球おんだんかのえいきょうを受けているという話を聞いたり、動物を運ぶ時のおりの中にじっさいに入ったりと、楽しい体験をしましたね。

とっておきのゴシドウ★

写真と説明の文で、どんなことをしたのか分かりやすい壁新聞に仕上がっています。さらに皆さんの活動をいきいきと伝える工夫をしてみましょう！

・かんそうを詳しく書いてみよう！ たとえば、動物園の方の話を聞いてどんなことを思いましたか？ 動物を運ぶおりに入って、どんな気持ちになりましたか？

・何月ごろの活動かを書いてみよう！ たとえば、田辺大根は何月ごろに植えて、何月ごろにできるのかな？

これからも楽しい活動をたくさんしてくださいね！ 次の壁新聞も楽しみにしています！



大阪府大阪市 なにわこどもエコクラブ

壁新聞のタイトル:①エコクラブ活動の様子②なにわこどもエコクラブ楽しいよ!③なにわこどもエコクラブ新聞④こども新聞

なにわこどもエコクラブ 3 班のみなさんへ

師範から一言!

なにわこどもエコクラブ3班のみなさんのかべ新聞です。写真と絵でシンプルに活動を紹介してくれています。コアラや井戸などのイラストも、とても上手にかけていますね。

動物園で色んなことを学んだり、じびきあみを体験したり、畑の作業もがんばっていますね。

なにわこどもエコクラブのみなさんは発表会があり、班ごとにかべ新聞の発表をしているとのこと。3班のみなさんはとても上手に発表されたそうですね。活動をいろんな人たちに知ってもらえるってステキなことですね。エコの活動も広がっていくと思います。

とっておきのゴシドウ★

みなさんのステキな活動をもっと伝えるために、写真のよこに少し説明の文を書いてみましょう。たとえば、畑ではどんなやさいを育てましたか?たねの大きさはどうでしたか?畑の作業はかんたんでしたか?疲れましたか?やさいが大きくなったとき、どんな気持ちになりましたか?ぜんぶ書かなくても大丈夫。写真をみて思い出したことを少し書くだけで、さらに生き生きとみなさんの活動を紹介することができますと思います。つぎのかべ新聞も楽しみにしているので、ぜひ送ってくださいね!



なにわこどもエコクラブ 4 班のみなさんへ

師範から一言!

こちらは、なにわこどもエコクラブ4班のみなさんのかべ新聞です。動物園で学んだ事、なにわ伝統野菜、淀川の3つの記事があり、どんな活動をしたのか分かりやすく紹介してくれています。写真とイラストも上手に使ってあり、見ごたえのあるかべ新聞ですね。

コアラがいる木は少しつめたいことや、田辺だいこんの種は三日くらいで発芽をすること、ヤマトシジミが水をきれいにすることなど、活動をするなかで学んだことを書いてくれていて、読みながら「なるほど～」と感心しました。

何月何日の活動なのかもきちんと書いてあるので、わかりやすくて良いと思います。また、とあみの重さをクイズにしたりと、楽しく読めるような工夫がしてありますね。

とっておきのゴシドウ★

学んだことをしっかり分かりやすく伝えてくれているかべ新聞です。もしこれをさらにパワーアップさせるとしたら…。

・かんそうを書いてみましょう。たとえば、田辺だいこんの種を植えるときは疲れましたか? とあみで魚がとれたらどんな気持ちになりましたか? ちゃっとしたかんそうと一緒に書いてあると、活動の楽しさや大変さがより伝わって、さらにステキな壁新聞になると思います。これからも楽しい活動を続けてくださいね! つぎのかべ新聞も待っています!



大阪府大阪市 大阪市立新北島中学校科学技術部

壁新聞のタイトル:大阪の身近な自然の調査記録

27-06

新北島中学校科学技術部のみなさんへ

師範から一言!

いつも活動レポートを送っていますが、壁新聞は一年分の活動をまとめたものですね。普段からレポートを書いているので、壁新聞もスムーズに作れたのではないのでしょうか。

アルゼンチンアリの調査や大和川の調査は、科学部らしい内容で興味深く読むことができました。自然の調査は、継続することでいろいろな発見があると思います。ぜひ後輩のみなさんにも伝えていってほしいと思います。

今年は全国でヒアリが見つかりました。みなさんの地域では見つかったでしょうか?アルゼンチンアリとヒアリは外来種同士ですが、势力的に影響するのか、今後の調査を期待します。

とっておきのゴシドウ★

テーマごとに記事をまとめて書いていて、読みやすいと思います。なので、記事のタイトルもそれぞれ枠で囲んだり、背景の色を変えたりすると、さらに見やすくなると思います。

川のまとめで、壁新聞を読んだみなさんをお願いしたいことを書いていますね。とても良いと思いますが、みなさん自身は普段水を使うときにどんなことに気を付けていますか?具体的な体験例があると、読む人にも思いがよく伝わるとと思います。



大阪府高槻市 柱本保育園こども未来学舎 え〜こ・レンジャー
壁新聞のタイトル: 27-07 27-08(園代表:つきぐみ) 27-09(全て幼児)(全3枚)

はしらもとほいくえん え〜こレンジャー ゆきぐみさんへ
師範から一言！
ほいくえんで、やさいをたくさんそだてたのですね。みずやりも、あまみずをためて
やったのですね。すごいなあ。
やさいをつくるのはかんたんそうでむずかしいですね。
まいにちお世話しないとみずがたらなかったり、ちょうしがわるいことにきがつかな
かったりするからです。はながさいたり、たくさんのがめできたり、むしがはっぱや
くきをたべたり…。みんなもみつめましたか？きゅうり、とまと、おいもおいしかっ
たですか？おじさんもじぶんでやさいをつくっていますが、とてもおいしかったです
よ。
バツタやチョウも、きてくれてよかったですね。チョウをずかんでしらべてすごいなあ
とおもいました。
おしえてもらうだけでなく、じぶんでしらべるのがいちばんだいじですよ、せみのぬ
けがらもせみのしゅるいやオスメスまでしらべてしんぶんでよくわかりました。みん
なでこどもエコクラブのかべしんぶんに まとめたことは、みんなのおうちやほいくえ
んでもみんなに おしえてあげてくださいね。



サポーターへのおきゴシドウ★
菜園活動や生きもの探し、セミの抜け殻調査と楽しいことを自分で調べたり、新聞にまとめたりと先生方の頑張りの目に浮かぶよ
うです。みんなで学んでいることが壁新聞から伝わって来ました。雨水利用も良いですね。小学生になっても、保育園のこどもエ
コクラブの活動は大切な記憶となって子供たちの環境活動に繋がっていくと思います。壁新聞は全国の方が見えていますので、楽
しい活動の一つとしてモデルになると思います。
こつこつ継続することが一番大切です。これからも、子ども達とエコ活動、こどもエコクラブを楽しんでください。

大阪府高槻市 柱本保育園こども未来学舎 え〜こ・レンジャー
壁新聞のタイトル:

はしらもとほいくえん え〜こレンジャー つきぐみさんへ
師範から一言！
ほいくえんで、やさいをたくさんそだてたのですね。みずやりも、あまみずをやったのも
すごいです。
てで、つちをさわったり、つちややさいのにおいをにおうのもだいじですよ。
まいにち、よくかんさつしたりにおいをにおいながらお世話していると、ちょうしがわる
いことにきがついたりむしがふえていることにきがつくからです。むしもみんなもみつ
めましたか？きゅうり、とまと、おいもおいしかったですか？
おじさんもじぶんでやさいをつくっていますが、とてもおいしかったですよ。
うめぼしをつくったことを、かべしんぶんでよみましたが、とてもかんしんしました。
むつかしくなかったですか？ たべてみましたか？ すっぱくてもおいしいでしょう。
せみのぬけがらもせみのしゅるいやオスメスまでしらべたのが、しんぶんでよくわか
りました。みんなでこどもエコクラブのかべしんぶんにまとめたことは、みんなのおうち
やほいくえんでもみんなに教えてあげてくださいね。



サポーターへのおきゴシドウ★
菜園活動や生きもの探し、セミの抜け殻調査と楽しいことを自分で調べたり、新聞にまとめたりと先生方の頑張りの目に浮かぶよ
うです。みんなで学んでいることが壁新聞から伝わって来ました。雨水利用も良いですね。
野菜も食べるの好きな子が増えたでしょう。梅干し作りも楽しそうですね。小学生になっても保育園のこどもエコクラブの活動は
大切な記憶となって子供たちの環境活動に繋がっていくと思います。
壁新聞は全国の方が見えていますので、楽しい活動の一つとしてモデルになると思います。こつこつ継続することが一番大切で
す。これからも、子ども達とエコ活動、こどもエコクラブを楽しんでください。

大阪府高槻市 柱本保育園こども未来学舎 え〜こ・レンジャー
壁新聞のタイトル:

はしらもとほいくえん え〜こレンジャー ほしぐみさんへ
師範から一言！
ほいくえんでやさいをたくさんそだてたのですね。くだものもたくさんそだてていま
すね。たべてみましたか？
おじさんもレモンやブドウを育てています。おいしいですね。むしやとりもたくさんよ
てきますが、ほいくえんにもたくさんきますか？きたむしやとりもまたずかんではらべ
てみてください。
かべしんぶんで、エコこうさくをしたことやどんぐりひろいをしたこともよくわかりまし
た。
どんなおもちゃができたかな？ たいせつにつかってね。どんぐりでもおもちゃがつく
れますよ。みんなでこどもエコクラブの壁新聞にまとめたことは、みんなのおうちやほ
いくえんでもみんなにおしえてあげてくださいね。



サポーターへのおきゴシドウ★
菜園活動で果物まで作って凄いですね。手がかかる栽培ですが、きっと土や植物に
気安く関われる子ども達に育っていくと思います。菜園活動は少しでも施肥や水や
り、収穫に関わるだけで食育にも繋がります。
楽しいことを自分で調べたり、新聞にまとめたりと先生方の頑張りが目に浮かぶようです。
みんなで学んでいることが壁新聞から伝わって来ました。野菜も食べるの好きな子が増えたでしょう。
小学生になっても子ども達は保育園のこどもエコクラブの活動も大切な記憶となって子供たちの環境活動に繋がっていくと思
います。壁新聞は全国の方が見えていますので、楽しい活動の一つとしてモデルになると思います。
こつこつ継続することが一番大切です。
これからも、子ども達とエコ活動、こどもエコクラブを楽しんでください。

兵庫県神戸市 細田児童館エコキッズ
壁新聞のタイトル: 28-01 28-02(全2枚)

細田児童館エコキッズ①の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言――
5月のたねまきから11月のたねのしゅうかくまでの「わた」のきろくが、「わた」というとてもめずらしいテーマ
で、わかりやくかかっている壁新聞です。
ながいあいだ、おつかれさめでした！！くりむいろの花がかわいいですね。花のいろはクリームいろから
ピンクいろにかわるそうですね。
「糸つむぎ」のため「こま」もみなさんでつくったのですね。みなさんよりながい糸をつむぐことができたのです
ね。しかも、紅茶でそめたちやいろがきれいですね。これは、すごい！！みなさんで「わた」をそだてて、その
「わた」で糸をつむぎ、とてもたいせつなけいけんをしたとおもいます。「わた」の2この実のなかの種をらいね
んもまいて、エコキッズのおともだちにも「わた」のそだてかたとつむぎかたをぜひおしえてくださいね。らいね
んは2こいじょうの実がなることにチャレンジしてください。
とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★
壁新聞をよんでいるおともだちに、こんどは糸つむぎをする「こま」のつくりかた 糸がきれないやりかた、糸のそめかたなどを壁新聞でぜひおしえて
ほしいとおもいます。「わた」についてもっとしりたいとたくさんのおともだちがまっていますよ！！



細田児童館エコキッズ②の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言――
はじめのおこめの「めだし」からさいごの「おこめたべる」の「お米作り体験」という一つのテーマで、とてもわか
りやすくかかっている壁新聞です。ながいあいだ、おつかれさめでした！！みなさんがいちばんだいすきな
なおこめが、どのようにしてできるかをべんきょうして、たいけんできたことはすてきなおもいでになったとおも
います。そして、たくさんのおこめをいっしょうけんめいにつくっている農家のひとたちのたいへんさがわかった
とおもいます。小学生になっても、またおこめづくりのたいけんをしますので、ほかのおともだちにおしえること
ができますね。みなさんのおこめでつくったおにぎりがとてもかわいいです！！とてもおいしかったことでし
ょう！！
とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★
おこめづくりのいろいろなステップをかいてあれば、壁新聞をよんでいるたくさんのおともだちにもっとわかりやすいとおもいます。また、壁新聞におこ
めづくりでむずかしかったところ、しっぱいしたところなどもかいてくれば、ほかのおともだちにとってもべんきょうになり、みなさんの壁新聞がすばら
しいおてほんになるとおもいます！！



兵庫県神戸市 ゆきのごしょエコクラブ
壁新聞のタイトル:ゆきのごしょエコ新聞

28-04

ゆきのごしょエコクラブのみなさんへ
師範から一言！

児童館のかつどうでまいねん、くふうしながら、がんばっていてすごいなおもいました。
クリーンさくせんを、まいつきつづけてえらいとおもいます。
ぜひとも、ペットボトルやおおいゴミのしゅるいをしらべてポスターをかいいたり、ごみをへらすにはどうしたらよいかをみんなでかんがえてください。
ゴミをひろうのがだいじですが、なにがおおいかしらべたり、どこからゴミがくるかわかったらゴミがへるかもしれません。こうさくもおもしろいですね。じぶんでつくったものはだいじにつかうとおもいます。児童館のまわりのたんけんもたのしいですね。カニやエビがいたのですか？ いつまでもいてほしいですね。

かみしばいでうみのことやちきゅうをまもることをかんがえたのですか？

児童館やいえでできることもあるのでみんなでがんばってください。

みどりのカーテンづくりやおはなのうえかえもたのしいしたいせつなかつどうです。まちのなかで、木やはなをそだてるのはとてもたいせつです。エコふうとうづくりもだいじです。いえでもできるのでやってみてほしいです。

これからも児童館でとりくんだことを、こどもエコクラブの壁新聞にまとめて、にほんのこどもエコクラブのみんなにおしえてあげてくださいね。



サポーターへのとおきゴシドウ

都会では植物や生きものが育つところ、生存できるところが減っています。回りの公園や川、児童館の庭にも、緑を育てたりして頂きたいと思います。

緑を増やすこと、生きものを調べることも、環境学習や自然の再生することにも繋がってとても大事な活動です。壁新聞も判りやすく是非、また新聞にまとめたりと先生方の頑張りも目に浮かぶようです。

みんなで取り組んでいることをこれからも壁新聞にまとめてほしいと思います。壁新聞は全国の方が見えていますので、楽しい活動の一つとしてモデルになると思います。

これからも、子ども達とエコ活動、こどもエコクラブを楽しんでください。

兵庫県神戸市 あさひクラブ
壁新聞のタイトル:あさひエコ新聞

あさひクラブ①の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！

児童館のかつどうで「つり橋」をつくったんですか？ざいりょうはやまで、みんなでさがしたのですね。

たくさんおのしやしんとかいせつでみんながいっしょうけんめいつくったことがわかりました。おとなのひとといっしょにつくっても、むずかしかったでしょう。やまや、もりが、きれいになったところのしやしんがあればみたかったです。

あと、わからなかったのは、つり橋はどこにかけたのですか？ 児童館のにわですか？木やつるやえだでつくったものは、いたんであぶないので、できた橋がどこにかけてあるのかがすこししんぱいです。

でも、みんな、すばらしいたいけんと工作ができたことがこどもエコクラブの壁新聞からつたわってきます。

たのしかったですね。



サポーターへのとおきゴシドウ

山や森が放置され荒れてきてるところが増えています。その実態を子ども達と一緒に体験で来て素晴らしい活動だと思えます。

都会周辺では植物や生きものが育つところ、生存できるところのものが減っています。

自然の中で少しでも体験し守り再生していく活動をこれからも是非取り組んで頂きたいと思います。

今後ともみんなで取り組んでいることを壁新聞にまとめてほしいと思います。

これからも、子ども達とエコ活動、こどもエコクラブを楽しんでください。

兵庫県神戸市 あさひクラブ 壁新聞のタイトル:あさひエコ新聞

あさひクラブ②の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！

児童館のみんなでたのしそうなところにいきましたね。いくとちゅうで、おおきな川やたくさんのもりもみえたでしょう。おじさんも環境体験館には、いったことがあります。もりのなかやシアターでおはなしたこともあります。ふしぎなかたちをしているでしょう。木がたくさんつかってありますね。もりのなかでのがくしゅうはいかがでしたか？め、みみ、はなのほかでなんかかんじましたか？ふしぎなたいけんをしましたね。どんなふしぎなたいけんだったか、またおしえてほしいです。はっぱをあつめて、ようみやくのしおりつくりをしたのですね。宝物にしてください。はっぱもようみやくをみたらふしぎだなとおもいませんか？みんなが、よいたいけんができたことがこどもエコクラブの壁新聞からつたわってきます。



サポーターへのとおきのおきゴシドウ

山や森が放置され荒れてきてるところが増えています。森の中で自然体験学習をするのはその実態を子ども達と一緒に体験で来て素晴らしい活動だと思います。温暖化対策を合わせて勉強できて良かったと思います。自然を少しでも守り再生して頂く活動をこれからも是非取り組んで頂きたいと思います。今後ともみんなで行き組んでいることを壁新聞にまとめてほしいと思います。これからも、子ども達とエコ活動、こどもエコクラブを楽しんでください。

あさひクラブ③の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！

児童館のみんなでいろんなことをしていますね。夏休みにリサイクル工作をしたのですね。いろいろつくっていますね。じぶんでえらんでつくったのですか？ぜんぶをつくったのですか？つくったものは、いまもつかっていますか？ゴミになってしまったり、ほったらかしになっていたらすこしかわいそうですよ。おじさんも工作はだいすきでどんぐりコマやマイバックをこどもたちとつくりますが、つくってからたいせつにいつまでもつかうことがいちばん、だいじですよ。また、みんながつくった工作でいちばん、つかってたのしかったり、やくだったものをおしえてほしいです。工作で作ったものは、宝ものにしてください。



サポーターへのとおきのおきゴシドウ

工作教室は楽しいですね。

材料集めから事故の無い工作、楽しい工作と指導される皆さんは大変だと思います。

私も活動の中で良くしますが、作ってからどう大切に使うか、本当に環境のことが考えられてるか、環境に優しい工作になっているかを自問自答しています。昔、ペットボトルで大きな造形物を作るのもリサイクル工作と言われて流行ったことがありますが、現実イベントが終わって、どう捨てるか、作らなかつたらリサイクルできたのに大きな造形物を作ったばかりに可燃物として処理する以外どうしようもなくなったりと、なぜ、その工作がリサイクル工作と呼ばれるのかと、いろんな意見が出たことがあります。

子どもたちともそんなことも少し話し合いながらリサイクル工作を進めたら環境学習に役立つと思います。

今後ともみんなで行き組んでいることを壁新聞にまとめて全国のこどもエコクラブの皆さんに紹介して頂きたいと思います。

これからも、子ども達とエコ活動、こどもエコクラブを楽しんでください。

あさひクラブ④の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！

児童館のみんなでいろんなことをしていますね。水のたいせつさやたべもののたいせつさをまなんだのですね。にほんでは、すいどうの水はいつでもですが、けっしてゆたかなのではないですよ。あめがすくないせつやあめがすくないちいきではくろうしています。すいげんとよばれる川やみずうみやいどそのものが、水がすくなくなっていたり、よごれてきているところもたくさんあります。よごれた水をすいどうでみんなのいえにはこぶためには、のめる水にしますが、きれいな水にするためにたくさんのでんきやじかんがいるようになってきています。すいどうがまだあまりついていないくには、水をくんでではこぶのはこどものやくわりのくにもあります。たべもののこともべんきょうしたのですね。たべものこしのこととはとてもだいじなことで、たべものがたらないのに、どんどんすてしまっているのみんなであべものことももっとべんきょうして、のこさないようにしないといけません。たべものこしのほか、どんなことがたいせつだとおもったか、また壁新聞で教えてくれたらにほんのこどもエコクラブのこどもがべんきょうできていいとおもいます。

川のいききものをしらべたりそうじもしたのですね。川があまりよごれると川の水がすいどうにつかえなくなってしまうので川のそうじやいききものをべんきょうして川がきれいじょうよごれないようにすることもとてもたいせつです。がんばってください。



サポーターへのとおきのおきゴシドウ

水のこと、川のこと、食育のことと大切なテーマに取り組んでいっしょだと思います。是非、毎年、発展させながら継続して頂きたいと思います。私も活動の中で川や海岸の生きもの調査やごみを調べます。川が汚れると海も傷みます。川の生物の生態系が変化すると自然界の自浄作用と呼ばれる水を浄化する力そのものが弱くなります。子どもたちともそんなことも考えながら継続したら地域の水資源や自然環境を守ることに繋がると思います。今後ともみんなで行き組んでいることを壁新聞にまとめて全国のこどもエコクラブの皆さんに紹介して頂きたいと思います。これからも、子ども達とエコ活動、こどもエコクラブを楽しんでください。

しのっちょバレーヌのみなさんへ
師範から一言――
「しのちょしんぶん」の作ってくれて、ありがとう！！ 最初の「しのはら米」を育てる理由、お米の「めだし」から「だっこく」までの「お米作り体験」、そして最後の「感想」まで、壁新聞の読者のみなさんに全体の流れがとてもよくわかるすばらしい「しのっちょしんぶん」です！！特に、①エコ活動で森のなかまを増やしたい②お米作りはたくさんの時間がかかる③お米を大切に作る気持ちをみんなに伝える④ごはんを残さず食べることもエコという四つのそれぞれの感想文に感動しました！！日本人の主食であるお米作りをしている農家のひとたちの苦勞を皆さん自身が「しのはら米」作り体験をすることにより、十分に理解してくれましたね。お米作りの体験学習をしてのこの「きづき」はとても大切なことですね。また、お米作り体験で、みなさんのお米を守るためのがい虫や台風たいさくも、おつかれさまでした。次回の「しのっちょしんぶん」をわくわくして楽しみにして待っていますよ！！

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★
来年も「しのはら米」を作るとありますが、来年のお米作りをするお友だちにそれぞれのお米作りステップの日にちがあるとわかりやすいと思います。また来年のお米作りの方法とがい虫や台風たいさくをきちんと教えることはとても重要ですが、特に感想文に書かれた皆さんの「思い」や「きづき」もぜひともひきついで欲しいと思います。



兵庫県神戸市 あきばだいじどうかんエコキッズ
壁新聞のタイトル: エコの森きのこ隊新聞

あきばだいじどうかんエコキッズのみなさんへ
師範から一言！
児童館のみんなでいろんなことをしていますね。夏休みチャレンジ工作はイイね！
牛乳パックはつよいのでよくとぶブーメランができたでしょう。ブーメランがかえってくるのはどうしてでしょうね。
はいざいネームプレートは、おじさんはつくったことがないので、ペットボトルをトースターでやくところがどんなふうになるのかわからないけれどおもしろそうですね。トースターでやいたらかたちがかわったり色がつくのかな？ トースターがくさくなりませんか？
おじさんはコーヒーがすきなのでコーヒーのにおいもいいなあとおもいました。あんがい、ぜんこくのこどもエコクラブの人もしたことがないかもしれないので、こんどしたときはもう少しつくりかたを、壁新聞でわかりやすくおしえくれたらうれしいです。
けいろうの日のプレゼント工作もエコレンジャーどっちやねんゲームもたのしいかつどうでべんきょうしてよかったと思います。



サポーターへのとっておきのゴシンドウ
工作でも欲張り過ぎずみんなで取り組んでいる様子が伝わってきます。感想もちゃんと紹介して全国のこどもエコクラブにとっても参考になると思います。
活動の学びを大事にしたり、無駄にならないように工夫しながら是非、毎年、発展させながら継続して頂きたいと思います。
今後ともみんなで行っていることを壁新聞にまとめて全国のこどもエコクラブの皆さんに紹介して頂きたいと思います。
これからも、子ども達とエコ活動、こどもエコクラブを楽しんでください。

りんごキッズのみなさんへ

師範から一言！

こども園のみんなでいろんなことをしていますね。とてもたいせつなことに、コツコツと
りくんでいるのでびっくりしました。

プラスチックのゴミをすこしでもへらそうと、かみでゴミばこをつくるのもいいアイデア
ですね。

おこめのとぎじるをはなややさいにあげるのもおどろきました。おじさんがこどものこ
ろはまいにち、おこめのとぎじるをいえのおはなやはたけにやっていたましたが、さいき
ん、そんなことをしているひとがいないとおもっていました。とぎじるをだいどころから
ながすとそれをうみにながすのに、きれいにするのにでんきやじかんがかかるので
すが、はたけやかだんにやるとやさいやおはなが、おおきくなるためにつかってくれる
のです。

ゴミひろいやみんなでせわをしたやさいをみんなでたべるのもいいですね。

ペットボトルのキャップをあつめてワクチンをおくるのも、なかなか、できそうできま
せんから、コツコツがんばってください。あんがい、かんたんそうなことをコツコツつづ
けることがたいせつなことを全国のこどもエコクラブの人にも、壁新聞でわかりやすく
おしえくれたらうれしいです。



サポーターへのおきゴシドウ

素晴らしい取り組みをされていると思います。みんなで取り組んでいる様子が伝わってきます。

コツコツ子ども達と自分たちでできることを学びながら続けることにつながる活動です。

環境問題は勉強するだけでは解決しないですからね。全国のこどもエコクラブにとっても参考になると思います。

今後ともみんなで取り組んでいることを壁新聞にまとめて全国のこどもエコクラブの皆さんに紹介して頂きたいと思います。これ
からも、子ども達とエコ活動、こどもエコクラブを楽しんでください。

玉一アクアリウムのみなさんへ

師範から一言！

写真やイラストを多く使い、見やすく仕上がった新聞ですね。明石川の生物
がうまくまとめられていると思います。条件をそろえて調査を行ったこともデ
ータとしての信頼性を高めています。ぜひ、これからも調査を続けていっても
らえればと願います。また外来種であっても命を無駄にしないために食べて
いるという心がけも実にすばらしい考えだと思います。

明石川も最近はきれいになったようで、魚捕りをする人も増えたようです。や
はり川は人が集まることで、みんなに親しまれる川になっていくのですから、
これからもきれいな明石川であるように、調査を続けながら見守ってください
ね。

とっておきのゴシドウ★

調査結果が写真と共に、まとめられていますが、一覧表にすると読む人にも
わかりやすいかと思われます。やはり見やすいと人々の目を引きしますので、
読んでみようかなと思わせるような工夫があると、せっかくの内容が生きると
思いますよ。

活動内容も非常に濃いので、No.1、No.2 のように新聞の続編を作っていくの
もおもしろい気がします。そして、今回は何度も言っていますが、水辺の活動
にとって何より重要なのは「安全の確保」です。楽しい反面、各地で事故も起
きているのも事実です。たとえ水深が浅くとも「ライフジャケット」を使用する
など安全には十分注意してくださいね。



ひめじアースエンジェルのみなさんへ
師範から一言！

①の新聞を書いたくれたみんなへ

かんそう野さいは、とってもナイスアイデアですね！たしかに、かんそうさせばりょうも少なくなるし、なんとなく野さいがキラいな子でも食べられそうですね。かんそうさせた後の重さを見ると、どの野さいも、とってもかくなっているね！野さいは、とっても水分が多いことが分かりますね。また、かんそうさせると えいようかが ふえることは、はじめてしました。みなさんの書いてくれている感想は、じっさいに食べてみてわかる感想ばかりですね！きちんと調べていることがよくわかります。これからも、じっさいにやってみることは、とても大切なことなので、それを忘れないでくださいね。

②の新聞を書いたくれたみんなへ

いろいろな発電のほうほうについて、とてもよく調べられていますね！日本では、今までは原子力でたくさん発電をしていたけど、東日本対震災の直後から、自然エネルギーにもとても ちゅうもくされています。

いろいろな場所でいろいろな新エネルギーを開発していますが、私がおもしろいな~と思ったのは、「食品廃棄物」を使った発電だったり、かわいいものは「ハムスター発電」なんかもありました。エネルギーは調べれば調べるほどおもしろい発見があると思うので、ぜひこれからも、エネルギーについて調べてみてくださいね。そして、おもしろい発電ほうほうや、エネルギーを見つけたら、かべ新聞で教えてくださいね♪



とっておきのゴシドウ★

かべ新聞の作成お疲れさまでした。乾燥野菜もエネルギーもとてもよく調べられていると思いました。また、色遣い、写真やイラストを使う等とても見やすく作られていると思います。みなさんは、協力しながら、とても深く様々なことを調べられていると思うので、次は、これを読む人へどんなメッセージを伝えたいかを考えてみましょう。乾燥野菜やエネルギーについて調べてみて、自分が何を思ったか、どこにこの活動の必要性を感じるか、これを読んだ人にどうなってほしいか(家に帰ってどんなことをしてほしいか)を考えてみてください。グループで相談すると、より良いかべ新聞になるだけでなく、個々の意識も高まったり、学びがより深くなると思いますので、おすすめですよ！

小林家のみなさんへ

師範から一言！

私も淡水魚関係の仕事(調査、講師等)をしているので、いろいろな川で魚を採集しました。この仕事をする原点は、子どもの頃に、近所の川にはどんな生き物が棲んでいるのか？ と思ったことがきっかけです。ですから、このような調査を実際にやってみるのはとてもいいことだと思います。毎月続けて調査していると、採れる生物にも変化が見られ、とても興味深いものです。1年通してみるとさらにいろいろな生物が見られるかもしれません。今後もこのような好奇心から始まった調査を継続されることを願います。私にできることはアドバイスや協力していけたらと思います。

とっておきのゴシドウ★

採れた生物がかなりの種類いるので、表にすると読む人も見やすいのではないかと思います(水がきれいということは水生昆虫の仲間も多数生息していると思われるので、その種類も調べてみるとおもしろいかも)。はじめは難しいかもしれませんが、図鑑等を用いて正式な名前を調べて表にすれば貴重な記録にもなることでしょう。水辺の活動は楽しい反面、危険が伴います。たとえ水深の浅い川であっても「ライフジャケット」を使用するなど安全には十分注意してください。安全であってこそ楽しい調査ができるのですから。



南大津 eco キッズのみなさんへ
師範から一言！

南大津 eco キッズのみなさん、こんにちは。

自分たちが住んでいる身の回りのかんきょうの「水」をととてもよく調べられていると思います。このかべ新聞を読んで、わたしがいちばんびっくりしたのは、COD チェックの結果です。せんたくの水や食事をあらった水は、魚がすめないほど、汚れたお水であることは予想できたのですが、トマトやじゃがいもをあらった水が「8」もあったなんて、ほんとうにおどろきました！わたしも、みなさんとおなじように、ふだんから家からでる水には気がついていました。たとえば、「アクリルたわし」という せんざいをつかわずにお皿あらいができるスポンジをつかったり、お皿をあらうまえに T シャツや古い布を切ったもので ふいてから洗ったりもしています。ぜひ、みなさんもやってみてくださいね！

サポーターへのおきゴシドウ★
かべ新聞の作成お疲れさまでした。

蛇口を捻れば飲める水が出る日本では、水のありがたみを忘れてしまう子どもたち(子どもに限らず大人もですが…)が多い中で、とても良い学習と発見、気づきになったことと思います。

とても良い内容のかべ新聞ですが、見た目の鮮やかさが少ないことが少しもったいないと感じました。もっと多くのカラーペンを使用してみたり、イラストを加えたりするとより見やすくなると思います！また、COD チェック法で調査したことはとても面白いので、もっと目立つようにまとめてもいいかもしれません。例えば、「家庭の中で汚れている水ランキング！」のように表にするだけでも、注目されるのではないのでしょうか。

今回は、生活排水を調べましたが、次回、近所の川や用水路などを測ってみたり、生きものがいるかどうかを調べると、今よりもさらに水について興味がわくかもしれません！ぜひ、そんな調べ学習をしたときは、かべ新聞で教えてくださいね♪



グリーンキッズのみなさんへ
師範から一言！

グリーンキッズのみなさん、こんにちは。

いろいろなかつどうをしたのですね。かべ新聞の中に外来種について書いてありますが、私のすんでいる東京でも、こまった外来種はたくさんみつかります。たとえば、セイタカアワダチソウという植物や、アメリカザリガニという生き物です。日本のいろいろなところで、外来種の問題があることがわかりますね。

やちょうかんさつでは、どんな鳥を見ることができましたか？東京と兵庫では、みられる鳥のしゅるいがちがうのでしょうか？とても気になるので、ぜひ次にかんさつをしたときは、どんな鳥だったかも書いてみてくださいね♪

さいごに、ごみひろいでは、どのくらいのごみをひろうことができましたか？私のしょくばの近くでは、たばこのすいがらがいちばんおおく ひろうことができます。地域や場所によってもちがいがあるかもしれませんね。

サポーターへのおきゴシドウ★
かべ新聞の作成お疲れさまでした。

今回、「なぜかべ新聞を作るのか」という所にたくさん時間を使ったということは、とても良い時間だったのではないかと思います。よく話し合った結果、答えが出たということは、たくさん考えたという証拠だと思います。

私は、かべ新聞を作ることで、取り組んだ活動の復習となったり、より深い学びに繋がったり、グループでの結束力を高めたりすることはもちろん、どのようにまとめると上手く伝わるか、読みやすくなるかを考える難しさと達成感を味わえたり、かべ新聞を通して読んだ人が学んだり新しい発見ができるととても良い活動だと思っています。ぜひ、グリーンキッズのみなさんにも、必要性を感じてもらえたら嬉しいです♪

今回は、そのような状況だったこともあってか、写真やイラストが無く情報量も少ないので、少し寂しい印象を受けました。ぜひ次回は、みなさんでいろいろな意見を出し合って作ってくださいね。



エコスマイルのみなさんへ

師範から一言！

エコスマイルのみなさん、こんにちは。

みなさん一人一人が、とても楽しみながらかつどうに さんかしていることが かべ新聞から伝わってきました！エコやかんきょうもんだいは、いっけんむずかしいことと思われがちですが、身近なことからはじめられることを伝えるとても良いかべ新聞だと思いました。

また、イラストや写真、画用紙をたくさんつかっていることも、見やすく工夫されていてとてもいいな、と思いました。きっと、エコスマイルのメンバーみんながよく話し合っ、がんばってまとめたのですね！見る人が見やすく、伝わりやすく書くことは、かべ新聞ではとてもたいせつなことであると思うので、これからも、どうやったら見やすいか、よみやすいか、を考えてみてくださいね。

サポーターへのとおきのゴシドウ★

かべ新聞の作成お疲れさまでした。

1年間でもとてもたくさんの活動に取り組まれたのですね。写真から伝わる子どもたちのキラキラとした笑顔が、本当に有意義で楽しい時間を過ごしたことがうかがえます。

それぞれの活動に、それぞれ感想が書かれているので、活動のイメージは出来たのですが、その活動のどこがエコや環境問題につながるのか、も一緒に書かれているといいな、と思いました。例えば、そば打ち体験では、自分で作ることでエネルギーの節約になったり、愛着が湧くことで食べ残しが減り、食品ロスの減少になったり、(もしそばの実が地元のものであれば)地産地消として省エネになったり、1つの活動でも様々な視点から、環境問題と繋がると思います。

ぜひ次回のかべ新聞では、そんなところも意識して作成してみてくださいね♪



鳥取県米子市 自然といきものみ～つけ探検

壁新聞のタイトル:発見！自然の中の生き物たち

31-01

自然といきものみ～つけ探検のみなさんへ

師範から一言！

みんなはいろんなことにチャレンジしてますね。壁新聞が盛りだくさんでいっぱいです。

みんなで活動したことをみんなが壁新聞に一生懸命書いたことが伝わってきます。

クルージングでいった自然館や食品館はすごいたのしそうですね。クルージングの途中で鳥や魚はみませんでしたか？魚のことやシジミのこと、魚の病気のことまで勉強できるのですね。

それから料理もしたのですか？ 楽しい美味しかったですよ。今、おじさんの住んでいる瀬戸内海では魚やカニや生きものがへっています。りょうしさんも魚がへっていると言っていました。みんなの鳥取県の海や中海はどうですか？少なくなっていたらこまりますね。また機会があったら、へっているかどうかや、そのりゆうをきいてみてください。みんなで大切にしないといけないから、今、中海や魚や貝がどうなのかを勉強して、日本中のみんなに教えてくれたらうれしいです。

水鳥のかんさつにもいったのですね。たくさん活動してがんばっているなあと思います。

クルージングはこわくなかったですか？おじさんもボートにのりますが、最初はとてもこわかったです。

川や森にもよく行きますが、鳥のなき声を聞いたり、おちばや木の実をさがしたり、虫や貝や生きものを探したりと楽しいことが一杯です。



とっておきのゴシドウ★

壁新聞は全国のこどもエコクラブのみんなやサポーターさんが見るので、全国の人がみて、いつごろに鳥取のどんなところに行ったのか、場所もわかるように壁新聞をつくったらもっと良いと思います。みんなも見つけたものを写真に撮ったり、絵を画いたり、名前をしらべたりといろんなことをしてみてください。もっともっと楽しい自然の探検ができると思います。

また、わかったことや見つけたこと、むずかしかったことを壁新聞で教えてください。

☆☆サポーターへのゴシドウ☆☆

キャンプや野外活動は、「来たときよりも美しく」「安全に自然に優しく」など大原則があります。小さな時からしっかり注意して、自然の中で遊ぶルールをしっかり教えてあげてほしいと思います。

自然体験学習や自然観察会も楽しく安全にが一番大事だとは思いますが、子どもたちが調べたり記録することを体験で来たらますます素晴らしい活動になると思います。子ども達が自分たちでまとめた壁新聞でとても子ども達の思いが伝わって来て良いと思います。

サポーターの皆さんも準備や運営、普段のお世話にご苦労されていることでしょう。これからも、子ども達とエコ活動、こどもエコクラブを楽しんでください。

それ行け中海探検のみなさんへ
師範から一言！

みんなはいろんなことにチャレンジしてますね。みんなで活動したことをみんなが壁新聞に一生懸命書いたことが伝わってきます。日野川の水質調査もがんばりましたね。生きものもしらべて何がどこでとれたり、見つけたかを写真や記録にのこしておく大切なしりょうになります。

夏休みに上流と下流の水のことを調べて、人がよごしていることに気づいたこともすばらしいと思います。私たちがどんなことに気を付けたらよいかをこれからもみんなに壁新聞などで教えてあげてください。川がよごれると海にもよごれた水が流れ込むので、川も海もよごれます。

史跡公園にも行ったんですね。今は便利な時代ですが昔と今のちがいをかんがえながら活動すると新しいはっけんやふしぎに気づくと思います。わたしも川や海、森にもよく行きますが、鳥のなき声を聞いたり、おちばや木の実をさがしたり、虫や貝や生きものを探したりと楽しいことが一杯です。みんなも見つけたものを写真に撮ったり、絵を画いたり、名前をしらべたりといろんなことをしてみてください。もっともっと楽しい自然の探検ができると思います。また、わかったことや見つけたこと、むずかしかったことを壁新聞で教えてください。



とっておきのゴシドウ★

ゴズつりや水鳥観察会も良い体験をしてるなあと感心しました。

魚がへつていたり、鳥がゴミが増えて困っていたり、エサがへつて困っていることはなかったですか？じもとの人が、みんなの知らないところで苦労していることがたくさんあるかもしれません。冒険した時は、じもとの方にいろんなことを質問して聞いてみましょう。たくさん困っていることがあると思います。みんなにもお手伝いできることがあるかもしれません。

クルージングで冒険をしたり自然館でいろいろ学んだりしたことは、しっかり写真をとったりメモをとってくださいね。楽しかったで終わるととってももったいないと思います。壁新聞は全国のこどもエコクラブのみんなやサポーターさんが見るので、全国の人がみて、いつごろに鳥取のどんなところに行ったのか、場所もわかるように壁新聞をつくったらもっと良いと思います。

☆☆サポーターへのゴシドウ☆☆

キャンプや野外活動は、「来たときよりも美しく」「安全に自然に優しく」など大原則があります。小さな時からしっかり注意して、自然の中で遊ぶルールをしっかりと教えてあげてほしいと思います。自然体験学習や自然観察会も楽しく安全にが一番大事だとは思いますが、子どもたちが調べたり記録することを体験で来たらますます素晴らしい活動になると思います。子ども達が自分たちでまとめた壁新聞でとても子ども達の思いが伝わって来て良いと思います。サポーターの皆さんも準備や運営、普段のお世話にご苦労されていることでしょう。全国にも発信されて、ほかのこどもエコクラブのサポーターさんの参考にもなりますし、環境対策の輪の広がりにも役立ちますのでこれからも、子ども達とエコ活動、こどもエコクラブを楽しんでください。

イオン日吉津チアーズクラブのみなさんへ

師範から一言！

みんなはいろんなことにチャレンジしてますね。日野川の水質調査もがんばりましたね。おじさんも川や海、森にもよく行きますが、鳥のなき声を聞いたり、おちばや木の実をさがしたり、虫や貝や生きものを探したりと楽しいことが一杯です。みんなも見つけたものを写真に撮ったり、絵を画いたり、名前をしらべたりといろんなことをしてみてください。

もっともっと楽しい自然の探検ができると思います。また、わかったことや見つけたこと、むずかしかったことを壁新聞で教えてください。



とっておきのゴシドウ★

生きものもしらべて何がどこでとれたかということや、見つけたものを写真や記録にのこしておく大切なしりょうになります。こんどから、いつにどこに行ったか、なにを見つけたかを、自分たちの写真や絵で壁新聞を作ったらもっと良いと思います。

ヨットにのって勉強にも行ったようですが、こちら、いつに、どこに行き、なにを勉強したかを書いたらもっとわかりやすい壁新聞になると思います。みんなにも、できることがあるかもしれません。

一緒に行き調べたことやわかったこと、自分たちができることがわかったら、壁新聞で全国のこどもエコクラブのみんなにぜひとも教えてあげてください。

☆☆サポーターへのゴシドウ☆☆

キャンプや野外活動は、「来たときよりも美しく」「安全に自然に優しく」など大原則があります。小さな時からしっかり注意して、自然の中で遊ぶルールをしっかりと教えてあげてほしいと思います。

壁新聞も子ども達が子ども達の手で作ることが大事ですが、観てくれるみんなに、いつ、どこで内をしたか、なにを見つけたか、なにが判ったが伝わる内容になれば、子どもたちが調べたり記録することを体験できることにも繋がっていきますし、環境活動の記録としての重要さも増えますますます素晴らしい活動になると思います。

サポーターの皆さんも準備や運営、普段のお世話にご苦労されていることでしょう。

全国にも発信されて、ほかのこどもエコクラブのサポーターさんの参考にもなりますし、環境対策の輪の広がりにも役立ちますのでこれからも、子ども達とエコ活動、こどもエコクラブを楽しんでください。

上津探検隊のみなさんへ
師範から一言！

タイトルの「ケロケロカエル調査新聞」は、新聞の内容にぴったりでユニークなので目にとまります。新聞には「取り組んでいること」「取り組んだことの結果」「考察」「今後のアクション」といった、知りたいと思うことが順序(じゅんじょ)よく書かれているので、内容もとても充実(じゅうじつ)しています。

カエルの卵の数は、カエルがその場所に増えているか減っているかを考える上でとても参考になりますね。モリアオガエルがへっているようですが、昔からこの場所に他の生き物と共存していたのであれば、何か原因があるはずです。みんなで考えてきめた対策(たいさく)をためてみてください。9年あるいは10年続けている卵の調査はこれからもぜひ続けてください。

カエルランドには、カエルの他にサワガニやカブトムシ、サンショウウオ、ホタルなどもいて、とてもワクワクする場所ですね。私もこのような場所が大好きです。

カブトムシの森でクワガタムシやカブトムシが見つからなかったのは残念でした。よく見つかるポイントは、クヌギやコナラのじゅえきが出ている木です。じゅえきが出ている木の表面は黒っぽくしめっていて、近くを通っただけでにおいがします。そのような木を昼間のうちに見つけておくといいです。カブトムシのメスは腐葉土(ふようど)に卵を産むので、幼虫がふえるようにするには、クヌギやコナラなどの落ち葉をあつめて、積みあげておくのがおすすめです。

カエルつり(イモリつり)は楽しそうですね。ザリガニつりはやったことがありますが、カエルはありません。そのような自然遊び体験ができる場所があること、地域の人とのつながりがあることがすばらしいです。



とっておきのゴシドウ★

ホタルの勉強会では、ホタルの幼虫の食べるものや卵を産む場所をすることができたようですね。

ホタルは卵→幼虫→さなぎ→成虫と変わっていきますが、さなぎはどこにいますか？さなぎの場所も考えてあげてください。またカワニナが川にくらすためには、カワニナの食べるものも必要です。カエルランドにくらすたくさんの生き物のつながり(食べる→食べられるの関係)をみんなで考えてみてください。

岡山ハッケンジャーのみなさんへ
師範から一言！

いろいろな生き物たちのSOSを新聞で伝えるというアイデアがいいです。フィールドで生き物たちのメッセージを受け取ることができるのは、ふだんからフィールドに足を運び、生き物たちのことを考えているからだと思います。

鳥たちにとっては営巣場所とエサの問題が多そうですね。鳥の種類によって生態系ピラミッドのどこにいるか異なりますが、頂点にいる種類(猛きんなど)ほど広い自然が必要なのでSOSをうけとったら、そのメッセージをまわりの人たちに伝えていきましょう。新聞に書いてくれた鳥の中ではツバメは人のすぐ近くに住んでいます。わが家に10年ほど前に営巣したところは近くの河原にいい泥があったようですが、河原が整備(せいび)されてからはいい泥が少なくなったのか、ヒナの成長途中で巣がくずれてしまったことがありました。

秋の味覚“栗”もどんぐりの仲間です。私もどんぐり(スダジイやマテバシイ)は機会があれば食べています。今回はすり石と石皿を使って、どんぐりをコナにする体験をしたようで、おもしろそうだなと思いながら読みました。てきどに小さい丸い石と大きくくぼんだ石の組み合わせは苦労してみつけたと思うので、昔の人はそのセットを大切に持ち帰ったでしょうね。



とっておきのゴシドウ★

カエルのようにライフサイクルで水中と陸地が必要な生き物は、そのどちらかがなくなってしまうと生息することができませんが、水中と陸地の移動エリアについても考える必要があります。たとえば、オタマジャクシからカエルになって森に移動しようとしたときに、途中にみぞや大きな段差があると移動できなくなってしまうからです。

生き物を守るときは、そのライフサイクルを考えてその生き物がくらす場所を大切にする必要があります。

岡山ハッケンジャーのみなさんへ
師範から一言！

わくわくエコクラブのみなさん、こんにちは！「わくエコ生き物新聞」を一目見て、すごい大作だなーとびっくりしました。そしてさらに良く見て、読んでみると、こんなにたくさんの活動、調査などをやったのかと二度びっくりしました。

新聞を作る前に、今回はどんな新聞を作ろうかとみんなで話し合い、議論して、行ったり来たりして作ったようで、完成した新聞は、みんなの苦労と努力がにじみ出ています。小学5年生になるとタイトル、文章、絵、写真など全部自分たちで作り上げることができるのですね。すごいなー！ヌートリアの発見から外来生物に興味を持ち、外来生物とは？その影響は？どうして日本にきたのか？私たちに何ができるかも考え、調べました。立派な報告書になっています。

なぜ、外来生物がいるのかな？今だったらかわいいから、珍しいから外国から持ってきましたになるだろうけれど、昔は違いました。生活に必要なから日本に持って来たのですね。それらが自然界に逃げ出し、捨てられて、今みんなが困っている状態になっているのですね。

もっとも外来生物と言うのは、外国から日本にきた生物だけを言うのではないようです。

その地域にいなかった生物が、ほかの地域から来て繁殖した生き物も外来生物と言います。最近では、地球温暖化が進み、生き物自らが移動して行く状況もあります。在来種にとっては、エサの取り合い、住み家の取り合いになり困ります。環境省が言っている外来種対応だけでなく、みんなが考えた外来種対応は、分かりやすくいいですねー。

“いきものたいせつに”のカルタはみんなで作ったのですね。(も)もったいないを合いことばに、(に)日本のかん境を大切に、の2つは生き物との関係が分かりにくいです。

もう一息がんばってうまいカルタにならないかなー。結構、むずかしいものですね。



とっておきのゴシンドウ★

岡山県は桃が名産ですよ。そこで桃の受粉にチャレンジしたのです。花粉をくっつければ良いというわけではなく、花粉を作ることから体験したのです。自分がつけた桃の花が、大きな桃になったのか、どうでしたか？桃を食べるチャンスはあったのでしょうか？

フィールドサイン(足あとやうんこ)で、シカとキツネとウサギそしてツキノワグマを見つけたのです。この新聞のビックリは本物のウサギのうんこですね。ふくろに入っているの、さわれず、臭いはしませんが、ころころしたうんこをはりつけてくれました。本物を見たことがない人には、とても印象深いものがあると思います。本などで丸いうんこ言うのは知っているかも知れませんが、実物を見るのはとても大事なことです。

4月から12月まで加茂川の水温とCODの測定を継続してやったのです。えらい！自然や環境などの調査は継続してやるのが、とても大事です。毎年のデータを集めるといろいろなことが分かります。測定をする時期と場所を決めたら、何のために測るのか？何を知りたくて測るのか？などを最初に考え、決めることが大事です。水の温度とCODを測りましたが、何を知りたかったのだろうか？水温が高いとCODも高いという傾向は出たようですが、それによって何が分かるのだろうか？などなど。

わくわくエコクラブのみんなのレベルがとても高いことが分かりました。さらにもう一歩高いレベルへ上がってほしいと思います。そのためにも活動をした時にその結果を報告するだけでなく、なぜと言う考えで、結果を掘り下げることができると思いますので、そのような活動を期待します。みんなならできます。自信を持って進んでください。

次回の壁新聞はそのような掘り下げをした新聞を期待しています。

イオン広島祇園店チアーズクラブよつば隊のみなさん、こんにちは。

絶滅危惧種のことをとても良く調べましたね。私も思わず「へえ～」と言ってしまいう内容もあり、読んでいて、とても勉強になりました。見た目も、イラストやおりがみを使ってとても見となる工夫がされていてナイスです^^

地球上にはこんなにたくさんの絶滅危惧種に指定されている生きものがあると思うと、悲しくなりますね。私も、生きものが好きなので、みなさんと同じ気持ちです。みなさんも、なぜ絶滅しそうなのか、という原因もきちんと調べ、理由と現状が分かったから「かわいそう」「守りたい」という気持ちになったのだと思います。

いろいろな絶滅の原因があると思いますが、中でも、人間はとても多くの影響をもたらしています。私たちが便利な生活をする裏で、困っている動物がいるということは、逆に、私たちが環境に影響の少ない生活を送れば、もしかしたら絶滅の危機から救ってあげられるかもしれません！

絶滅危惧種の生きものたちのためにも、ぜひ、よつば隊のみなさんが自分に出来る行動を考え、周りに発信してってください。「守りたい」というその気持ちをどうか大切に！



とっておきのゴシドウ★

かべ新聞の作成お疲れさまでした。

かべ新聞のまとめ方、調べた内容から、みなさん一人一人が本当に興味を持って、調べ学習をしたことが分かりました。興味のあることは、いくらでも調べられますよね♪よつば隊のみなさんが、絶滅危惧種の生きものを知り、その生きものたちを守りたいと思うその気持ちはぜひ大切にしてください。

絶滅の原因が分かったと思うので、次は、人間と絶滅危惧種の繋がりを調べてみると、自分たちがやるべきことが分かってくると思います。少しむずかしいかもしれませんが、みんなで協力すれば、きっといい考えが生まれると思います！

ちなみに、私はツキノワグマというクマが好きで、「ツキノワグマが生息する環境を守りたい。」という気持ちで、環境保全や省エネに取り組んでいます。みなさんも、一番好きな生きものを決め、その生きものについて調べると、自然と省エネしたくなるかもしれませんよ^^

香川県高松市 シオンエコサイエンスクラブ

壁新聞のタイトル:

37-01

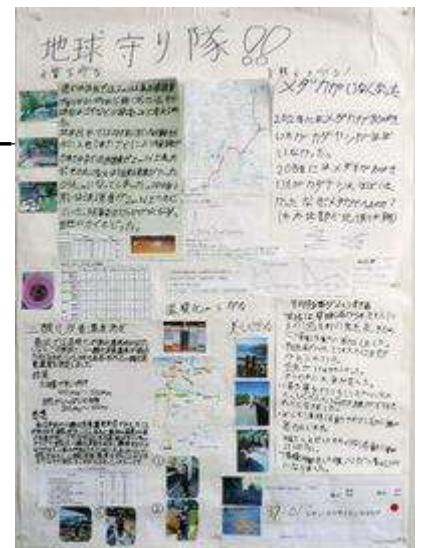
シオン・サイエンスクラブのみなさんへ

師範から一言一

5つのアクティビティが選ばれて新聞になりました。特に早明浦(さめうら)ダム清掃(せいそう)が素晴らしい。水をもらっている早明浦ダムに感謝の心を表すために清掃活動に参加するのは素晴らしいことです。ダムには季節ごとに落ち葉が大量に流入したり、流木が流れ込(こ)んだりするので、水位の下がる時期に一斉(いっせい)清掃をするのはとても効果的な活動です。文末には「心が清々しい心になりました」と感想が書かれていて思わず涙(なみだ)ぐんでしまいました。どうもありがとう。

鹿の井出水で透明度(とうめいど)が約半分になり、水質が悪くなっていることに気が付いています。さらに皿井出川では、除草剤(ざい)の影響(えいきょう)がなくなり、透視度が2m以上に回復していることを見つけています。これは水質が改善されたことを示しています。次のメダカでは、わずかながら生き延びたこととタモロコいのいないことを考えるきっかけがあるのですが、それぞれの魚類の生育環境(かんきょう)を調べてみるのはいかがでしょうか。推定でもいろいろなことを考えることは大切です。

二酸化炭素の測定では、交通量多い街中の地点では 400 から 500ppm、自然がいっぱいの田舎では 200 から 300ppm、木や森林の多いところでは二酸化炭素はもっと低い濃度(のうど)になっていることを見つけていますね。具体的にその測定地点の写真をみせて注意を喚起(かんき)している工夫などすぐれていると思いました。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★

二酸化炭素の濃度(のうど)測定では、感想が書かれているのに、メダカやカダヤシでは感想が書かれていません。何か原因がありますか？推測でもかまいません。それを考えることが自然の不思議を解明してきたのです。

サポーターからは会の宣伝にする機会がないという声があるようですが、何年も蓄積(ちくせき)したデータがあると思いますので、それを経年変化の折れ線グラフなどの様式にまとめ、地域の環境(かんきょう)フェアなどで展示したり、イベント終了後役場や図書館などに掲示(けいじ)して、この活動を宣伝することはできないでしょうか？子供たちの情熱(けいぞく)を継続(けいぞく)させるためにも活動を続けて下さいね。

レインボーキッズのみなさんへ
師範から一言！
たくさん活動した内容を新聞の左側のキーワード「食品ロス、フードマイレージ、エネルギー使用量…」でまとめてある構成がすばらしいです。キーワードの横にかいてあるアクションも「旬を食べる、快適・便利はほどほどに、よびかけが有効…」のように短いフレーズで、分かりやすく書いてあると思います。
ダンボールコンポストは3年目とあるので、けいぞく的に取り組んでいることが分かりました。きっと生ごみが分解されやすいような工夫をしているでしょうし、生ごみをへらす生活に慣れてきたのではないのでしょうか。それなのに、感想にありますが、ごみの量が全国平均より多めなのはなぜでしょうね？どのようなごみが多いか調べてみるといいかもしれません。
ニホンカワウソをよく知る旅では、最後に目撃された場所に直接行くことで、地元の人の話を聞くこともでき、多くの発見と気づきがあったと思います。ほにゅう類ではありませんが、ハッチョウトンボやコガタノゲンゴロウなど絶滅が心配される生き物たちを守る取組みにいかせることは何かありましたか？生き物がくらしていくためには、くらす場所が必要なのはもちろんですが、他の生き物とのつながりがとても大切です。エネルギーについていろいろ調べてみて、日本で使われている電気エネルギーが何から作られているか分かったと思います。未来のエネルギーが何から作られていくかは、資源の問題、地球温暖化の問題など多くの視点(してん)で考えていくことになるでしょう。昔から比べると電気の使用量がかなり増えていることを考えると、新聞に書いてくれた「快適・便利はほどほどに」という意識が大切です。



とっておきのゴシドウ★
「地産地消」や「旬を食べる」が環境になぜいいのか(環境以外のメリットもたくさんありますが)、調べたことや体験をとおして意識してくれたようですね。このような意識をまわりの人にも広めるにはどうしたらいいでしょうか？昔はみんな地産地消で旬の食べ物を食べていたはずですので、わたしたち消費者の意識の変化があったのでしょうか。アンケートやインタビューをしてみるのもおもしろいと思います。みんなが考えたアクションを広めるための工夫をしてみてください。

高知県高知市 五台山こどもエコクラブ
壁新聞のタイトル: 39-01 39-02(全2枚)

五台山こどもエコクラブ ①を書いたみなさんへ
師範から一言――
五台山こどもエコクラブ①のみなさん、こんにちは。
私は高知県のみなさんの壁新聞を見るのは初めてなので、期待して読ませてもらいました！
書いてある内容を読むと、まず第一にとても楽しんで活動している事がわかります。
他のメンバーの名前や、何人参加したかなどが書いてあって「きっとみんなで協力しているんだなあ」と自然に伝わってきました！誰かと力を合わせながら楽しく活動するのは、学びのある良い活動を長く続けるきっかけになります。
壁新聞の感想に「みんなでいろいろなことをすると、とても楽しいです！いろいろがんばります」と書いてあるので、おそらくすでに理解していますよね。安心しているので、これからもみなさんで楽しく頑張ってください。
とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★
葉っぱや野菜、昆虫などの絵。そしてきれいに書かれた文字。いろいろな所がていねいに作られていて、とても見やすく感じます。壁新聞を作る目的はいろいろな事ですが、ひとつは一年の成果をまとめて、改めて自分たちの活動を振り返ること。
そして壁新聞を読んでくれた全国の人たちに、自分たちの活動やエコな取り組みを伝えること。
絵や文章などがていねいに作られた壁新聞は、読む人にとって理解しやすい点がたくさんあります。
このていねいに何かを作ったり取り組んだりする事は、みなさんがやっている料理や環境の活動にも通じる大切なポイントです。
ていねいでわかりやすくしようという気持ちはこれからも意識し続けられると、今よりさらにレベルアップ出来ると思うので、この調子でがんばってください！



五台山こどもエコクラブ ②を書いたみなさんへ
師範から一言――
五台山こどもエコクラブ②のみなさん、こんにちは！野菜やみなさんの絵を見て、楽しそうな活動の様子が想像出来ました。
そして1人ひとりの感想がちがっているのも面白いですね！
みなさんの感想をまとめる事で、改めて気付いた事や思い出した事が多かったのではないのでしょうか？
みなさん同士も壁新聞を読んだ人たちも発見が多くなる所が、大勢で活動に取り組むメリットです。
これからも、1人ひとりを力合わせてひとつの物を作っていくと良いですね。
とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★
カレー、おもち、豚汁、ポテトサラダ、おいも、そうめん、、、なんて食欲のそそられる壁新聞なんでしょう！！
特にカレーは大好物なので、おいしいカレーを食べられるなら、どんな事でもがんばれます！笑
おいしい物は、絶対にまた食べたくりますよね。それは次もまたエコな活動をやろうと思える充分な理由になります。
新しい野菜や料理にチャレンジして、おいしいレシピを届けて、エコな活動を広めていって下さい！



香美市こどもエコクラブハッピーコロリンのみなさんへ
師範から一言!

ハッピーコロリンのみなさん、こんにちは! みんなが作ってくれた「子どもにだってできる CO2 削減!!」の壁新聞を読みました。いやー、びっくりしたなー。こんなにすばらしい壁新聞が小学校 5 年生がリーダーのエコクラブで書けるんですね。

ニュースを見て外国では温暖化に苦しんでいることを知りました。私たちが住んでいる日本、高知、香美市はどうなっているのだろうか?ということから、6 月 23 日から 8 月 28 日まで、自分たちで作った百葉箱で温度を測りました。インドの 51℃にはなっていないけれど、真夏日に相当する 35℃を超える日が 8 月 2 日から 27 日まで連続であったのですね。もうそれだけで暑い、暑いです。最高温度、最低温度、湿度、朝 7 時 30 分の温度を毎日測り、大変ていねいにグラフにして記録しました。みんなよくやるなーと感心しました。身体で感じることを実際に測ってみるという、とても大事なやり方をやりました。温度だけでなくです。自分たちが感じたことを別の方法で調べて、感じたことはこういうことか! とはっきりさせることは、科学的なやり方としてとても大事なことです。これからも見たこと、感じたことや聞いたことなどを別の方法で調べる習慣が身につくと科学者になれるかな、と思います。

本当に暑い!! ではどうしたらいいだろうか?ということ、その 1 からその 10 までの活動をみんながやりました。こんなにたくさんのをやったのですね。頭が下がります。やった内容をていねいに書いてくれましたので、苦労したことや自分たちがやったことで将来、未来どんな結果が出るのだろうか、など楽しみ、期待したい気持ちが良く分かります。

それでもネット張りやマット張りで木を守ろう、土が流れ出さないようにしよう、などはとっても大変な、疲れる作業のようです。ハチが飛んできてこわい! 逃げろ! というパニングもあり、身体を張って作業をしたのが良く分かります。このような活動をみんなは、苦しい! いやだ! というのかと思ったら、違うので、またビックリです。ブナの木が大きく育って、みやびの丘が緑いっぱい森になると思うと、楽しくなります。あるいはスズタケが全滅していなくて、大喜び。スズタケ! 大きく育て! そして仲間をたくさん増やすんだ!!



高知県香美市 香美市こどもエコクラブ ハッピーコロリン 壁新聞のタイトル:子どもにだってできる CO2 削減!!

ジャコウアゲハが飛んでいてビックリ! などなどハッピーコロリンのみんなの気持ちがとても前向きなのがすばらしいです。森が元気で大きくなったら CO2 をたくさん吸ってくれて、地球温暖化が少しでも遅らせる、止めることができるのでは、と考えました。その通りです。

考えました! 涼しくなる方法。水に足をつけるだけで涼しくなります。足湯温泉というのがあります。温泉に足をつけるだけで温かくなります。その反対に夏場などは、プールや海に入らなくても足をタライやオケなどの水につけると涼しくなります。気分的にも涼しくなるので、よけいにそう感じるのでしょう。でも氷につけるとつめたすぎるね。水に足をつけるだけでなく、頭にぬらしたタオルを置く、首にぬらしたタオルを巻く、アイスクリームを食べる、これは最高だね! などなどいろいろな方法を見つけてくれました。緑のカーテンでどの位、涼しきなるかを調べてくれました。緑のカーテン、グリーンカーテンは有効だよと言うのは、聞いていたでしょう。そのことを実際に温度を測って調べました。緑のカーテンがあるだけで、5~8℃も低くなるのですね。日が当たらなくなること、葉っぱから水が蒸発してまわりの温度を下げているのですね。そうか! 森の中がすずしいのもそういうことか、と分かりましたね。

「みどりの小道」全国コンクールで香美市のこどもが 9 人入賞しました。さらにすばらしいのは、そのうち 5 人がエコクラブの人でした。ふだんから環境について、真剣に取り組んでいる成果が出たようです。代表で 6 つの日記を貼ってくれました。どれもこれも面白い内容でしたよ。特にオクラがぐったり。熱中症かもは面白かった。気温にばかり気をとられて水をあげるのを忘れちゃった。そうだね、私たちも暑いときは涼しい場所へ移動するのと共に水を飲もうね。言うに言えないこと...も良くある話ですね。せっかく大事に育てていた植物や花を雑草と間違えて、あるいは気にしないで取られてしまった経験はみなさん以外の人にもあるようです。この日記を書いた人は、草花を取ってしまった人をうらむのではなく、自分がちゃんと説明してなかったと反省しているのは、ふつうではできないことです。とってもすばらしいなーと感心しました。

とっておきのゴシドウ★

室戸の海岸を大掃除しました。たったの 2 日間ですが、いろいろなごみがとってもたくさんひろえましたね。川から流れついて海に出たのです。ヤシの実もありました。外国のペットボトルもありました。海は世界につながっていることを再確認できましたね。でも、こんなにたくさんのごみがあるのは、悲しいですね。どうしたらいいのでしょうか? ごみで海がよごれるだけでなく、魚やカメがビニールを食べて死んだりしています。なんとかしたいですね。

アンケート結果をだいにしていることも良く分かりました。ハッピーコロリンのみんなは、ちょっと出来過ぎなのではないかと感心しました。自分たちが気がついたことだけでなく、まわりの人の意見、考えを良く聞き、自分たちの中に取り込もうとする姿勢はとっても立派です。このような考え方や姿勢を大人になっても失わないようにして下さい。大丈夫! 心配することはなさそうですね。

香美市こどもエコクラブ なかよしエコクラブ①を書いてくれたみなさんへ
師範から一言――

「いろいろな活動をしたよ!!」の言葉通りに、一年間で色々な分野の活動をしていますね。どの活動の記事も、取り組んだこと、感じたことがしっかり書かれていて、がんばった様子が伝わります。みなさんが、楽しそうに活動していることもよく伝わりますので、壁新聞を読んだ人が「自分もこんな活動してみたいな」と思える内容だと思います。
私は舟入川のことは初めて知りましたが、今は運河としては使っていないのでしょうか？人が整備した川でも、今はたくさんの魚や鳥が暮らしているのでしょうかね。みなさんがごみを拾って、川がきれいになって、魚にとっても良かったと思います。地域の人にとっても、歴史ある運河が汚れていたら、残念だと思います。みなさんでこれからも地域の環境を守っていきましょう。
はまこうさんは、地元のケーキ屋さんでしょうか？普段見ることができない場所を見学できて、貴重な体験でしたね。シュークリームの皮だけでも、十分おいしいでしょうね。自分の好きなジャムなどを入れて食べたら、エコになるというのは、すてきな発想だと思います。同じように家でも、食べ物をなるべく残さないように工夫してみるといいですね。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
舟入川の流れに沿って記事を書いているのは面白いデザインですが、上流から下流に向かって、日付順に並んでいるのかな？物作りフェスタやキャンプの記事のところには日付が書いてありますね。とても良いので、他の活動でも、日付を書いてほしいなと思います。そうすると、川の流れとのつながりも良くわかりますよ。
文章をととてもいいに書いてあるので、2段に分けて一行を短くするのもいいと思います。書きやすく、読みやすくなると思います。普段の活動から、しっかり記録を書いているので、このようないい文章が書けると思います。これからもぜひ続けていってほしいと思います。



香美市こどもエコクラブ なかよしエコクラブ②を書いてくれたみなさんへ
師範から一言――

紙面いっぱい、みなさんの想いがつまっている壁新聞ですね。アピールポイントに挙げていた、筆で書いた題名や地球と虹の絵が、とてもインパクトがあって目をひきます。文章もとても気持ちがいいなと思いました。
「エコクラブを始めたとき・・・」の内容は読んで共感しました。新しいことを始める時には心配もあると思います。でも少しずつできるようになれば、安心したり楽しくなったりしますね。この壁新聞がエコ活動をやってみようかなあと思っている人の背中を押してくれるといいなと思いました。
みなさんは色々な体験をして、そこから普段自分はどんなことをできるか、をよく考えていて、素晴らしいと思いました。まとめにもありますが、自分たちができることにまず取り組むことが大切です。それは、水道の蛇口をしっかり締めたり、電気をこまめに消すといった身近なことです。みなさんはすでに実行しているようですので、ぜひ続けてほしいと思いますし、周りの人にも広めていきましょう。



とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
文章はともしっかり書けているので、書きやすく・読みやすくなる工夫として、一行が長くなりすぎないように、2段にするのもいいと思います。また、一文が少し長いものもあるので、清書する前に読んで確認してみましょう。
さがわの森の活動で、みなさんが植えた苗(漢字はサポーターさんに確認してもらうといいですよ)が動物に食べられてしまったのは残念でした。柵を作ったので、これからは食べられないで、苗が元気に育つといいですね。でも、シカやイノシシはなぜ苗を食べてしまったのでしょうか？今、全国で野生生物による食害がみられるので、みなさんの地域だけの問題ではありません。少し難しいかもしれませんが、どんなことが原因なのか、ぜひ調べてみて下さい。

香美市こどもエコクラブ みどりクラブのみなさんへ
師範から一言！

私たちが森を守るよ！と言うのを高知弁で言うと「うちらが森を守るがやきね！」と言うのだね。方言と言うのは、とっても味があって、自分たちの気持ちが前面に出てくるのですばらしいですね。この間、新聞にも出ていたけれど、方言でおこられるとやさしい気持ちになりますとありました。わかるなー！

富山県のお方言で「きのどくな」は「ありがとう」って言う意味なんだそうです。方言っておもしろいね。

方言はともかく、この壁新聞を見てビックリしました。5さい、8さい、9さいのなかよし女の子3人で、自分たちのことばで、そして手で書いたことがすばらしいですが、それ以上にすばらしいと思ったのは、自分たちがどんな活動をしたか、だけでなくその結果でどんなことが分かったか？どうしてそうなるのか？こんごはどうしたら良いかまでしっかりと書いてあるのが、とてもすばらしいと思いました。

みんなの活動の原点が、高知県の物部川をはじめ川がとてもきれいで、すきとおっています。川から海に流れて海が青くかがやいている、そんな高知県のすばらしさを、空からもかくにんできました。きれいな川、青くすんだ海、それをささえるのが森だ！と気がついて、“森を守ると川や海も守れる”これが3人の活動の原点だと思いました。

そして「さがわの森」に森を作ろう！ブナを植えたよ！になりました。でも森を守るには、シカなどの動物から木を守らなければいけない、ネットをしっかりと立てて、シカなどが食べないようにしましたね。もう一つ考えることは、シカがふえすぎるのも良くないということで、鉄ぼうやワナでシカをへらしていることも知りました。3人の感想:動物たちが山だけでくらすと、山の緑もへらないようにバランスのとれた自然が一番です、その通りです。

このようなとても大事なことに気がついて、いろいろな活動をしている3人はとてもすばらしいと思います。

クイズこれ何だ！？シロバナタンポポ以外4問全部はずれました。サメ！信じられないなー。マテ貝のとりかたを教えてくださいました。ありがとう。アボガド、お茶の葉っぱ、うーん知らなかったな。

カヌーにも乗りました。い草で門松も作りました。かかしも作りました。おもちを作って食べたよ。カヌーのこぎ方は左右に動かすようにこぐことを知りました。本物の竹とい草をつかって、とてもよいにおいを感じました。らい年はゆう勝するぞー。お年よりにおもちをくばりました。3人のやさしいころが見えますよ。川の水がきれいだと、魚だけでなくお米にもとてもやくにたつことを実感しましたね。

自然の力発見ノートのすばらしさを私は発見しました。それはさいしょとさいごのページです。大根の切残りから葉っぱが出てきました。とうみょうの切ったあとから、また芽がでて大きくなりました。命の力、命のすばらしさに3人は感動したようですね。ここが私が感心したノートのまとめ方です。シタケの話、松林、お米のうまさのひみつ、トマトの話、干しがきの作り方、おばーちゃんちの野菜から虫を見つけて、そだてたのは、女の子にはできそうもないのに、えらいねー。どの話も発見がありましたね。

高知県香美市 香美市こどもエコクラブ みどりクラブ
壁新聞のタイトル:うちらが森を守るがやきね！

とっておきのゴシンドウ★

海や川でもいっぱい発見ができましたね。石が丸いのは、なぜ？と3人はぎもんに思ったとしたら、とてもすごいですよ。当たり前のようなことにぎもんを持つことが、とてもだいじなことです。川や海の水がきれいだからこそ、きれいな色の魚が見えるのだよね。当たり前ですが、きれいな水にするのはどうするかを3人は知っていますね？そうです、森がきれいにしていきます。太陽の力のすごさにも気がつきましたね。3人はとても良いけいけんをたくさんしましたね。

海のこわさも知ったようですね。こわいことを良く知っていた昔の人は、海岸に松の木を植えたのですね。なぜ、ほかの木でなく松の木なのか？自然の力発見ノートに書いてくれました。みんなの勉強する力のすごさが、ここにもあることを私は発見しましたよ。

ゴーグルってどこで使うのかな？水の中に入る時に使いますね。でもみんなはカレーを作るときにもたいへん役にたつよ！と教えてくださいました。これも発見ですね。

3人が作った壁新聞は3つのすばらしさがつまった新聞であることが良く分かりました。

一つ目は、森を守ることがどんなにかすばらしいことか！

二つ目は、発見です。発見で感動し、つぎへの行動への力になります。

三つ目は、命の力、命の大事さです。

とてもすばらしい新聞をありがとうございました。

らい年は、どんな発見、感動を私たちにくれますか？楽しみにしています。



高知県香美市 香美市こどもエコクラブ 自ぜんとふれあいたい
壁新聞のタイトル:みんなで森を守ろう！！

39-07

香美市こどもエコクラブ 自ぜんとふれあいたい みなさんへ
師範から一言！

「みんなで森を守ろう！！」壁新聞でシカによる食害(しょくがい)から木を守る活動をほうこくしてくれてありがとう！！

香美市のもみやび丘と同じようにシカによる食害は日本全国でおきているようですね。このシカによるひどい食害のことを壁新聞で記事にして全国のたくさんの壁新聞の読者のお友だちに知ってもらうことはとてもたいせつなことで、これらのお友だちのところでシカによる食害でこまっている人たちにとってとてもじゅうようなじょうほうになっていると思います。だから、みなさんの壁新聞はとてもたいせつなやくわりしているりっぱな記事だと思います！！シカによりとてもたいせつな山や森の木がどんどんへってきて、木のなえ、かわ、みもたべて、雨の日には根がよわり、土が川に流れて、川がよごれて魚がすめなくなっているひどいじょうきょうが写真や絵でよくわかりました。

また木をうえてシカにたべられないようにかこいをしたり、木をあみでまいて皮をたべられないようにしているみなさんのまじめなかつどうで、山や森が少しづつかいふくしてきて、シカがもっとへっていくことをおいのりします！！



とっておきのゴンドウ★

みなさんの壁新聞に「木はきれいな空気してくれる。」と書いてあったけど、これは森の中の木のとてもたいせつなはたらきの一つで、森の中の木の三つのとてもたいせつなはたらきである「二酸化炭素をすってさんそをつくる」、「緑のダムとして地下水をため、やまぐずれをふせぐ」そして「森の中の生き物は食べるものと食べられるもののつながりからできているという食物連鎖(しょくもつれんさ)」のことを学ぶと、しぜんや森のことにもっときょうみがわいてくると思うよ。シカがのうぎょうにあたえたひがいは、やく 60 おく円というとても大きなお金で、森にすんでいる動物による食害の 3 ぶんの 1 だそうです。だから、日本のいろいろなところでシカの食害を小さくするためのほうほうを、せんもんかのひとたちがかんがえており、そのほうほうもいろいろとあるようで、みなさんのみやびの丘で一番よくあったほうほうをえらんで、チャンレジしてみてはいかがでしようか。

高知県香美市 香美市こどもエコクラブ ハッピーアドベンチャー
壁新聞のタイトル:アースレンジャー新聞

39-08

香美市こどもエコクラブ アースレンジャーのみなさんへ
師範から一言！

たくさんのわだいのある「アースレンジャー新聞」を作ってくれてありがとう！！この壁新聞を読んでくれるお友だちにとってとてもわくわくする記事がいっぱいあるね。

「ブナの森づくりプロジェクト」では、はげ山のみやびの丘をシカが種から育てた苗木を食べないようにほごさくをして、むかしように緑でいっぱいにするすばらしい森づくり活動、「みんなで守るよ森から海へ」では、とてもふかいつながりのある森と海のかんけいを森が雨水をためて、大雨でも水をダムにためて、その水が飲み水や田畑の作物を育てる水になり、海に流れるという説明してくれてありがとう！！

「森をつくろう」の活動では、シカから木や苗木を守るためにみなさんでできる「保ごさく」、「土止め」、「ネットはり」、「苗うえ」そして「根を守る」というほうほうをしっかりとやっていることが森のためにとてもすばらしく、りっぱなことですね。

みなさんが海岸をさんぽしながら、漂流物(ひょうりゅうぶつ)を観察したり集めたりすることをビーチコーミングといいます。貝がらや流木、ガラスのかけらを観察したりひろい集めて、流木や貝がらでクラフトや標本を作って楽しんだり、そのままかざって楽しんだりして、海岸で宝探しをしてはいかがでしようか。



とっておきのゴンドウ★

「みんなで守るよ森から海へ」という見出しがあったので、森と海のふかい関係をしらべるともっとしぜんことがわかりおもしろかったと思います。

森のおち葉やかれ木は、えいようのある腐葉土(ふようど)という土になり、雨や雪とけ水は、この腐葉土にしみこみ、長い時間をかけてながれだします。えいようのある森の水は、やがて川となって、海にながれていきます。このように森から海にはこぼれたえいようは、海の植物プランクトンをそだてて、そのプランクトンを食べる貝や魚などがいきいていけるので、ゆたかな海となり、森と海はとてもなかよしの関係なのです。

香美市こどもエコクラブ リサイクルチームのみなさんへ
師範から一言！

美しい緑でいっぱいのたくさんの山を書いた「森林と海を守る Let's Go!!」エコ新聞は、とてもめだち、山に関してどのような記事(きじ)が書いてあるのだろうととても気になりました!!!

「みやびの丘とさがわの森でのネットはり」や「ブナの森でエコ活動」の記事では、ブナやリョウブの苗木のシカの食害をふせぐためにネットをはりをがんばったので、一日も早く森が美しい緑におおわれて変身することをきたいします!!!

「やすの海でカヌー」の記事では、カヌー体験や日曜市はとても楽しかったようだね。火力発電と風力発電のちがいが勉強できたかな。また海岸には海草だけでなく、いろいろなひょうりゅう物が流れてくるのでおどろきだね。

「環境日記はエコガイド!」と「緑の小道」の記事では3ヶ月の長い間、トマト、電気、オタマジャクシ、せんぶうき、お茶、テレビ、ゴミなどのいろいろなエコ活動は地球の環境問題のかいけつにととてもやくにたち、すばらしいけいけんをしたと思います。

「さおりが丘のマネキグサ」の記事では、さくでシカの食害から守られたぜつめつきぐしゅのマネキグサのピンクの花が年々広がってよかったね。みなさんがシカの食害から守るためにくろうして植えた苗木やマネキグサ、そして「森の巨人たち100選」に選ばれたトチノキにどうしても会いたくなりました!!! 1年間のエコ活動、ほんとうにおつかれさまでした、そしてよくがんばったね!!!

とっておきのゴンドウ★

次回のエコ新聞では海を守る活動のことと、森と海のふかい関係を調べてそのほうこくをまっていますよ!!!



香美市こどもエコクラブ みどりサイクルのみなさんへ
師範から一言！

みなさんの「ぼくらのエコ活動新聞」は、まるでふつうの新聞のように作られており、とても読みやすいすばらしい新聞です!!!

さおりが丘・みやびが丘・さがわの森、火力発電と水力発電、エコキャンプ、エコクッキングそしてかかし作りと、いろいろなわだいがたくさんあり、そしてとてもきちょうなエコ活動を体験しながら、ひじょうにうまくまとめられた新聞ですね。

さおりが丘はみなさんのせんぱいたちがくろうして、木や苗木をシカの食害からネットで守ったりしたことで少しずつふっかつして、種からそだてたマネキグサの花も咲き、そしてみなさんはスズタケを守るためにほごネットをして、さらにみやびの丘ではブナの赤ちゃんが土砂くずれやシカの食害でだめにならないようなくふうをして、森のほご活動をがんばりましたね。

海ではビーチコーミングを楽しむことができたようですね。ビーチコーミングにはルールがないので、お友だちそれぞれで、いろいろな遊び方、楽しみ方がありますよね。ひろった生き物を観察したり、貝がらや流木(りゅうぼく)でクラフトを作ったり、海の自然、文化、歴史について、たくさん学ぶことができますよ。香美市の山や海の自然のことを思いきり楽しみ、学んだ1年だったようですね。おつかれさまでした!!!

とっておきのゴンドウ★

さおりが丘とみやびが丘ではみなさんとせんぱいたちのすばらしいチームワークができあがり、このチームワークをこうはいのみなさんにもぜひ、ひきついでいてほしいと思います。



The collage features several newspaper clippings. The most prominent one is a large headline in pink and black text that reads "からば隊が行く 2016" (Karaba-tai ga Iku 2016). Below this headline, there is a sub-headline in red and black text: "30世紀のあつくり 77世紀". To the left of the main headline, there is a smaller article with a photo of a person and the text "アズラン". To the right of the main headline, there is another article with a photo of a person and the text "からば隊が行く". At the bottom of the collage, there are several smaller articles, including one with a photo of a person and the text "からば隊が行く". The collage is a mix of text and images, with a focus on the "Karaba-tai" group and their activities in 2016.



エコまめクラブのみなさんへ
師範から一言――
わんぱく三兄弟で活動するエコまめクラブさんが住む三笠地区は、本当に自然豊かな所だと言うことが伝わってくる新聞です。家のそばでホテルが見られるとてもぜいたくでうらやましいところです。
新聞の作り方も迫力満点で伝わってくるものがたくさんあります。真ん中斜めにどーんと横たわる「ほうまん川」がとても印象的です。また、生き物のイラストなどとても元気で楽しい新聞になっています。また、読んでいる人に伝えたいこと3つを取り上げて詳しく書いてあるのがとてもよいです。とりわけ、3つのトピックの中で、三笠地区の自然を守るために関わっている地域の人について書いてあるところがとても良いと思いました。自然豊かな三笠地区で、ますますいろいろな体験を重ねて下さい。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
エコまめクラブのメンバーはまだ低学年ですから、これからいろいろな体験をして、その時、その時に感じたこと、伝えたいことを毎年壁新聞にまとめてみよう。そして、その活動をこれからいろいろな人たちに、壁新聞を通じて伝えていって欲しいです。そして、活動自体も、家族だけでなく、周りのお友だちなどぜひ仲間を増やして活動の幅を広げて欲しいなあと思いました。そして、これからは、子どもの力でも自然を残すために何が三笠地区で出来るのかを考え、実際に行動に移し、壁新聞で報告して下さいね。

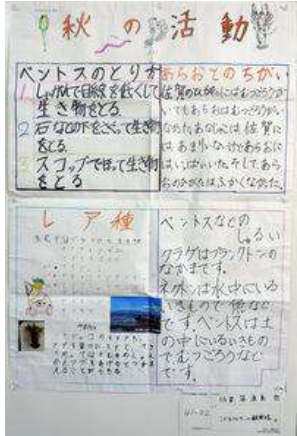


佐賀県鹿島市 鹿島市役所 ラムサール条約推進室 鹿島市こどもラムサール観察隊
壁新聞のタイトル:①ラムサール新聞これからの活動 ②秋の活動 ③④楽しかった夏の活動 ⑤アイデアレシピ ~私たちにできること~
41-01(推薦)、41-02、41-03、41-04、41-05(代表) (全5枚)

鹿島市こどもラムサール観察隊①の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！
これからの活動を新聞で教えてくれてありがとう。
多くの冬鳥に会えるのを楽しみにしているワクワク感が伝わってきます。
珍しいクロツラヘラサギを目の前で見られるのはとても良い環境、うらやましい環境です。
たくさんの冬鳥や生き物を見つけ、たくさんの発見をして、また報告してくれるのを楽しみにしています。クロツラヘラサギにたくさん会えるといいですね。
とっておきのゴシンドウ★
クロツラヘラサギの飛来数を数えるようですが、他にはどんなことを調べるのでしょうか？
水辺の冬鳥は動きも少なく観察もしやすいでしょうから、行く前にも、生きものを見つけたらこんなことを調べたいと考えておくといいかもしれないですね。



鹿島市こどもラムサール観察隊②の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！
秋の活動のようすがよくわかりました。
荒尾干潟ではアナジャコがいっぱい採れたのでしょうか。アナジャコ採りは楽しかったでしょうね。師範も一度やってみたいものです。
干潟の生き物には、海の環境のために大切な役割を持つものがたくさんあります。そんな役割もぜひ調べてみてください。
とっておきのゴシンドウ★
同じ有明海でも佐賀の干潟とのちがいがいろいろとあるのですね。興味深く読ませてもらいました。何が影響してそのように環境がちがってくるのでしょうか？調べてみると何かわかるかもしれません。わかったらまた教えてください。



佐賀県鹿島市 鹿島市役所 ラムサール条約推進室 鹿島市こどもラムサール観察隊
壁新聞のタイトル:①ラムサール新聞これからの活動 ②秋の活動 ③④楽しかった夏の活動 ⑤アイデアレシピ ~私たちにできること~

鹿島市こどもラムサール観察隊③④の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！
夏にはたくさん活動をしたんですね。楽しかった活動の様子がよくわかりました。
鹿島の干潟での棚じぶ漁では良い体験ができましたね。思ったより魚は多かったですか、少なかったですか。多くの種類のたくさんの生き物がすむような干潟をみなさんも大切にしていってください。
とっておきのゴシドウ★
ほかにも干潟手形、干潟の生き物の紙ねんどづくりなど干潟に関する良い体験でしたね。作りながら、干潟ことや干潟の生き物のことをくわしく知ることができたことと思います。他の地域の人たちとの交流も大切なことです。楽しい活動をこれからも続けていってください。



鹿島市こどもラムサール観察隊⑤の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言！
アイデアレシピをたくさん教えてくれてありがとう。
五感を動かして楽しく干潟を学んでいくのも、とってもいいことです。みなさん(子どもたち)の楽しい発案をどしどし大人の方に伝えていってください。ひとつでも実現できるといいですね(ゴカイのサラダスパゲッティはちょっとえんりよしたいですが・・・)。
とっておきのゴシドウ★
川に捨てられたつり糸やつりばりは、本当に困ったもので、気になりますね。なくすためにどうしたらよいか、私たちにできることを考えるのはとっても大切なことで、考えたみなさんはすばらしいです。せっかく考えたアイデアは、サポーターさんや市役所の人と相談し、大変でしょうが、こどもエコクラブのみなさんから発信できるとすばらしいです。



鹿島市こどもラムサール観察隊のサポーターさんへ
とっておきのゴシドウ★
こどもたちにいろいろな体験の機会を与え、地域の環境を伝えていかれているようで、とても素晴らしいです。
限られた活動日程の中で、壁新聞までまとめられることは大変だったことと思います。
まずは地域の環境を知ることでしょう。次には、貴重な有明海の干潟を身近に持つ環境として、当たり前と思われているのかもしれませんが、その環境の何が良いのかを知り、大切にしないとならない気持ちをさらに育まれるよう継続、進展されることを期待いたします。
市でこのような運営をされることで、環境への関心の高い親子とつながり、環境を大切にする気持ちを育むことができていいることと思われます。このような市の取組みが他の自治体の模範となっていられることもおおいに期待させていただきます。

長崎県佐世保市 こばとエコクラブ
壁新聞のタイトル: 42-01

こばとエコクラブのみなさんへ
師範から一言――
壁新聞の応募用紙の方に「本当の新聞みたいに中身を詳しく書きました」と書いてありますが、その通りだなあと、とても嬉しく思いました。どの活動の記事も、いつ、誰が、どこで、何をやったかがしっかり書いてあって、とてもわかりやすいです。そして、思ったことや気づいたこともしっかり書いてあります。文章も読みやすいし、字もていねいに書いてあると思います。読む人にとっても親切な壁新聞だと思いました。みなさんが普段の活動で、地域の行事に参加したり、1年生から6年生まで一緒に活動したりすることで、他の人に親切にすることが自然にできているんじゃないかな、と思いました。すばらしいことなので、これからも自信をもって続けていきましょう。
ごみ拾い活動で、多かったごみはタバコの吸い殻と空き缶だったんですね。私もごみ拾いをすると、その二つが多くておどろきます。タバコの吸い殻は、火事の心配もあるので、本当に困るごみだと思います。消防クラブの活動と合わせて、タバコの吸い殻を捨てる人が減るように、みんなに伝えられるといいですね。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
壁新聞の方にも、こばとエコクラブの簡単な紹介があると、もっとよいと思います。いろいろな学年のメンバーが集まって活動していることがよくわかってと思います。これからもみんなで仲良く活動していって下さいね。



下里エコクラブのみなさんへ
師範から一言――

みなさんは小さい方は未就学の子から、大きい方は中学3年生まで、幅広い年代で構成されているクラブなのですね。高学年のメンバーは、低学年のメンバーのサポートもしながら活動してくれていることと思います。そうゆう姿も後輩たちに引き継がれているので、長く続いているクラブなのでしょうね。これからもみんなで協力して活動してほしいと思います。稲の栽培では、200m²の田んぼを使ったのですね。これでどれくらいのお米が採れるのでしょうか？自分で作ってみて、普段買っているお米と比べて、味はどうだったのかな？そういったこともぜひ普段から記録しておいて、壁新聞に書くといいと思います。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★
活動テーマはメンバーと話し合っただけのこと、とても素晴らしいことだと思います。活動テーマを決めることは難しいことですが、自分たちで決めれば、気持ちも高まりますね。なので、ぜひ話し合いの内容も、壁新聞にも書いてみるといいと思います。「なぜこの活動をしたのか？」を書くのは、少し難しいことなのですが、それが書いてあると、とても読み応えのある壁新聞になります。ぜひ挑戦してみてください。また、他のクラブの壁新聞でも、そういったことが書いてあるものを参考にしてみてくださいね。



西里小5の1エコクラブのみなさんへ
師範から一言！

総合学習で学習した「水俣」の話で、みんなは水俣に行って水俣病の勉強をしました。とてもショックで、ビックリしたのでしょう。このことがきっかけになり、地球温暖化、熊本の水、そしてごみのことを協力して、みんなでぶんたんして調べたのですね。とても良く調べたなー、勉強したなーということが良く出ている新聞です。素晴らしいです！水俣を勉強して、みんなが気がついたこと、学んだことでは、過去のつらい経験をのりこえて水俣の人々が力強くなったことと人々のつながりが強くなったことに気がきました。素晴らしいことに気がきましたね。そして、みんなの心に正面から向き合っ、決してあきらめない、プラスのことにかえていく、強く、美しい心がめばえたのは、とても良い勉強になったと思います。正面から向き合い、決してあきらめなかった水俣の人々がいたので、水俣の海はとてもきれいになり、魚もたくさんいるようになったのですね。熊本の水はとってもおいしそうですね。しかし、水のありがたさは、なかなか気がつかないようですね。毎日、当たり前のように、ふんだんに使っているのが私達ですね。これは熊本県にかぎらず、どこの町、どこの県、どこのちきでも同じようですね。でも、熊本県の場合は強い地震をけいけんして、水のありがたさ、だいじさを身にしみた人たちですね。

ですから、少しずつでよいから節水しましょうとなりました。君たち、あなたたちができることは、ぐたいてきには何でしょうか？森林と水を組合わせて考えている皆さんの目のつけどころは、たいへん素晴らしいです。森のやくわり、たとえば木材をつくる、二酸化炭素を吸収するなどをしっかりと書いてくれました。おいしい水も作りますと、ふつうは気がつかないところまでちゃんと書いてくれたのは、素晴らしいです。62%が森林である熊本県が水がおいしい理由が良く分かりますね。ミネラル成分のちがいを調べました。これだけちがうと、みんながのんで、どのように味がちがうのか？みんなの感想が聞きたかったな。環境に悪いごみも調べました。これは実際に外に出てごみひろいをしてまとめた結果ですね。いいですねー。環境に悪いごみと言っていますが、どのように悪いのですか？どうして悪いのだろうか？当たり前と思わないで、みんなで話し合ってみると良いと思います。



壁新聞のタイトル:

紙以外のごみとしてプラスチックが多いですね。このような町の中にすてられた、プラスチックが風にとばされ、川にはいり、ながされて海まで行きます。レジふくろはウミガメがくらげとまちがえて、食べてのどにつまるなどのひがいも出ています。プラスチックは波にもまれて、太陽の光でぶんかいして、とても小さなプラスチックになります。このようなプラスチックのことをマイクロプラスチックと言って、魚がたべてしまうこともあります。生き物にとってどんな害があるか、いま、世界中で調べています。良くないことはようにそうぞうできます。ということもあり、プラスチックが環境に悪いごみの一つでもあります。レジふくろを使わないでエコバッグを使っている人は、という調査もやりましたね、自分でできることから、やっていくという大事なことをじっせんしているお友だちも多いのは心強いですね。

とっておきのゴシドウ★

地球温暖化のことも良く調べましたね。温暖化とはどういうことか？どうして温暖化になったのか？温暖化のえいきょうはどんなことがあるのか、そして温暖化を防止するためには、どんなことがゆうこうなのだろうかも調べてくれました。

温暖化のえいきょうは、洪水や海面が高くなることや生き物がぜつめつする心配もありますよ、食料も不足するようになります、熱帯の病気もふえるのでは？といろいろな面から調べてくれましたね。

こんな大変なことがおこりつつありますが、私達の手で、みんなの手で温暖化の進み方をおくらせることは、何ができるのですか？①ノーマイカー通勤は、きみたちにはできるのかな？③省エネ家電製品の購入は、あなたたちにできるのかな？④、⑤も同じぎもんがあります。君たち、あなたたちができることを考えて実行することが、一番だいじなことではないでしょうか？

最後に、私からみんなに提案したいことがあります。水俣ではごみを21種類に分けていますが、なぜ、そんなに分けているのでしょうか？熊本では一人一日2Lの節水を求める運動が始まりました。なぜ、2Lなのですか？地球温暖化防止のまとめで、電気をムダに使わない、レジふくろをもらわないようにしようとして書いてありますが、なぜなのですか？

みんなが言うから、新聞にかいてあるから、きそくで決まったから、ということで、こうしようと書く前にみんなで、なぜ？なぜ？と問うてその理由を考えることがとても大事です。理由が分かると、そうしなければいけないことがはっきりと分かり、行動がスムーズに、しっかりとできるようになります。

ぜひ、なぜだろうとかんがえるしゅうかんをつけるようにすると良いと思います。

つぎの壁新聞は、なぜ？についても書いてくれると大変、うれしいです。待ってます！

熊本県八代市 日奈久小学校 体育・環境委員会

壁新聞のタイトル:HKEK 新聞 part6

43-02

日奈久小学校 体育・環境委員会のみなさんへ

師範から一言！

日奈久小 体育・環境委員会のみなさん、こんにちは。またみなさんの壁新聞を見る事が出来てうれしいです！

去年読んでいて一番記憶に残った「エコランド」ですが、今回も大人気だったようですね。

紙バックとんぼとペットボトル弓矢の作り方も書いてあるのは、読んで興味を持った人が家でも出来るのでエコを広める事につながります。

その他にも、ごみの重さやエコランドの参加者数など、しっかりと数字のデータを積み重ねている所も、説得力のある壁新聞になっていて良いですね。

とっておきのゴシドウ★

みなさんの取り組みはどれも興味深いです。

中でも燃えるごみのチェックは、基本的ですが大切な取り組みですね。

学校のように大勢の人が過ぐす場所では、分別方法をまだ知らない人もいれば、わかっていてもつい捨ててしまう人などもあるでしょう。

どちらにしても、正しいルールを伝えるというのも壁新聞で出来るエコな活動のひとつです。

実際の写真も付けると見た人全員にわかりやすいので、上手にまとめる事が出来ていると思いました。

また今年も来年も、いろいろな年齢の人にエコなメッセージが届く壁新聞を作ってください！



熊本市八代市 日奈久小学校 5 年生
壁新聞のタイトル:エコ活動で、環境を守ろう 日奈久環境新聞 地球を守る環境新聞 日奈久から世界へ～環境新聞～
43-03 43-04 43-05 43-06(全4枚)

日奈久小学校 5 年生 eco のよさ知ってもらい隊のみなさんへ
師範から一言！
eco のよさを知ってもらい隊のみなさん、こんにちは！グループ名からエコな活動への意欲が感じられて、とても頼もしいですね！
壁新聞にもありますが、熊本県と環境問題といえば「水俣病」は必ず出てくる重要なワードです。
私を含め、水俣病がどのようなものか、水俣病になってしまう原因など、教科書や学校の授業を通して知っている人は日本中にいます。しかし今回みなさんは、実際に水俣病で苦しんできた方に直接話を聞くという、他の人たちにはなかなか機会のない貴重な経験をしました。今後も水俣病が 2 度と起きないように、そして水俣病のリアルな経験談を知らない人に発信出来るような、そんな大人に成長してくれる事を期待しています！
とおきのゴシドウ★
水俣病の他にも、いろいろなエコの調査結果や内容が見た目もキレイにまとめてあり、内容も具体的なのですばらしいです。
ただひとつだけ、どうしても伝えたいと思った点があります。
壁新聞の中に「エコ活動をしたら少し不便になりますが」という言葉がありますね。
エコ活動をする事が不便に感じるかどうかは人それぞれの感じ方によって違うと思いますが、エコ活動をしなかった事で深刻な環境問題が起きた場合は、世界中の人にとって不便な事しかありません。
マイナスイメージにつながらないような方向から考えて、上手く呼びかけられるとより良い壁新聞になるでしょう。
「eco のよさを知ってもらい隊」というグループ名のみなさんだからこそ、ぜひプラスの捉え方をして、楽しみながら eco のよさを知ってもらえるようなアイデアを考えてほしいと思います！



日奈久小学校 5 年生 ゴミ戦隊ガールのみなさんへ
師範から一言！
ゴミ戦隊ガールのみなさん、こんにちは！4 人でこれだけしっかりした壁新聞を作った事におどろきました、すごいですね！
みなさんが地域の環境問題を調べて、最も重要だと思ったテーマを取り上げた点に、私は注目しました。
日頃から関心を持つようにならないと、こういった発想にはならないので立派だと思います。
そのテーマがしっかりしているからこそ、ひとつずつの記事の内容も論理的で、読んでいても納得出来ます。
これからも目的やテーマを明確にして、エコについて取り組んでほしいです！
とおきのゴシドウ★
風呂水の再利用やリユース、リサイクルなど具体的な方法が書かれていますね。
どれも良い取り組みだと思いますが、その中でひとつだけ気になったところがあります。
ペットボトルを洗って使えばマイボトルとして再利用出来ると書いていますが、同じ項目の中で直前にレジ袋をもらわずマイバッグを使う話が出ているので、少し違和感を感じました。ぜひそこは、はじめからマイボトルも水筒などを持ち運ぶ事をオススメして欲しかったなと思います！こういった生活に密接に関わる細かいエコは誰でも取り組みやすいですし、長続きもしやすいので、どんどん発信してって下さいね。



熊本市八代市 日奈久小学校 5 年生
壁新聞のタイトル:エコ活動で、環境を守ろう 日奈久環境新聞 地球を守る環境新聞 日奈久から世界へ～環境新聞～

日奈久小学校 5 年生 環境守ろう隊のみなさんへ
師範から一言！
環境守ろう隊のみなさん、こんにちは！
全国のいろいろな壁新聞を毎年見ていますが、みなさんの作った壁新聞は字や絵がていねいに書かれていて、見栄えがよいと感じました。そして記事にした内容も、日常生活で実践出来る提案がたくさんありますね。
すぐにでも実践出来る事ばかりなので、エコを広める効果が非常にありそうです。
見た目も内容も、どちらを取っても読みやすくてわかりやすいので、とても良い壁新聞に仕上がっていると思います！
とおきのゴシドウ★
地域のごみの量を調べる取り組みはよくありますが、地区を分けて調べた所に工夫を感じました。
落ちていたごみの結果も異なるので、今後も調べると面白そうですね！
ひとつ気になって知りたいと思ったのは、ごみの種類でどちらも「その他」が一番多いですが、実際にどのようなごみが多かったのでしょうか？
何のごみが多いのかによって、そこから見えてくる現状や対策が立てられるかもしれません。
データを集めた後は客観的に分析をして、次にどのようにしたら問題の改善につながるのか。
そこまでをセットにして考えるとさらに説得力が増すので、次回はぜひその点に取り組んでみて下さい！



日奈久小学校 5 年生 エコキッズのみなさんへ
師範から一言！
エコキッズのみなさん、こんにちは！
「日奈久から世界へ」というタイトルがとてもすばらしいですね！
この壁新聞を読んで、みなさんの気持ちがこもっているなと思った箇所が多かったです。
そう感じられたからこそ「悲しい気持ちになりました」や「お家の人や地域の人にも広めていきたいです」などの呼びかけが、より心に響いたように感じました。環境問題についてただ伝えるのではなく、気持ちの入ったプラスアルファの言葉があるだけで、読んだ人にメッセージが届きやすくなります。
熱意を持ってまとめた事がわかる、良い壁新聞ですね！
とおきのゴシドウ★
気持ちがこもっている他にも、みなさんの環境問題に対する目的意識もとても伝わってきました。
「一人一人が環境のことを考えて生活していく事が大切」「きれいな世界にしていきたい」など、ポジティブな目標が見られますね。
小学生のみなさんが前向きに取り組む姿を見ると、読んだ大人はとてもうれしい気持ちになり、みなさんを見習ってエコを頑張ろうと思うようになる事でしょう。明確なビジョンを持っている人はどんどん成長していき、周囲に良い影響を与えられる存在になります。これからも、何事も希望を持ってチャレンジしてって下さいね！



次世代のためにがんばろ会 こどもエコクラブのみなさんへ
師範から一言！
次世代のためにがんばろ会のみなさん、こんにちは。
活動を通してたくさんの学びや発見があったのですね。とても楽しんでいる様子に、こちらまでうれしくなる かべ新聞でした。
熊本地しんでは、車中泊をしたのですね。今まで当たり前のように使えていた電気や水が使えなくなってしまうのは困りますよね。その経験を活かし、エコ宣言を考えていることにとても頼もしさを感じました。まさに、次世代のためにがんばっていることが伝わります。
他にも、地引き網体験、植物観察会、氷川ダムデイキャンプ、ゴミゼロポスターなど、自然と触れ合う体験、環境のための体験をたくさんしましたね。中でも、私がとても気になったのは「もったいなかばこ」です。名前もおもしろく、実際に野菜を育ててみる実験もしていて すばらしいですね！もったいなかばこの土が野菜にとって良い土だと分かったのも実験をしてみて分かったことです。自分の目で見たことや経験したことは、記憶に残ります。ぜひ、これからも、どんどん新しいことにチャレンジして、どんどん新しい発見をしていってください！
もしまた、おもしろいことを見つけたときは、かべ新聞で教えてくださいね♪



サポーターへのおきゴシドウ★
かべ新聞の作成お疲れさまでした。
子どもたちが自らいろいろなことを感じ、いろいろな知識を吸収していることが伝わる上に、見やすさも工夫されていて、とても良いかべ新聞でした。取り組んだ活動内容や感想がしっかりと書かれているので、よい学びになったことが伺えます。
自分たちの活動内容がしっかりと理解し、自分の中で経験となっているので、次はぜひ周りに発信することを視野に入れてみてください。ゴミゼロポスターのように、自分たち以外の人へ環境問題を伝えるには、どうしたら良いか、どうしたら分かりやすいかを考えてみてはどうでしょうか。他人に伝えるためには、まず自分がしっかりと理解しなくてははいけません。今回のかべ新聞でしっかりと学んだ次世代のためにがんばろ会のみなさんなら、どこかの施設で発表会をする、ポスターを作る、など、きっと良い周知の方法が思いつけると思います！そんな活動をしたときは、ぜひまたかべ新聞にまとめてください^^

水俣市立水俣第二中学校のみなさんへ
師範から一言――
目を引くのは、活字体の見出し文字です。見慣れた字体ですが、一つ一つが読んでくれと声をあげているように感じるので、不思議ですね。
さて、この新聞が取り上げたトピックスは、①校内ごみ分別の徹底、②学校版環境ISO の取組、③校内環境検定の活動が載っています。特に注目したのは、右上の「環境 ISO チェック」です。実はこの短い記事の中に、二中が環境問題にどのように取り組むかがしっかりと書かれています。今までいくつもの壁新聞を見てきましたが、このような構成になっているのは初めてでした。それだけにとても重要な記事と思いました。
取り上げたニュースは、「分別収集活動の参加」、「節水・節電」、「家庭での取り組み」、「水俣条約」の 4 つ。例えば「家庭での取り組み」では、冷房温度を 28℃にすること、リサイクルなどが細かく取り上げられています。また、水俣条約の二周年記念式典には二中からも参加者を送り込んでいます。この積極性がこの紙面に表れていると思いました。末尾には「これからの活動」として節電・節水のシールを活用することと地域ごみ分別収集活動を判り易い名前にすることで普及させると宣言しています。久しぶりに清々しい新聞紙面に会うことができました。



とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
実に壁新聞らしい壁新聞です。右半分の小さな文字は何とか読めるのですが、左半分の小さな文字がよく見えなくて苦労しました。その理由は、1 行が長すぎるからです。行の下まで目で追って、次の行の先頭へ目を移すと、別の行だったりして、思わず目が宙を舞うことになってしまいます。普通の新聞を見てみると、縦書きでは1行が 12 文字程度です。この新聞では 30 文字を超えています。こんな時は 1 行がながくなりすぎないようにして下さい。読みやすさというのも新聞の価値であると思います。

熊本県益城町 広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)

壁新聞のタイトル:①大好きな熊本のわき水、絶対に守りたい!!～あきらめない 広西わき水プロジェクト～②広西エコパワーで復興への第一歩にしよう

43-09(代表クラブ) 43-10(全2枚) 環境大臣賞

広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)①の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言!

実は、昨年8月の壁新聞道場で広西地球環境クラブの新聞を私がコメントさせていただきました。そして、今回、あの大きな地震があったにもかかわらず、引き続きみなさんが活動をしていることを知り、ほっとし、「よかった、よかった」と、一人で拍手を送っています。新聞に貼ってある写真だけでも地震の残した爪痕のすごさを感じますが、毎日その風景を眺めながらの活動は、とてもつらかったのではないかと想像します。

今回の新聞は、地震をものともせず、さらに活動がんばるぞ、といったみなさんの意気込みを感じます。そして、地域の宝物である湧き水を調べ、守っていききたいという意気込みが伝わってくる新聞になっています。

地震など自然災害が起こると水脈が変わったり、水質が変わったりすることもあります。地震後の湧き水の水温やPH値などの水質調査を続けて行い、グラフにまとめているところがいいですね。そして、湧き水の水質が変わらないままだったことが、なによりのグッド・ニュースです。また、阿蘇神社への校外学習の報告や斉藤さんへのインタビュー記事も現地にいけない私たちにとっては、熊本の様子を知ることができる貴重な情報です。



とっておきのゴシドウ★

今回の新聞を見て、みなさんの活動が周りの大人やこの新聞を読んだ多くの人が元気を与えていると確信します。私もまさにその一人です。広西地球環境クラブには、「とっておきのアドバイス」はありません。というのも、みなさんの活動自体が「とっておきの」活動で、その様子をしっかりと伝える壁新聞を書けば、とっておきの新聞になること間違いなし。みなさんの活動は、後輩たちが引き継いでくれるだろうと確信さへ湧いてきます。すてきな仲間とともに、これからも負けずに活動続けていって下さい。そうそう、最後に、新しく手直したパンフレットが、どんなものになったのか気になります。さらに、配ったあとの周りの人の反応はどうだったのかな。ぜひ、続報を次号の新聞で知らせて下さい。

熊本県益城町 広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)

壁新聞のタイトル:①大好きな熊本のわき水、絶対に守りたい!!～あきらめない 広西わき水プロジェクト～②広西エコパワーで復興への第一歩にしよう

広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)②の新聞を書いたみなさんへ
師範から一言!

まず、カラフルで目を引き、とても読みやすい新聞に仕上がっています。そして、この新聞から広西小学校のみなさんが、「地震に負けないぞ」と団結して環境活動に望んでいることがよく分かります。学校が避難場所になったり、水が自由に使えなかったりと、いつもとは違う学校生活の中で、様々な取組に目標をもって活動することができました。毎日出すごみの量も1日15kgの目標をあげ、全校のごみの量をチェックし、目標が達成できているかその結果も記録しているところがすごいなあ、と感心します。他にも、落とし物をなくす作戦を考えたり、文化遺産である熊の宮神社の清掃活動を行ったり、と地震前の生活に戻していこうという意欲がとてもよく伝わってきます。また、自分たちだけでなく、家庭のアンケートをとることで家族にも環境活動の大切さを訴えているのがいいですね。

とっておきのゴシドウ★

新聞は、読みやすく区割りされており、背景の絵から、これからの未来が明るく輝かしいものであるようにとの想いを感じられます。なので、こうしたらいいよ、というアドバイスはあまりありません。あえて言えば、たくさんの取組みの一つを特集して、その活動についてももう少し詳しく紹介したり、写真を大きく使ったりして、「今年の活動のお勧め一番」、みたいな記事を作ってみてはどうでしょうか?

または、たくさん挙げてある委員会活動目標について、うまくできたこととあまりうまくいかなかったことを取り上げ、うまくいかなかったことは何が原因か調べたりして記事にしてみるのもいいかもしれません。まだまだ、「ふつうの生活」に戻っていないかも知れませんが、これからも学校での活動ぜひ続けていって下さいね。



大分県別府市 大平山友遊エコクラブ

壁新聞のタイトル:

44-01 エコマーク賞

大平山友遊エコクラブのみなさんへ

師範から一言――

大分県で行われている発電について、学んだことがいていねいにまとめられていますね。知らないことがたくさん書いてあって、私も勉強になりました。温泉の力を使った発電方法にもいろいろあるのですね。ちょっと難しい話も、がんばって絵を描いて説明してあって、わかりやすいと思います。単に地熱を使うだけでなく、蒸気や熱交換器を使ってより効率よく発電できるのですね。再生可能エネルギーの自給率(?)は大分県が1位で、2位は秋田県、3位は富山県だそうです、この2県で行われているのは、地熱発電ではなく、別の発電なのかな?ぜひ調べてみて下さい。

そして「調べて思ったこと」が書いてあるのはとてもいいと思います。のれんの形になっているのも面白いです。地元にもうまく活用できるエネルギーがあることが、よくわかったことが伝わります。

とっておきのゴシンドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
ちょっと難しい質問ですが、温泉エネルギー発電のメリットが書いてありますが、何かデメリットはあるでしょうか?心配なことや危険なことは何かあるでしょうか?みなさんの壁新聞で紹介しているような発電が、これからどんどん活用されていくと良いと思いますので、そういった視点で考えることにも挑戦してみましょう。そうすると、温泉エネルギー発電が役立つことがもっといろいろな考え方の人にも伝わるとと思います。難しいことですが、このようなしっかりした壁新聞作れるみなさんなら、できると思いますのでぜひチャレンジしてみてください。



鹿児島県鹿児島市 鹿児島市立西伊敷小学校エコクラブ

壁新聞のタイトル:①グリーンな社会を目指そう! ②環境新聞 ③みどり新聞 ④アースエコ新聞

46-08、(全4枚)

46-05、46-06、46-07、

西伊敷小学校こどもエコクラブ 5-1 のみなさんへ

師範から一言!

タイトルよりも大きな文字「ヤゴ一万匹救出!!」が目にとびこんでくる新聞です。おどろいたことを、字の大きさを表すのもいいアイデアですね。数の多さにおどろいたことと思います。

みどりの小道環境日記は、3カ月間つづけるのは大変だったかもしれませんが、すばらしいきろくが残せたと思います。環境の取り組みで気づいたことがあれば、自分でできることをやってみてください。1日1つ環境にいいことをすれば3カ月で90回、10人がやれば900回です。日記と同じく、活動もつづけることが大切です。美化環境委員会ではたくさんの活動をしていることが分かりました。あきカン、ダンボール、プルタブ、ペットボトルキャップなどどれくらいの量が集まるのでしょうか?新聞にデータ(集めた期間と量など)も書いてくれるととても参考になります。「ごみをなくそう!」はとても重要なテーマです。まずは自分のできることから始めればいいので、家ではどんなゴミがたくさん出ているかな?と調べてみて、それをへらす工夫をしてみてください。

とっておきのゴシンドウ★

プールを使っていない10月から次の年の6月までの間、生き物を救出するまでにプールを観察することはありますか?いきなり一万匹以上の生き物がプールにあらわれるわけではないので、途中でも観察することができると、きっと発見あるはずです。例えば、

・ヤゴはいつ生まれたのかな?冬越しは卵、それともヤゴ?

・カエルになる前のオタマジャクシはいつからプールにいたのかな?卵はどんな形?

ところで、救出した生き物たちはどうしましたか?機会があれば教えてくださいね。



壁新聞のタイトル:①グリーンな社会を目指そう! ②環境新聞 ③みどり新聞 ④アースエコ新聞

師範から一言一

硫黄島の宿泊学習の記事をみると、雄大な大自然の中でたくさんの感動をしてきたことが伝わってきます。その感動をわすれずに、自然を大切にすることを続けてください。

そうこに入りきらないほどのアルミカンは、どれくらいの期間でたまったのですか？リサイクルは集めるのが大変なので、集めかたの工夫があればぜひ教えてください。



壁新聞のタイトル:①グリーンな社会を目指そう! ②環境新聞 ③みどり新聞 ④アースエコ新聞

師範から一言一

「プールの生き物調査」ではたくさんの生き物を見つけられました。生き物にはそこにいる理由があり、①エサを食べる、②子孫(しそん)をのこすためがほとんどです。プールで見つけた生き物たちはそれぞれ何のためにいたのかな？

生き物を大切にするためには、生き物がくらす場所のことも考えてみましょう。



鹿児島県鹿児島市 鹿児島市立西伊敷小学校エコクラブ
壁新聞のタイトル:①グリーンな社会を目指そう! ②環境新聞 ③みどり新聞 ④アースエコ新聞

西伊敷小学校こどもエコクラブ 6-2 のみなさんへ
師範から一言!
地球のまわりにハートがたの花びらのような新聞のデザインが目をはきます。花びらのわくにそれぞれ小見出しをつけて取り組んだ環境活動の記事をかいてありますが、花びらが地球でつながっているの、環境活動もつながりがあることが伝わってきます。
プールに一万匹もの生き物が住んでいたのはびっくりですね。仮にプールをそうじしなかったとしたら、何匹が羽化してトンボになると思いますか?トンボになるための環境がととのっているかということだけを考えると、
・肉食のヤゴのエサはプールにありますか?
・羽化するときに水からですが、ヤゴがのぼれる場所がありますか?
どうでしょうか?
環境委員会のリサイクル活動やみどりの小道環境日記は、継続(けいぞく)がどちらも大切ですね。これらの活動を経験することで、環境のことを考えたり、何かに気づいたりして、アクションにつながってくれるとうれしく思います。ぜひ、続けてください。



とっておきのゴシドウ★
ちょうど同じ新聞に“食物連鎖”の記事がありますが、プールのヤゴについて考えてみましたか?ヤゴは肉食ですので、エサとなる草食動物、植物はプールでは何でしょう?たとえば、植物はプールに浮かんでいる落ち葉や、かべについている藻(も)などです。草食動物としては雑食ですがオタマジャクシがいましたか?あまりいないようであればヤゴの共喰いも多いかもしれません。食物連鎖とは、ピラミッドの下の方が数が多い状態でバランスすることを表しているのでトンボだけが増えることはありません。
地域の生き物を大切にするためには、つながりのある他の生き物と植物も含めた自然を大切にする必要があります。

鹿児島県大崎町 大崎小地きゅうとなかよしエコクラブ
壁新聞のタイトル:A:なかよし地球に花のプレゼント B:ぼくらの町のリサイクル新聞

46-02(推薦・代表)、46-03、(全2枚)

大崎小なかよしエコクラブAのみなさんへ
師範から一言——
「なかよし地球に花のプレゼント」はとてもいいタイトルですね。新聞が見やすくていいに作られていますし、すごろくのようなレイアウトも良いアイデアだと思います。
種をまいてから花が咲くまで、お世話をするのは大変だったと思いますが、その分花が咲いたときはうれしかったでしょう。ふよう土作りは、おち葉をあつめてから、どのようなことをしましたか?森の中では、おち葉が年月をかけて、ふよう土になるので、あつめただけでも場所がよければふよう土になります。森の中で土の上を歩いたときにフカフカしたことはありませんか?そのようなところは、たくさんふよう土がつみかさなっているはずですよ。
自然の中には、自然の中のもの(おち葉、かれた木、しんでしまった生き物など)をぶんかいする役わりをもった生き物たちがいます。森の中の土をすくって、虫めがねでのぞいてみてください。
とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★
すごろくで「ポピーがかれた」とありますが、失敗することもあり体験です。私は今でもいくつかの植物を育てることにチャレンジしていますが、かれてしまったり、虫に食べられてしまったりして、失敗をすることがあります。でも、次に同じ失敗をしないように、工夫をしています。



大崎小地きゅうとなかよしエコクラブBのみなさんへ
師範から一言!
リサイクルについてイラストや写真をつかって、とても分かりやすくまとめていると思います。とても細かく分別(ぶんべつ)するのは大変ですが、分けた資源(しげん)がどのようにいかされているのかを知ると、やる気が高まると思います。
菜種油のリサイクルの輪では、生ごみから菜の花を育てる肥料をつくって、菜の花からとれた油で料理をしたり、使用した油をリサイクルして車の燃料にしたりと、地域じゅんかん型のすばらしい仕組みだと思います。この仕組みの中で大変だったことや、ぶつかっている問題があれば、同じような取り組みをしたい人たちの参考になるのでぜひ教えてください。
大崎町はリサイクルに力をいれているということで、これからもリサイクルの取り組みをアピールしてください。
とっておきのゴシドウ★
ピンは色々な色や形があるので、見分けるコツはこの新聞をよんで「なるほど」と思う人もいるでしょう。ごみを減らす運動3Rは、リデュース、リユース、リサイクルのアルファベットの頭文字で、この順番で取り組むことがすすめられています。ごみとなる部分をへらすのがリデュース、リターナブルピンは再利用するという意味でリユース、そして最後は資源としてリサイクルすることを考えます。



OEC62のみなさんへ

師範から一言――

ダンボールコンポスターは、身近な材料をつかってつくることができ、ゴミ(生ゴミ)が肥料にかわっていくことを体験できるのでよい活動をしましたね。体験では五感を使うことができるので、新聞に書ききれなかった多くのことを感じたのではないのでしょうか？

カバーをかぶせたダンボールは、さわってみましたか？温かさはどうでしたか？

土が黒くなるまで、においの変化はありましたか？

体験をしたあとは「気づき」がとても大切です。その「気づき」は人それぞれことになっていくかまいません。例えば、「土の中には生ごみを分解(ぶんかい)してくれる“び生物”がいて、森にある土の中にも落ち葉などを分解してくれる“び生物”がいるのではないかと考えてみることです。また、“環境にやさしい肥料”とありますが、どんなところが環境にやさしいと気づきましたか？ぜひ、まわりのみんなの考えも聞いてみましょう。

とっておきのゴシドウ★.....★.....★.....★.....★.....★.....★

新聞では時間にかんすることを書いてくれると、やってみようと思う人の参考になると思います。ダンボールコンポスターは、何月にやってみましたか？

また、土が黒くなるのにどのくらい時間がかかりましたか？

今度はみなさんがダンボールコンポスターを、他の人に教える番ですね。このようなしつもんにも答えてあげてください。

・なぜ、ダンボールを使うのですか？プラスチックケースではダメですか？

・なぜ、洋服でつくったカバーをかけるのですか？ビニール袋ではダメですか？



鹿児島県屋久島町 こどもエコクラブ 知りたい！守りたい！屋久島隊

壁新聞のタイトル: やくしま新聞 46-01

知りたい！守りたい！屋久島隊のみなさんへ

師範から一言！

屋久島についての内容がもりだくさんで、体験したりいろいろ調べてくれたりしたことが分かりました。イラスト、写真、ちぎり絵などを使って、いろいろな工夫をしてくれていますね。屋久島は一度は行きたいと思っている場所でもあり、興味ぶかく読ませてもらいました。

シカなどの野生動物がふえすぎたことによる人の生活への影響や森の植物への被害は、他の地域でも問題になっているところがあります。ヤクシカはカラスザンショウが好きなのですね。関東の方ではシカによるアオキの木の食害が、人が住むすぐ近くまで広がってきています。シカのとどろはんいの葉がみごとに全部食べられているのを今年みしてきました。自然のつながりの中ではエサがなくなれば、それを食べるシカもへるはずですが、食べられる植物だけでなく、その植物に依存(いぞん)した多くの生き物たちに影響がでるので、これからいろいろなことを考えていかなければいけないでしょう。

屋久島はウミガメの貴重な産卵場所なのですね。産卵は生き物のライフサイクルの中で、子孫(しそん)をのこすための重要なイベントです。卵や産まれたばかりのこどもは自分ではどうすることもできないことが多く、環境の影響を受けやすいときです。屋久島でも多くの人たちが保護活動をしていると思いますが、観光客がルールを守らないのは残念なことですね。これからも屋久島の自然と動物を守る心を持ちつづけて、できる活動をしていってください。

とっておきのゴシドウ★

これだけの内容を決まった一つの紙面で伝えるのは大変です。これも伝えたい、あれも伝えたいと書きたくなるのですが、「屋久島の動物に問題が起きています！！」という内容にしぼると、そのテーマについてはもっと伝わりやすくなると思います。文章は自分のことばで、体験をとおして感動したことやおどろいたことを中心に書くと他にはないオリジナルの新聞になります。たとえばサルとシカのフンの話はおもしろくて、「なるほど」と感じました。

※栄養豊富なサルのフンをシカが食べているため、サルのフンはあまり見つからないそうです。





またいろいろな活動に挑戦してくださいね。次の壁新聞も楽しみにしています。

西表ヤマネコクラブさんへ
師範から一言！

西表山猫クラブが17年間にわたって、代々引き継いできたイリオモテボタルの観測結果をまとめてくれました。一口に17年間と言いますが、並大抵の努力ではありません。本当にご苦労様でしたと共に先人の努力をムダにしない代々のヤマネコクラブのメンバーの意識の高さをかいま見た気がします。

年によって出現する場所が違っているが、ほぼ駐車場近辺と体育館裏に多く出現したようですね。もっとも数は、これも年によって増減があり、どうしてだろうと解析するのはむずかしかったようですね。工事の影響、夜間照明の影響や振動など、みんなが考えられる原因をピックアップしてくれました。

私も自分の庭で羽化するセミの種類と数を毎年、観察していますが、多い年と少ない年があり、どうしてか？なかなか分かりません。自然はむずかしいなと実感しています。モグラが動いたモグラ塚がけっこうあるので、モグラが幼虫を食べているのではないかと考えることもありますが、証拠はありません。

皆さんもいろいろな原因を考えているようですが、こういう態度が立派だと思います。今年は、12月11日から17日まで気温、天気、風そしてホタルの種類別に幼虫なのか、成虫なのかをていねいに調べました。イリオモテボタルとオオシママドボタルの調査を行いました、ここでもみんなのやり方の素晴らしさが出ています。それは何かと言うと予想をする、そして結果はどうなったか、考察をするという観察・調査・研究の基本的やり方がちゃんとできていることです。予想とぴたりと一致した結果が得られるのもうれいでしょうが、予想と違った結果が出たときも、どうしてか考えることをやることで、クラブのみんなのレベルが上がります。予想と違った結果が出た時は、研究者はとても喜びます。大きな発見がかくれている可能性が大いなのです。

アンケートにもたくさんの人が協力してくれましたね。ヤマネコを大事にしよう。県としては観光のためにと考えている人もいでしょう。みなさん方は生き物を大事にしたい、絶滅させてはいけなとの考えでしょう。でも、沖縄の人はみんな大事にしてほろぼさないようにしたいという気持ちは同じでしょう。常に島の人や外から来た人にヤマネコに関心をもってもらうよう、みんなができることをがんばってやってください。

沖縄県竹富町 西表ヤマネコクラブ
壁新聞のタイトル: 西表山猫新聞

とっておきのゴシンドウ★

去年からホタルに続いてイリオモテヤマネコについても調査を広げました。沖縄の代表的な動物の一つですね。今年は、交通事故で死んでしまうことについて、どこで？車のスピードはどうなっているか？を調べたのですね。ここでも予想をして結果を考察しています。みんなのやり方は身につけていますね。車のスピードは、予想ほどは早くなかったようですが、それでもスピードを出している車にはねられるようですね。みんなは車を運転できないから、運転者に注意を呼び掛ける看板作戦を行ったのですね。自分たちができることをやる！と行動に移すのが素晴らしいです。

ふん分析からヤマネコの生き方を調べたのですね。だれが発案したのかな？うまいやり方ですね。でも臭いが強くて難儀したようですね。でも良く細かく調べたなと感心しました。安全、衛生には十分気を付けたのだと思います。西表野生生物保護センターの人にしっかりと指導してもらったのだと思います。野生の生き物には、予想外の病気の種もあるかと思っています。最近では、ダニの問題がクローズアップされています。フンを取りに行く時にも草むらに入るので、ダニなどの野生生物には十分気を付けて、長そで長ずぼんは必ず着ていくようにしましょう。マスクも必要な？

水質調査もていねいにしっかりとやっていますね。ただ測るだけでなく生きものの種類、川の様子や変化にも気を付けてデータとして残しています。このようなデータを無くさないでずーとためておくと、17年間の変化が見えるようになり、環境が良くなったのか、悪くなったのか、も分かりますね。それと共に自分達では何ができるのだろうか？ということも見えてくるのではないのでしょうか？

長かったようで短かった6年間ということで、中学3年生がクラブを卒業して行きました。本当にごくろうさまでしたと言いたいですね。先人が残っていた物、事を大事に引き継いでいきましょう。先輩として後輩を激励に来て下さいね。

